

Compass



2021



©大田区
はねびん

大田区
観光・国際都市部
事業概要

大田区平和都市宣言

『平和って なあに
しあわせな ことよ
しあわせって なあに
自由で楽しいくらしができること
だから 世界中の人と 力をあわせて
大切な 平和を守らなければ いけないの
地球上どこへ行っても 笑顔があるように...
この人類共通の願いをこめて 大田区は
平和憲法を擁護し核兵器のない
平和都市であることを宣言する』

昭和59年 8月15日 大田区

スポーツ健康都市宣言

スポーツしよう
みんな 心も からだも 元気にしよう

スポーツ楽しもう
みんな 世界の人と 手をつなごう

スポーツで健康になろう
いきいき 輝く笑顔いっぱいのもちよう

区民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らし、
まちが賑わいと活力を増していくことを願い、
大田区をスポーツ健康都市とすることを宣言
する。

平成24年 6月30日 大田区

国際都市おおた宣言

～地域力で世界にはばたく～

おもてなしの翼を広げ
世界中の人々を歓迎しよう
暮らしが息づく多彩な魅力あるまちとして
訪れる人を迎えます

ふれあいの翼を広げ
多様な文化を分かち合おう
互いの個性を認め誰もが活躍できる
笑顔あふれるまちをつくります

みらいの翼を広げ
豊かな明日をともにつくろう
おおたが誇る匠の技が世界の期待に応え
新しい産業をつくります

大田区は、日本のゲートウェイとして、
地域の力を結集し、
新たな時代を切り拓いて、
世界にはばたく「国際都市おおた」を宣言する。

平成29年 3月12日 大田区

大田区における 「国際都市」の 基本的な考え方

- 1 国内で暮らし、学び、働く外国人、区を来訪する外国人にとって魅力的なまちであり、日本人が有する「思いやり」「おもてなし」といった精神がまちの表情に現れている都市であること。
- 2 多様な歴史、文化を有する外国人が一人ひとりの個性と能力を発揮できているとともに、多彩な交流により地域とつながり、地域の一員として共生が図られている都市であること。
- 3 羽田空港が国際化することにより、増加する在住外国人及び外国人観光客が安心して、暮らし、訪れ、回遊できている都市であること。
- 4 海外からたくさんの外国人が訪れる区として、大田区平和都市宣言を踏まえ、世界の人と力を合わせて、大切な平和を守る都市であること。
- 5 多彩な連携により地域内産業が国際化を活かしたビジネスを展開し、地域内産業が活性化され、にぎわいある都市であること。

目 次

1	令和3年度 観光・国際都市部の目標及び重点項目	1
2	大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おおた協会、(公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会組織図	2
3	大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おおた協会、(公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会事務分掌	4
4	観光・国際都市部事業別予算	6
5	各課事務事業一覧	
	(1) 観光課	9
	(2) 国際都市・多文化共生推進課	32
	(3) 文化振興課	51
	(4) スポーツ推進課	91
6	参考資料：各課の事業開始年度一覧	
	(1) 観光課	122
	(2) 国際都市・多文化共生推進課	123
	(3) 文化振興課	123
	(4) スポーツ推進課	124

【基準日等について】

令和3年6月1日を基準日とし、令和2年度の実績及び令和3年度の当初予算ベースでの事業計画を記載しています。ただし、令和3年度計画で既に実施済みの事業は、「実績記載」と表記しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止または延期が決定した事業についてはその旨を記載しています。

【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の表記について】

本文中では「東京2020大会」と表記しています。

1 令和3年度 観光・国際都市部の目標及び重点項目

目標

令和2年から続く、新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という。）の世界的な感染拡大は未だに収束はしていない。この間、数度に渡る緊急事態宣言が発せられ、区内経済はじめ区民活動に大きな影響が生じている。しかし、令和3年春からは医療従事者を中心にワクチン接種がはじまり、秋までには、希望する人への接種が進むことが見込まれている。年度内には経済活動が復活・活発化することが期待される。

当部が所管する観光・国際・文化・スポーツは、人が生きていく糧となるものであり、いわゆる With コロナ After コロナの時代にも必要不可欠である。

職員が一丸となり、知恵を出し、工夫をし、考え、様々な関係者と「共創・共奏」し、区民を応援することにより、区民の生活・人生をより豊かにする価値や機会を生み出していくことが私たちの使命である。

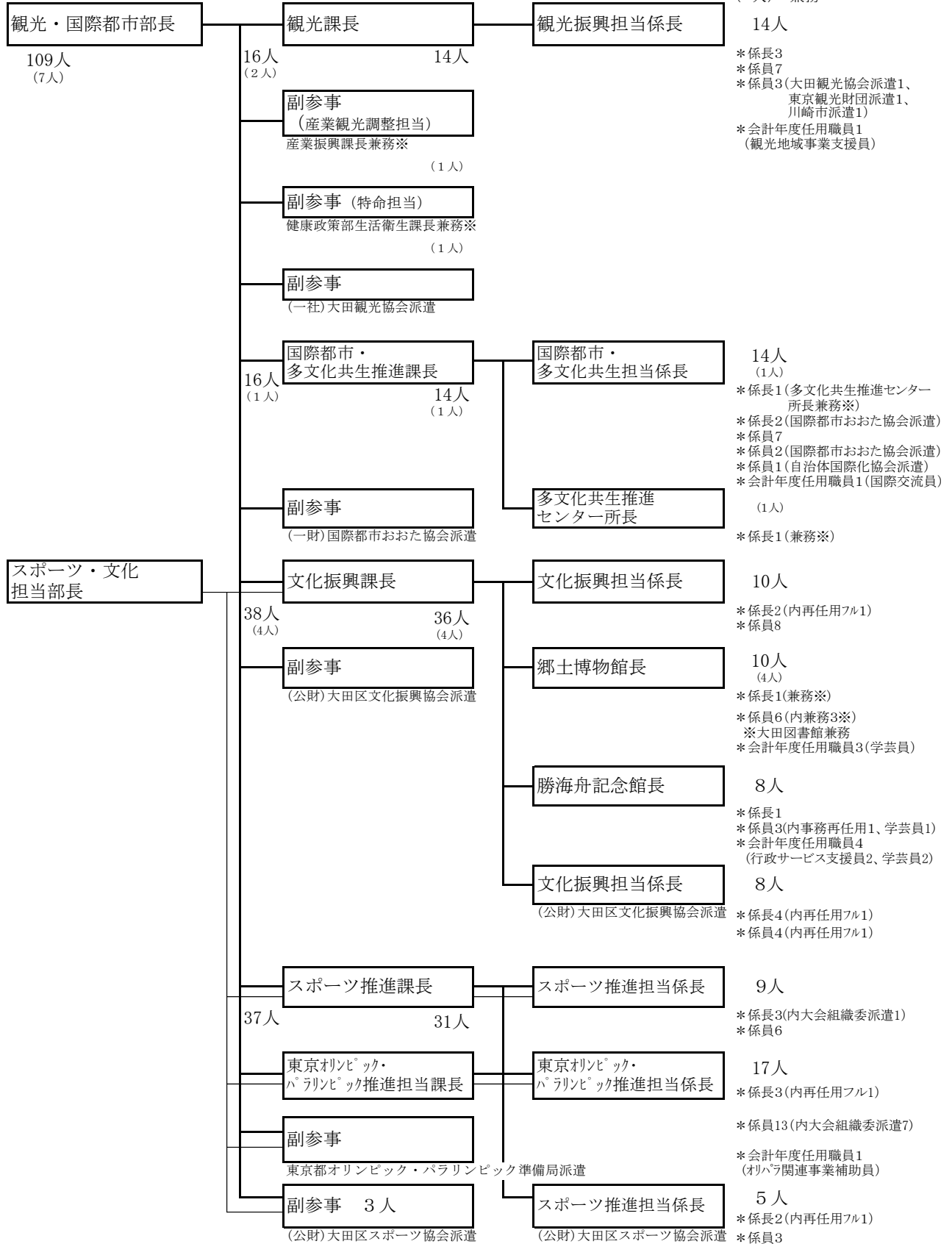
コロナ禍を乗り越え、区の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」実現に向け邁進していく。

重点項目

- ① 「マイクロツーリズム」に基づく新たな観光資源の発掘と魅力発信
- ② 大田区ならではの「小回りの利く MICE」推進への具体的な取組み
- ③ 大田観光協会、事業者、団体等と、それぞれの強みを活かした有機的な連携
- ④ （仮称）大田区国際交流施設の開設準備
- ⑤ 多言語により必要な情報を的確に発信、特に「やさしい日本語」の周知
- ⑥ 国際交流団体との連携強化をはじめ多文化共生施策の積極的な推進
- ⑦ 東京 2020 大会開催時期に合わせて実施する郷土博物館等による 4 館連携事業
- ⑧ 新型コロナ対策や特定天井工事開始を踏まえた文化施設の適切な維持管理運営
- ⑨ 「With コロナ」に対応し、「After コロナ」を見据えた継続したスポーツ推進
- ⑩ 新型コロナ対策を徹底した安全・安心な東京 2020 大会関連事業の実施
- ⑪ 東京 2020 大会を契機としたスポーツ環境の整備（レガシー事業）

2 大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おた協会、(公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会組織図

【大田区観光・国際都市部】



3 大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おおた協会、 (公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会 事務分掌

1 観光課

観光振興担当

- (1) 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
- (2) 部の事務事業の改善に関すること。
- (3) 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
- (4) 部の事業に係る調査研究に関すること。
- (5) 議会に関する他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
- (6) 部の庶務に関すること。
- (7) 予算及び決算に関する部の総括に関すること。
- (8) 他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
- (9) 危機管理に関すること。
- (10) 議会に関する部の総括に関すること。
- (11) 観光振興施策の調査研究に関すること。
- (12) 観光振興施策に関すること。
- (13) 観光振興施策と他部門事業との連絡調整に関すること。
- (14) 観光関係団体との連絡調整に関すること。
- (15) 部内他課に属しないこと。

2 国際都市・多文化共生推進課

国際都市・多文化共生担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 国際交流に関すること。
- (3) 国際都市に関すること。
- (4) 多文化共生に関すること。
- (5) 一般財団法人国際都市おおた協会に関すること。

多文化共生推進センター

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 服務、庶務及び経理に関すること。
- (3) 教室、多目的スペース等の利用に関すること。
- (4) 多文化共生推進センターの施設設備の維持管理に関すること。
- (5) 国際交流団体及び多文化共生ボランティアの支援に関すること。
- (6) その他必要と認める事業の実施に関すること。

3 文化振興課

文化振興担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 文化振興に係る計画等に関すること。
- (3) 公益財団法人大田区文化振興協会に関すること。
- (4) 文化施設の管理、運営及び連携に関すること。
- (5) 区営アロマ地下駐車場に関すること。
- (6) 文化振興に関すること。
- (7) 文化事業(平和都市宣言記念事業を含む。)に関すること。
- (8) 国内友好都市に関すること。
- (9) 絵画等保管拠点の整備に関すること。
- (10) 課内他係に属しないこと。

郷土博物館

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 庶務及び経理に関すること。
- (3) 職員の服務に関すること。
- (4) 館内取締り並びに施設及び設備の維持管理に関すること。
- (5) 調査及び統計に関すること。
- (6) 寄贈及び寄託資料の選定並びに受納及び返納に関すること。
- (7) 関係機関及び団体との連絡に関すること。
- (8) 資料(条例第2条第1号に規定する資料をいう。以下同じ。)の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 資料の目録、館報、報告書等の作成に関すること。
- (10) 資料の調査、研究及び展示に関すること。
- (11) 特別展、講習会、講演会、研究会等の開催に関すること。
- (12) 館の運営、利用促進等の協議会に関すること。
- (13) 大田区立大森海苔のふるさと館に関すること。
- (14) 他の博物館、学校、図書館等との協力に関すること。

勝海舟記念館

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 庶務及び経理に関すること。
- (3) 職員の服務に関すること。
- (4) 資料の収集及び保管に関すること。
- (5) 資料の調査、研究、目録作成及び展示に関すること。
- (6) 館の情報発信及び事業の実施に関すること。
- (7) 館内取締り並びに施設の利用及び維持管理に関すること。
- (8) 他の博物館、学校、図書館等の教育、学術又は文化に関する関係機関等との連携に関すること。
- (9) 勝海舟基金に関すること。
- (10) 資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (11) その他館の設置目的を達成するために必要と認めること。

4 スポーツ推進課

スポーツ推進担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) スポーツ推進審議会に関すること。
- (3) スポーツ推進計画に関すること。
- (4) スポーツ健康都市宣言に関すること。
- (5) スポーツ推進委員に関すること。
- (6) スポーツ事業の実施及び奨励に関すること。
- (7) スポーツ指導者育成に関すること。
- (8) スポーツ推進に係る表彰に関すること。
- (9) 新スポーツ健康ゾーンの活性化に関すること。
- (10) 東京2020レガシー事業に関すること。
- (11) 公益財団法人大田区スポーツ協会に関すること。
- (12) 大田区総合体育館に関すること。
- (13) 大森スポーツセンターに関すること。
- (14) 大森本町複合施設の共有部分に関すること。
- (15) 大田スタジアムに関すること。
- (16) 課内他係に属しないこと。

東京オリンピック・パラリンピック推進担当

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック大田区推進本部等の事務に関すること。

5 一般社団法人大田観光協会

- (1) 観光に関する事業
- (2) まちの魅力を演出する事業
- (3) 観光資源の調査研究、情報の収集・提供及び振興に係る事業
- (4) 産業振興に関する事業
- (5) 国際文化交流の推進
- (6) まちの特性を活かした新しい観光資源の開発・創出
- (7) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

6 一般財団法人国際都市おおた協会

- (1) 多文化共生の推進に関する事業
- (2) 国際交流の推進に関する事業
- (3) 国際人財育成に関する事業
- (4) 国際協力に関する事業
- (5) 上記各事業に関する情報収集、調査研究及び広報
- (6) 上記各事業の推進のため、大田区及び他の公共機関等から受託する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

7 公益財団法人大田区文化振興協会

- (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業
- (2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
- (3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業
- (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業
- (5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

8 公益財団法人大田区スポーツ協会

- (1) スポーツ、レクリエーションの推進及び健康増進のための事業
- (2) スポーツ、レクリエーションに関する普及啓発及び顕彰に関する事業
- (3) スポーツ、レクリエーションの指導者及び団体の育成に関する事業
- (4) スポーツ、レクリエーションに関する各種教室及び大会の開催
- (5) 大田区から受託する区立スポーツ施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 観光・国際都市部事業別予算

(単位：千円)

【観光課】

款	項	目	中事業	小事業	令和3年度	令和2年度	前年度比	増減率
総務費								
		観光国際費			212,139	311,966	△ 99,827	△ 32.0%
		観光国際総務費			58,864	70,627	△ 11,763	△ 16.7%
		職員人件費			58,864	70,627	△ 11,763	△ 16.7%
		観光振興費			153,275	241,339	△ 88,064	△ 36.5%
		おおたの観光魅力創出事業			60,960	133,358	△ 72,398	△ 54.3%
				来訪者受け入れ環境の整備	17,463	62,503	△ 45,040	△ 72.1%
				観光まちづくりの支援	43,497	70,855	△ 27,358	△ 38.6%
		おおたの観光魅力発信事業			28,558	43,357	△ 14,799	△ 34.1%
		観光情報センター等の運営			57,533	58,017	△ 484	△ 0.8%
		観光課事務費			6,224	6,607	△ 383	△ 5.8%
課予算額合計					212,139	311,966	△ 99,827	△ 32.0%

【国際都市・多文化共生推進課】

款	項	目	中事業	小事業	令和3年度	令和2年度	前年度比	増減率
総務費								
		観光国際費			217,099	228,204	△ 11,105	△ 4.9%
		文化国際費			217,099	228,204	△ 11,105	△ 4.9%
		姉妹・友好都市交流事業			4,405	9,268	△ 4,863	△ 52.5%
				中国北京市朝陽区等との交流の推進	3,072	5,448	△ 2,376	△ 43.6%
				アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	1,333	3,820	△ 2,487	△ 65.1%
		国際都市事業の推進			1,001	2,808	△ 1,807	△ 64.4%
				国際都市事業	1,001	2,808	△ 1,807	△ 64.4%
		(一財) 国際都市おおた協会の運営			178,375	181,801	△ 3,426	△ 1.9%
				運営費補助	50,284	55,558	△ 5,274	△ 9.5%
				事業費補助	28,899	33,134	△ 4,235	△ 12.8%
				施設運営費	99,192	93,109	6,083	6.5%
		国際交流事業			934	1,675	△ 741	△ 44.2%
				交流事業費	934	1,675	△ 741	△ 44.2%
		国際都市・多文化共生推進課事務費			8,941	487	8,454	著増
		多文化共生推進事業			23,443	32,165	△ 8,722	△ 27.1%
				多文化共生のネットワークづくり	23,443	32,165	△ 8,722	△ 27.1%
課予算額合計					217,099	228,204	△ 11,105	△ 4.9%

【文化振興課】

款	項	目	中事業	小事業	令和3年度	令和2年度	前年度比	増減率
総務費								
				観光国際費	2,874,657	2,602,879	271,778	10.4%
				文化国際費	2,874,657	2,549,134	325,523	12.8%
				平和都市宣言記念事業	5,081	7,151	△ 2,070	△ 28.9%
				(公財)大田区文化振興協会の運営	218,769	222,093	△ 3,324	△ 1.5%
				運営費補助	125,016	125,245	△ 229	△ 0.2%
				事業費補助	93,753	96,848	△ 3,095	△ 3.2%
				地域文化の振興	5,665	6,252	△ 587	△ 9.4%
				大田区民ホール等管理運営費	264,259	316,085	△ 51,826	△ 16.4%
				大田区民ホール等施設管理	251,986	292,109	△ 40,123	△ 13.7%
				駐車場管理運営費	12,273	23,976	△ 11,703	△ 48.8%
				文化施設管理運営費	2,081,267	1,353,906	727,361	53.7%
				管理代行費	797,219	829,973	△ 32,754	△ 3.9%
				業務委託費	21,771	22,495	△ 724	△ 3.2%
				その他施設費	1,262,277	501,438	760,839	151.7%
				OTAふれあいフェスタ	48,000	47,163	837	1.8%
				地域間交流事業	1,340	1,410	△ 70	△ 5.0%
				文化祭	2,123	2,122	1	0.0%
				文化振興課事務費	1,217	1,191	26	2.2%
				博物館管理運営費	87,312	320,169	△ 232,857	△ 72.7%
				管理運営費	71,264	288,318	△ 217,054	△ 75.3%
				事業費	16,048	31,851	△ 15,803	△ 49.6%
				大森海苔のふるさと館の運営	58,998	59,590	△ 592	△ 1.0%
				勝海舟記念館の運営	94,826	112,684	△ 17,858	△ 15.8%
				絵画等保管拠点の維持管理	5,800	99,318	△ 93,518	△ 94.2%
				文化施設建設費	0	53,745	△ 53,745	皆減
				勝海舟記念館の整備※1	0	53,745	△ 53,745	皆減
課予算額合計					2,874,657	2,602,879	271,778	10.4%

※1：令和元年度には、繰越明許費219,424千円含む。

【スポーツ推進課】

款	項	目	中事業	小事業	令和3年度	令和2年度	前年度比	増減率
総務費								
				観光国際費	852,027	1,002,935	△ 150,908	△ 15.0%
				スポーツ振興費	852,027	1,002,935	△ 150,908	△ 15.0%
				(公財)大田区スポーツ協会運営費補助	31,813	52,957	△ 21,144	△ 39.9%
				スポーツ教室	2,364	10,227	△ 7,863	△ 76.9%
				小・中学生スポーツ教室	0	4,563	△ 4,563	皆減
				障がい者スポーツ教室	2,364	3,645	△ 1,281	△ 35.1%
				成人スポーツ教室	0	2,019	△ 2,019	皆減

【スポーツ推進課（続き）】

款	項	目	中事業	小事業	令和3年度	令和2年度	前年度比	増減率
			スポーツ奨励		3,724	4,814	△ 1,090	△ 22.6%
				地域スポーツクラブ	630	1,092	△ 462	△ 42.3%
				スポーツ奨励事業	3,094	3,494	△ 400	△ 11.4%
				寿ハイキング	0	228	△ 228	皆減
			指導者養成		232	446	△ 214	△ 48.0%
				ラジオ体操指導者養成講習会	139	195	△ 56	△ 28.7%
				スポーツ指導者養成講習会	93	251	△ 158	△ 62.9%
			区民スポーツ大会		17,634	17,470	164	0.9%
			都民体育大会等支援		3,833	3,833	0	0.0%
			団体事業後援		849	800	49	6.1%
			スポーツ推進委員		8,003	9,965	△ 1,962	△ 19.7%
			スポーツ推進審議会		364	364	0	0.0%
			スポーツ健康都市宣言記念事業		15,100	16,223	△ 1,123	△ 6.9%
				OTAウォーキング	639	1,235	△ 596	△ 48.3%
				区民スポーツまつり	9,461	9,461	0	0.0%
				おおたスポーツ健康フェスタ	5,000	5,527	△ 527	△ 9.5%
			スポーツ推進計画		0	0	0	-
			新スポーツ健康ゾーン活性化事業		1,666	2,268	△ 602	△ 26.5%
			スポーツ推進広報事業		3,960	3,587	373	10.4%
			東京2020レガシー事業		1,433	9,709	△ 8,276	△ 85.2%
			スポーツ推進課事務費		2,327	5,113	△ 2,786	△ 54.5%
			事務費		87	87	0	0.0%
				運動場使用料過年度還付金	40	40	0	0.0%
				大森スポーツセンター使用料過年度還付金	47	47	0	0.0%
			大森スポーツセンター借地料		15,495	14,137	1,358	9.6%
			大田スタジアム維持管理		1,085	2,627	△ 1,542	△ 58.7%
			大森本町複合施設維持管理		155,863	208,488	△ 52,625	△ 25.2%
			大森スポーツセンター維持管理		11,206	12,743	△ 1,537	△ 12.1%
			大田区総合体育館維持管理		17,408	2,498	14,910	著増
			スポーツ施設管理代行		409,511	416,235	△ 6,724	△ 1.6%
				大森スポーツセンター	78,248	78,605	△ 357	△ 0.5%
				大田区総合体育館	189,571	184,771	4,800	2.6%
				大田スタジアム	141,692	152,859	△ 11,167	△ 7.3%
			東京オリンピック・パラリンピック推進事業		148,070	208,344	△ 60,274	△ 28.9%
課予算額合計					852,027	1,002,935	△ 150,908	△ 15.0%
部予算額合計					4,155,922	4,145,984	9,938	0.2%

5 各課の事務事業一覧

(1) 観光課

区は平成31年3月に、「大田区観光振興プラン2019-2023」を策定し、東京2020大会を契機としたさらなる誘客に向け、各種施策に取り組んでまいりました。しかし、コロナ禍による移動制限や自粛等は、経済的な打撃のみならず、「心身」にも大きな影響を及ぼしています。

こうした状況下、当課は、新しい日常に基づく「区内経済活性化」、「シビックプライドの醸成」、「区の魅力度・知名度の向上」を柱に、自然や歴史そして人々の営みなどの区の魅力を活かす施策に取り組み、庁内各部局や事業者、団体、そして区民と一層の連携を行い、人と繋がる観光のまちづくりを着実に進めてまいります。

予算事務事業名	事業名	頁
観光振興費		
おおたの観光魅力創出事業		
来訪者受け入れ環境の整備		
	1 大田区ウェルカムショップ事業	10
	2 大田区まちかど観光案内所事業	11
	3 公衆無線LAN (Wi-Fi 環境) 運用保守	12
	4 大田区観光案内サイン推進事業	13
	5 大田区観光紹介用パンフレット	13
	6 大田区観光振興プラン2019-2023	14
観光まちづくりの支援		
	7 一般社団法人 大田観光協会補助事業	15
	8 川崎市連携事業	19
	9 大田の観光にぎわい創出事業補助金	19
おおたの観光魅力発信事業		
	10 広域連携による観光プロモーション事業	20
	11 MICE 推進事業	21
	12 メディアを活用した観光情報等の発信	22
	13 大田区観光 PR 特使事業	22
	14 大田の魅力を活用した地域 PR 事業	24
	15 大田・品川地域 PR 事業	24
	16 観光 PR のための展示及び PR ツール等の制作	25
	17 「空の日」に実施する羽田空港イベント	25
	18 大田区公式 PR キャラクター「はねびょん」の活用	26
	19 ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業	27
	20 おおたプライド事業「大田区学」	27
	21 大田区探訪「はねびょんさんぽ」	27

予算事務事業名	事業名	頁
	22 東京 2020 大会を契機とした地域活性化事業	28
観光情報センター等の運営		
	23 大田区観光情報センターの運営	28
	24 大田区観光情報コーナー等の運営	29
観光課事務費		
	25 観光関連事業者等との連携 (大田区観光推進連絡協議会運営)	30
	26 大田区における撮影支援・協力	31

1 大田区ウェルカムショップ事業

平成 23 年度 事業開始

3 年度予算額 3,966 千円 (2 年度予算額 5,995 千円)

来訪者に区内で快適に滞在していただき、食事や買い物を楽しんでいただくことを目的として、区が提供する支援メニューを活用して国内外からの来訪者を積極的に受入れる店舗・施設を「大田区ウェルカムショップ」として登録しています。

【大田区ウェルカムショップの特徴】

- ・国内外からの来訪者に対して、寄り添ったサービスを提供する。
- ・区から提供させていただく資料やセミナーを接客に活用し、接客力の向上を図る。
- ・大田区ウェルカムショップステッカーを利用者から見えやすい場所に掲示する。



【3 年度計画】

2 年度に実施した「来訪者受入実態調査」の結果をふまえ、登録店舗・施設の回遊促進に資する施策や、大田区観光情報センターで OTA トライアルコーナー等を実施し、区の認知度向上、地域経済活性化を図ります。

【2 年度実績】

登録店舗数：276 箇所（令和 3 年 3 月 31 日現在）

うち 2 年度の新規登録 17 箇所

(1) 来訪者受入対応セミナーの開催（大田区まちかど観光案内所と合同）

コロナ禍でもファンをつくる！おもてなし・接客の法則

- ・講師：一般社団法人日本クレーム対応協会 大島和也氏
- ・実施方法：動画を事前に収録し、DVD を登録店舗に配付

(2) 来訪者受入実態調査（大田区まちかど観光案内所と合同）

登録店舗・施設に対し、国内外からの来訪者対応の現況や受け入れ態勢に要するニーズ等についての情報を収集し施策に生かしました。



・実施方法 令和2年7月：全件一斉電話調査

令和2年12月～令和3年1月：アンケート調査、ヒアリング調査（回答 214件、回答率58%）

(3) おもてなしハンドブック改訂（大田区まちかど観光案内所と合同）

災害時のお役立ちツールや、災害時指差しマニュアル、お客様の救急対応、はねびよんについてのページの追加や古い情報の修正などを行いました。

2 大田区まちかど観光案内所事業

平成23年度 事業開始

3年度予算額 607千円 （3年度予算額 750千円）

区内のあらゆる場所で来訪者が手軽に観光情報を入手していただくことを目的に、観光マップやパンフレットの配布、近隣にある観光資源等の簡単な案内等にご協力いただける店舗・宿泊施設等を「大田区まちかど観光案内所」として登録しています。

【大田区まちかど観光案内所の特徴】

- ・区が提供する観光マップ・パンフレット等を可能な範囲で店舗に配架し案内を行う。
- ・店舗・施設利用者以外に対しても、可能な範囲でトイレ、休憩スペースを提供する。
- ・大田区まちかど観光案内所ステッカーを利用者から見えやすい場所に掲示する。



【3年度計画】

2年度に実施した「来訪者受入実態調査」の結果をふまえ、登録店舗・施設の回遊促進に資する施策や、OTA トライアルコーナー等を実施し、区の認知度向上、地域経済活性化を図ります。

【再掲 大田区ウェルカムショップ事業】

【2年度実績】

登録店舗数：287か所（令和3年3月31日現在）

うち2年度の新規登録12か所

登録区施設等：73か所（令和3年3月31日現在）

(1) 来訪者受入対応セミナーの開催（大田区ウェルカムショップと合同）

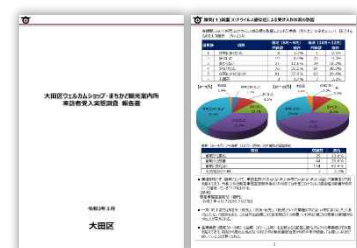
コロナ禍でもファンをつくる！おもてなし・接客の法則

- ・講師：一般社団法人日本クレーム対応協会 大島和也氏
- ・実施方法：動画を事前に収録し、DVDを登録店舗に配付

【再掲 大田区ウェルカムショップ事業】

(2) 来訪者受入実態調査（大田区ウェルカムショップと合同）

登録店舗・施設に対し、国内外からの来訪者対応の現況や受け入れ態勢に要するニーズ等についての情報を収集し、施策に生かしました。



来訪者受入実態調査

報告書

・実施方法 令和2年7月：全件一斉電話調査

令和2年12月～令和3年1月：アンケート調査、ヒアリング調査（回答 214件、回答率58%）

【再掲 大田区ウェルカムショップ事業】

（3）おもてなしハンドブック改訂（大田区ウェルカムショップと合同）

災害時のお役立ちツールや、災害時指差しマニュアル、お客様の救急対応、はねびよんについてのページの追加や古い情報の修正などを行いました。

【再掲 大田区ウェルカムショップ事業】

3 公衆無線 LAN（Wi-Fi 環境）運用保守

平成27年度 事業開始

令和2年度 認証方法変更

3年度予算額5,508千円（2年度予算額6,718千円）

誰もが無料かつ簡易な手続きで利用できる公衆無線 LAN サービスで、訪日外国人、区外からの来訪者、区民へ観光等情報を発信し、区内における観光等の利便を高め来訪や回遊を誘引することを目的としています。1日あたりの利用時間は60分までで何回でもご利用いただけます。また、災害時も災害情報にアクセスできるため、区民や帰宅困難者の安全安心の確保にも寄与します。

【3年度計画】

運用保守の実施

・OTA CITY FREE Wi-Fi の運用保守を行います。



このステッカーが貼ってある場所周辺で利用できます

【2年度実績】

（1）認証方法の変更

・Wi-Fi 利用開始時の認証方法をメールリターン方式に変更し、セキュリティレベルを高めました。

（2）運用保守の実施

以下の表の施設等について運用保守を実施しました。

【OTA CITY FREE Wi-Fi 設置区施設、区内主要駅一覧及び拠点別利用数】

No	施設名	令和2年度 (回)	令和元年度 (回)
1	羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー	1,466	30,070
2	大田区観光情報センター	2,076	5,207
3	大田区産業プラザPiO 観光・産業情報コーナー	4,581	6,753
4	大田区民ホール・アプリコ	4,348	11,190
5	大田区総合体育館	3,202	12,284
6	大森スポーツセンター	1,024	7,254
7	郷土博物館	2,043	1,903
8	龍子記念館	933	700

9	馬込文士村資料展示室	1,354	2,882
10	大森 海苔のふるさと館	707	1,861
11	多摩川台公園古墳展示室	490	676
12	大田文化の森	3,893	8,116
13	新井宿特別出張所内観光情報コーナー	1,897	2,542
14	大田区青少年交流センター（ゆいっつ）*1	6,253	7,027
15	本庁舎1階、2階	35,744	60,000
16	J R大森駅	79,709	229,279
17	J R蒲田駅	133,695	269,347
18	京急蒲田駅	56,382	145,065
設置合計 18 拠点		339,797	749,182

*1 大田区青少年交流センター（ゆいっつ）については、地域力推進部で運用保守を行っています。

※上記ほか区内に OTA CITY FREE Wi-Fi を提供している民間店舗等があります。

4 大田区観光案内サイン推進事業

平成 21 年度 整備計画策定

平成 22 年度 サイン設置

3 年度予算額 13 千円 （2 年度予算額 19,822 千円）

外国人旅行者や障がい者、高齢者など誰もが、安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しんでいただくことを目的として、観光案内サインを整備しています。観光案内サインには、観光資源や観光拠点等を日本語だけでなくピクトグラム・記号、多言語でも表記しているほか、観光情報や防災情報などにリンクする QR コードを掲出して、様々な情報提供を行っています。

【3 年度計画】

- ・盤面修正・更新

【2 年度実績】

- ・新規設置

池上本門寺エリア 中拠点用サイン：2 基



5 大田区観光紹介用パンフレット

平成 21 年度 事業開始

3 年度予算額 7,371 千円 （2 年度予算額 18,187 千円）

区への来訪者への誘客促進及び区の魅力を発信することを目的として様々な観光紹介用パンフレットを作成しています。今年度は、引き続きマイクロツーリズムに対応したパンフレットの更新・増刷を行います。

※マイクロツーリズムとは、自宅から 1～2 時間圏内の地元または近隣への宿泊観光や日帰り観光を指し、

地域の魅力の再発見と地域経済への貢献を念頭に置いた旅行形態です。

【3年度計画】

パンフレットの更新・増刷

【2年度実績】

区民及び観光客等に対し区内の魅力を発信し、安全な区内回遊と区内の消費拡大を促進するため、観光紹介用パンフレットを最新情報に更新しました。

(1) 「大田区観光ガイド」(日本語版)の一部改訂及び増刷

ア 大田区観光ガイド Vol. 2 「ロケ地探訪」

・作成部数：10,000部

イ 大田区観光ガイド Vol. 4 「おもしろフォトスポット」

・作成部数：10,000部

(2) 「Ota City Guide Book」(外国語版)及び「Ota City Guide Map」の一部改訂及び増刷

ア Ota City Guide Book

・作成部数：英語(5,000部)、中国語(簡体字)3,000部、タイ語3,000部、韓国語3,000部

イ Ota City Guide Map

・作成部数：日本語3,000部、英語2,000部、中国語(繁体字)2,000部

中国語(簡体字)2,000部

(3) #haneota(英語版)一部改訂及び増刷

・作成部数：3,000部

6 大田区観光振興プラン2019-2023

平成21年度「大田区観光振興プラン」策定

平成30年度「大田区観光振興プラン2019-2023」策定

3年度予算額0千円 (2年度予算額0千円)

区は、東京2020大会開催にともなう訪日外国人の増加等を背景に、今後予想される様々な変化に的確に対応し、実効性ある観光振興の取組を行うことにより、区への愛着を深め、地域活力を向上させ、地域経済を活性化させることを目的とし、「大田区観光振興プラン2019-2023」を平成30年度に策定しました。

令和元年度には同プラン推進のための2020年度までの2年間の「重点計画(前期)」を策定しました。2年度はプランに新型コロナの影響を反映させた上で、事業単位での実績・効果検証を行い、今後3年間の後期の進捗管理は、事業検証シートを用いることで、柔軟に事業実施の方向性・計画を定めていきます。

【3年度計画】

事業検証シートを用いた「重点計画(前期)」令和2年度の実績効果検証と3年度の進捗管理を行います。

【2年度実績】

「重点計画（前期）」令和元年度の効果検証を実施しました。



7 一般社団法人 大田観光協会補助事業

平成 20 年度 事業開始

平成 21 年度 大田観光協会 一般社団法人取得

平成 25 年度名称変更（「おおたの魅力創出事業」、「観光情報の提供」を統合）

3 年度予算額 42,497 千円 （2 年度予算額 46,855 千円）

（一社）大田観光協会は、区の持つ地域特性を活かした観光事業を行い、文化芸術・スポーツの振興及び産業・地域の活性化を促進することを目的に平成 15 年 11 月に任意団体として設立され、平成 22 年 3 月に法人化しました。

区は、（一社）大田観光協会の実施する事業を支援することで、民間視点での区内経済活性化・地域活性化を取り入れた観光事業振興を行います。今年度は、新型コロナウイルス感染防止に対応した柔軟な事業運営と収束を見据えた事業構築を区とともに進めます。

- ・名 称：一般社団法人 大田観光協会
- ・住 所：大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号 大田区産業プラザ 2 F
- ・電 話：03-3734-0202 ファックス：03-3734-0203 メール：info@o-2.jp
- ・ホームページ：https://www.o-2.jp/

【3年度計画】

（1）おおた商い観光展

大田区、（公財）大田区産業振興協会等と共催する「おおた商い観光展」で、浴場、ホテル、交通事業者、観光まちづくり団体等と連携して区民及び近隣諸都市の来訪者に向け、感染症対策にも留意しながら、大田区の魅力を PR する企画を行います。

（2）（仮称）KAMATA Loves Cinema プロジェクト

令和 2 年度まで実施してきた「蒲田映画祭」で得られた知見・繋がりを活かしながら、地域として「映画のまち・蒲田」を訴求しつつ、「映画好きが集うまち」を目指し、参加者の年齢層も全世代が参加・交流できる企画（映画鑑賞&ファンミーティング、ゲストトーク、自主映画作成&上映）を推進していきます。

（3）大田の魅力 PR 事業

新型コロナウイルスの収束を見据え、主にマイクロツーリズムの観点からまち歩きに関する情報誌の発行やまち歩きツアー、イベントを実施し、地域の魅力を区民及び近隣諸都市の来訪者が再発見す

る機会を提供します。

(4) 水辺の賑わい事業

区民及び近隣諸都市からの来訪者を対象に、大森ふるさとの浜辺公園、京浜運河、多摩川を利用した水辺のイベントやカヌー教室、カヌーツーリングなどの大田区の水辺を観光資源とした事業を推進します。

(5) くりらぼ多摩川運営事業

「モノづくりのまちづくり」の拠点として、オープンDAY、町工BAR、ワークショップなどモノづくりに係る多様なイベントを、区民及び近隣諸都市の住民を対象に実施します。

(6) おおたオープンファクトリー

おおたのモノづくりの魅力を発信し、観光コンテンツとしての活用を図るため、主に武蔵新田・下丸子近辺の工場や、大田区内の工場アパート等を一般開放する「おおたオープンファクトリー」を実施します。このイベントに合わせて町工場の技術を活かした製品づくり（モノたま）や各種ツアーをオンラインを活用しながら実施することで産業支援につなげます。

(7) 観光まちづくり事業

区内で活動する観光ガイドグループ等と連携するほか、マイクロツーリズムの観点から観光まちづくりに寄与する人材育成を行い、担い手を増やします。あわせて研修会やガイド養成講座のフォローアップ研修を実施し、ボランティアガイドの支援、地域と連携したイベントの実施・出店を行います。

(8) ホームページ管理運営

協会ホームページの内容を充実するとともに、SNS の運営等を通じて、大田の魅力を広く発信し、マイクロツーリズム推進に基づく区内外からの誘客を図ります。

(9) 観光パンフレット等の発行

区内のイベントや観光スポット等の魅力を紹介する情報誌・観光マップを大田区観光情報センター等で配布し、区民のシビックプライドの醸成とともに区内外からの誘客につなげます。

【2年度実績】

(1) おおた商い観光展

- ・開催日：令和2年10月1日（木）～12月16日（水）
- ・会場：大田区内各地
- ・内容：松竹蒲田撮影所100周年にちなんだ「100年前の蒲田まちあるき」企画開催
 - ア 100年前の蒲田を紹介する動画の作成
 - イ 蒲田地図今昔クリアファイルの作成
 - ウ グルメ企画の実施（参加者：2,200名）
 - エ まちあるき動画作成（①羽田さんぽ、②大森海苔さんぽ、③池上さんぽ）
- ・成果：100年前の蒲田を紹介する動画視聴回数2376回
「100年前の蒲田地図今昔ファイル」で過去と現在の蒲田を地図で見比べる手法が話題となり、新聞やラジオなどに取り上げられ、区外からの来訪者も増えました。また、経済活性化のため「100年前の食文化を体感する」ということをテーマに地元飲食店やホテルなど11店舗と連携を図り、観光客の受け入れ態勢を強化しました。
まちあるき動画動画視聴回数 ①羽田さんぽ（729回）、②大森海苔さんぽ（293回）、③池上さんぽ（1547回） 動画を視聴された後に、実際に動画のコースを歩く方々が増

えました。

(2) 蒲田映画祭

- ・開催期間：令和2年9月18日（金）～22日（火）、10月3日（土）、17日（土）、18日（日）
- ・会場：大田区民ホール・アプリコ、大田区産業プラザPi0、東急プラザ蒲田
- ・内容：ワークショップ、映画上映、トークショー（来場者数：延べ621人）
- ・成果：区内外から幅広い来場者を集めて「映画のまち・蒲田」のPRを行うことができ、地域の多くの関係団体等との協働によりシビックプライドの醸成にも寄与しました。
また、松竹キネマ蒲田撮影所開設100周年の節目に、「蒲田映画祭」の10年間を蒲田の街の歩みとして、記念誌「映画のチカラ」を発行しました。



(3) 大田の魅力PR事業

ア 大田区さんぽの作成・発行

テーマ：第8号 商店・路地裏めぐり&都会のオアシスでリラックス ～長原・洗足池～
第9号 花のまちさんぽ ～寺町・池上編～

イ 出展事業：新型コロナの影響により以下のイベントは中止としました。

（※池上本門寺 春まつり、大蒲田祭、池上祭、池上七福神めぐり）

ウ おおたのさくらを楽しもう 2021

- ・期間：令和3年3月14日（日）～4月18日（日）
- ・内容：「桜のスランプリ」は、①大田区の全域地図を使った桜スポット紹介の冊子を発行8,000部、②参加型企画として、例年のフォトギャラリーに加え、自作の桜のアート作品の写真を応募する『みんなでつくる「おおたのさくら展覧会 2021」』を開催。閲覧した方の評価「笑顔になった」ポイントが多い上位の方には、大田区の産品をプレゼントしました。
- ・応募点数：190点（桜の写真部門：173点、桜アート部門17点）
- ・参加人数：97名
- ・成果：新型コロナ感染症の予防対策を怠らず、ウォーキングによって気分転換を求める区内外の方へのニーズに応えるとともに、自分たちの知らない地元の桜スポットを知ることができたなどの意見をいただきました。
参加型企画では、「笑顔になる写真」というテーマで実施したことから、動物と桜、思い出の場所、桜への想いなどさまざまな作品を例年以上の応募をいただき、WEB上での展覧会という新たな手法の導入による地域活性化への寄与が形づくられました。

(4) 水辺の賑わい事業

ア TOKYO CANOE FESTIVAL in OTA 2020

新型コロナの影響により中止

イ カヌー教室の実施

新型コロナの影響により中止

(5) くりらぼ多摩川運営事業

- ・内 容：モノづくりの情報交換、交流の場づくりの提案や工場見学、ワークショップ等
- ・来場者数：延べ1,170人
- ・町工BAR開催回数：3回（参加者数：延べ76人）
- ・ワークショップ等イベント開催回数：6回
- ・成 果：従来のオープンデイに加え、オンラインイベントによる交流会やお家時間でモノづくりを楽しんでもらうイベントを実施することにより、ウィズコロナの中でも大田のモノづくりに興味を持つきっかけとなりました。

(6) おおたオープンファクトリー

- ・開催期間：令和2年11月28日(土)
- ・開催形式：オンライン（ライブ&オンデマンド）
- ・内 容：オンライン工場見学、SCRAP作品展（工場廃材を活用した作品の展示）、紙飛行機プロジェクト、バーチャルツアー（多言語化）、オンラインクイズ大会、リモート工場体験、モノづくりたまご等
- ・参加工場：35社
- ・アクセス件数：6,293件（11月28日）
- ・成 果：オンライン形式による新たなオープンファクトリーの形にチャレンジし、コロナ禍においても、地域のモノづくりマインドの醸成とともに、大田区のモノづくりの活力と魅力を広く発信した。また、アーカイブ化によって開催期間以後も体験することができ、より広く大田のモノづくりについて知っていただくきっかけをつくりました。

(7) 観光まちづくり事業

新型コロナ感染症拡大防止の観点から「羽田空港ガイドツアー」「はしご乗り奉納&池上七福神」「まち歩き」等は中止となったが、「池上まちめぐりマップ」を作成

- ・内 容：池上七福神、店舗、バス停の位置などが一目で把握でき各々のペースで周遊できる地図を制作し、はねびょんアプリの紹介、ボランティアガイド出演による「まちあるき動画・池上七福神めぐり」を閲覧できるQRコードを掲載し、動画と見比べながらバーチャルまちあるきを自宅で楽しむことができる取り組みとなりました。
- ・成 果：大田区観光情報センターや令和3年3月に開設した池上駅観光情報コーナーに配架するなどまちなかの回遊を促すアイテムとして好評を得ております。

(8) ホームページ管理運営

区内外の来訪者誘致を図るため、(一社)大田観光協会のホームページを充実させ、大田区の魅力や観光資源をPRしました。また、Facebookにてイベント情報を発信しました。

- ・成 果：ホームページをリニューアルし、より多くの観光情報を発信できるようになりました。Facebookを積極的に更新し、よりリアルタイムでの情報を発信できました。
- ・年間アクセス件数：リクエスト数：5,837,927件、ページビュー数：972,018件
- ・ホームページアドレス：<https://www.o-2.jp/>
- ・Facebook管理：年間投稿数 100件、全体いいね数 2,008件

(9) 観光パンフレット等の発行

No	情報媒体物	内容	発行部数
1	大田の観光（季刊誌） A 3 両面4色 2折 ※年4回の 予定のところ、年2回の発行	各号ごとにスポット、テー マを決めて制作した季刊 誌	夏（6月） 15,000部 冬（12月） 15,000部
2	おおたの桜を楽しもう 2021 A 4 両面4色 クロス折	広げると大田区全域のマ 地図となる。桜スポット、 店、プロムナードを紹介。	8,000部

8 川崎市連携事業

平成 25 年度 「大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定」締結
平成 26 年度 事業開始
3 年度予算額 1,000 千円 （2 年度予算額 1,000 千円）

大田区・川崎市との「観光まちづくり連携事業実行委員会」を中心に、両都市共通の魅力を柱とした観光PRや新たな接客等に向けて、協力関係を強化しながら事業を実施しています。

【3年度計画】

大田区と川崎市共通の観光資源を活用したイベントなどをマイクロツーリズムの観点から実施します。

【2年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

9 大田の観光にぎわい創出事業補助金

平成 29 年度 事業開始
3 年度予算額 0 円 （2 年度予算額 23,000 千円）

区への来訪者誘致の促進及び区民のシビックプライド醸成による地域活性化を図ることを目的に、地域が主体となって大田の観光資源を活かして地域のにぎわいを創出する事業や、産業観光を推進する事業者を支援します。

【3年度計画】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

【2年度実績】

交付決定 一件

10 広域連携による観光プロモーション事業

平成 25 年度 事業開始

平成 30 年度 品川・大田区・川崎市 3 区市によるインバウンド誘致事業開始

令和元年度 神奈川県との合同プロモーション事業開始

3 年度予算額 1,350 千円 (2 年度予算額 3,085 千円)

羽田空港周辺エリアに対する認知度向上や興味・関心の喚起のため、関連自治体及び民間企業と連携し、新型コロナウイルス収束を見据えた外国人向け観光 PR を実施します。

【3 年度計画】

(1) 神奈川県との合同プロモーション事業

外国人観光客のニーズが高いナイトタイム・モーニングタイム観光振興を推進していくことにより、周遊や宿泊を促して滞在時間を延ばし、観光消費額の拡大や地域の経済活性化を図ります。

- ・ナイトタイム・モーニングタイムのコンテンツを含むプロモーション動画の制作をします。

(2) 品川区・大田区・川崎市 3 区市によるインバウンド誘致事業

羽田空港周辺に特化した情報発信を行うことにより、地域の周遊促進や消費活動の活性化を図ります。

- ・ターゲットとなる国や地域へ向けウェブプロモーションを実施します。

【2 年度実績】

(1) 神奈川県との合同プロモーション事業

ア ガイドツアー・モデルコース WEB プロモーション事業

素材を提供し WEB 記事を作成しました。区内観光スポットとして、HiCity、タイヤ公園等 10 か所の記事を掲載しました。

イ 欧米豪をターゲットとした純広告 (オフライン)

5 泊 6 日で羽田空港発着のコースを設定し、イギリス旅行雑誌に掲載しました。大田区は、HiCity、とんかつ屋、はすぬま温泉を紹介しました。

ウ 東アジアブロガー招請事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止

(2) 品川・大田区・川崎市 3 区市によるインバウンド誘致事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止

(3) 訪日プロモーション地方連携事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止

(4) 中国市場に向けた情報発信

新型コロナウイルス感染拡大により中止



欧州豪をターゲットとした純広告

成果：神奈川県との合同プロモーション事業のみ実施しました。WEB 記事は目標値を上回る閲覧があり、大田区の魅力発信に寄与しました。

11 MICE 推進事業

平成 25 年度 事業開始

平成 30 年度 「大田区 MICE 推進会議」設置

令和 2 年度 「大田区における MICE 誘致の戦略とあり方」策定

令和 2 年度 「大田区 MICE 準備会」設置

3 年度予算額 7502 千円 （2 年度予算額 8,698 千円）

区内における地域経済の活性化、シティセールス、観光・国際交流、文化、スポーツ、産業振興等を図ることを目的とし、大田区の得意とする中小規模の多様な会議に対応した MICE(※)を中心に誘致を行い、区内における地域経済の活性化と併せて区の認知度向上にもつなげます。

※MICE とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

【3 年度計画】

(1) MICE 事業構築

ア 大田区 MICE 誘致準備会の運用

有識者、観光・産業実務関連者により設置された会議体にて、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた MICE 誘致に関する助言を受けます。

イ (仮称) 大田区ヘッドクォーター運営委託業務 (予定)

MICE 誘致に当たり、情報の集約、施設や宿泊施設等の手配、産業分野への情報提供を一元的に行う機関 (ヘッドクォーター) を開始します。

ウ (仮称) 大田区 MICE ビューローの設置・運用 (予定)

「大田区 MICE 誘致準備会」を「(仮称) 大田区 MICE ビューロー」に名称変更し、推進体制を構築します。

(2) MICE 推進の取組

ア 大田区 MICE 開催支援助成金の募集

MICE 誘致活動として、近隣諸都市からの集客を目的とした開催に要する経費 (会場借上げ費等)、観光体験・ツアー催行経費、特産品購入経費等を支援・助成します。

イ 国際 MICE エキスポ (IME) への出展 (予定)

新型コロナ収束後の国際 MICE の区内開催に向けた誘致活動として国内最大級の MICE 商談会「国際 MICE エキスポ」への出展を予定しています。

(3) MICE 勉強会、人材育成講座 (予定)

マイクロツーリズム推進の下、近隣諸都市からの MICE 誘致に係る知識等を習得する MICE 関連事業者向け勉強会を実施します。また、区職員を東京都・(公財) 東京観光財団主催の職員向け人材育成講座に参加させ、MICE 誘致にかかる専門的知識を習得します。

【2年度実績】

(1) 大田区 MICE 誘致準備会の設置・運用

有識者、観光・産業実務関連者により設置された会議体の運用を通じて、MICE 誘致の準備のため、会議（2回）を書面で実施しました。

(2) 大田区 MICE 開催支援助成金の交付

2件の交付決定を行い、1件の助成金を交付しました。（内1件は新型コロナの影響により中止）

(3) 人材育成講座への参加

MICE 誘致に係る知識等を習得するため、東京都・（公財）東京観光財団主催の MICE グローバル人材育成（基礎）へ職員が参加しました。

12 メディアを活用した観光情報等の発信

平成 27 年度 事業開始

3 年度予算額 9,526 千円 （2 年度予算額 9,669 千円）

平成 27 年度より大田区の認知度向上、興味・関心の喚起を目的として、多言語対応の公式観光サイトを運営しています。当面の間、区民や近隣諸都市からの来訪者を対象としたマイクロツーリズムに焦点を当てた観光情報を発信しています。

大田区公式観光サイト

- ・対応言語：日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・タイ語・フランス語
- ・URL：<https://ota-tokyo.com>

【3年度計画】

トップページ画像の定期的な更新及びコンテンツの拡充

【2年度実績】

- ・年間延べページビュー数：346,712 件
- ・コンテンツ投稿数：16 回
- ・成果：言語別トップページの改修及びモバイルユーザーが使いやすいページレイアウトへの再構築を行いました。



13 大田区観光 PR 特使事業

平成 24 年度 要綱策定

3 年度予算額 153 千円 （2 年度予算額 155 千円）

大田区の魅力を区の内外に発信することを目的として、区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等各界で活躍・活動している個人 16 人及び 3 団体等に「大田区観光 PR 特使」を委嘱しています。それぞれの活躍の場や機会を通じて、区の魅力を広く発信してもらうことで、区の認知度向上や観光振興を図つ

ています。

【個人】

	氏名	活動分野
1	井上 幹彦	文化・芸術分野（馬込文士村）
2	岩井 克文	国際交流分野（グローバルビジネス）
3	エカート ステファン	国際交流分野（グローバルビジネス・教育）
4	河原 裕子	国際交流分野（「世界一大きな絵」）
5	小林 裕明	国際交流分野（ネパール）
6	近藤 和幸	文化・芸術分野（銭湯）
7	近藤 忠夫	国際交流分野（大連市）
8	千葉 謙吾	国際交流分野（カンボジア）
9	原 圭介	産業分野（スイス）
10	細貝 淳一	産業分野（下町ボブスレープロジェクト）
11	守岡 喜一	国際交流分野（インド）
12	山本 恵美子	国際交流分野（教育）
13	湯澤 元一	文化・芸術分野（太鼓）
14	三笑亭 夢太郎	文化・芸術分野（落語）
15	高橋 ひとみ	文化・芸術分野（演劇）
16	高橋 勝次	スポーツ分野（キックボクシング）

【団体・その他】

	団体名	概要
1	シクラメン	3MC+1 トラックメイカーの男性4人組 アーティスト
2	東京羽田ヴィッキーズ 女子バスケットボールクラブ	女子プロバスケットボールチーム
3	プロバスケットボールチーム アースフレンズ東京Z	男子プロバスケットボールチーム
4	はねぴょん	大田区公式PRキャラクター

【3年度計画】

大田区観光PR特使と連携して、引き続き大田の魅力を国内にとどまらず、海外へも広く発信します。

【2年度実績】

（1）シクラメン

OTA ふれあいフェスタ 2020 代替事業「OTA ふれあい動画コンテスト」の振付ダンスの出演、動画編

集、応募作品の取りまとめを行い、区内外に向けた大田区のPRを行いました。また、大田区観光情報センター5周年記念事業への協力を行いました。

(2) 東京羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ

試合時における観光パンフレットの配布や、区内商店街との連携、地域イベントへの積極的な参加、大田区シティプロモーションサイト「Unique0ta」のインタビュー取材の協力など大田区をPRしました。

(3) アースフレンズ東京Z

試合時にPRブースを設置し、観光パンフレットの配布などを行い、全国各地で大田区をPRし、区立小中学校におけるスポーツ教育支援や区内産学連携の取組等、地域における貢献活動を行いました。

(4) はねぴょん

「みんなで笑おう 24時間ムジナもんch」の出演、自衛隊とのコラボ企画への参加、大田区民ホール・アプリコガイドツアーの参加、大田区シティプロモーションサイトのインタビュー取材協力により、区内外に向けた大田区のPRを行いました。

成果：観光PR特使の各活動分野で大田区の魅力発信に寄与し、認知度向上及び誘客を図りました。

14 大田の魅力を活用した地域PR事業

平成25年度 事業開始

3年度予算額 2,200 千円 (2年度予算額 5,250 千円)

大田区に関連のある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、マイクロツーリズムの推進による区の認知度向上、区への誘客及び回遊・消費向上につなげることを目的として、地域PR事業を実施します。また、区民の地域に対する愛着・誇りを高める取組を行い、新型コロナ収束を見据え、区民による区外に向けた大田区観光推奨を促します。

【3年度計画】

区内の観光資源等を活用したイベントを実施するとともに、メディア等での露出向上を図り、区の認知度向上、近隣諸都市からの誘客促進及び区の魅力の再発見を促します。

【2年度実績】

新型コロナ感染拡大防止のため中止

15 大田・品川地域PR事業

平成20年度 品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱制定・事業開始

平成28年度 品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱廃止

3年度予算額 550 千円 (2年度予算額 550 千円)

観光資源の一部を共有する品川区と連携して、相乗・発信効果を高め、近隣諸都市からの区への誘客、にぎわいの創出を図ることを目的として、事業を実施しています。

【3年度計画】

両区が共有する観光資源を活用したイベントなどをマイクロツーリズムの観点から実施します。

【2年度実績】

新型コロナ感染拡大防止のため中止

16 観光 PR のための展示及び PR ツール等の制作

平成 28 年度 事業開始

3 年度予算額 773 千円 (2 年度予算額 2,098 千円)

区の認知度向上及び誘客を目的として、展示物・ノベルティの制作やイベント等の出展を行い、内外に向けて大田区の魅力を広く発信します。

【3年度計画】

ウィズコロナに対応したマイクロツーリズムに焦点を当て、観光 PR のための展示と PR ツール等の制作を行います。

(1) 大田区 PR ツール等制作費

展示物やイベントなどで配布するノベルティ等を制作します。

(2) イベント等への出展

各イベントに出展し、区の PR や物販等を行います。



はねびよんマスクケース

【2年度実績】

(1) 展示物・掲示物制作

- ・イベント用パネル制作—大田区観光情報センター 9 月イベント「洗足池エリア探訪」
大田区観光情報センター 11 月イベント「渋沢栄一ゆかりの街 田園調布」
- ・池上駅大田区観光情報コーナー用イラストマップ制作

(2) イベント出展

- ・羽田空港第 2 ターミナルウェルカムセンター展示

17 「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業

平成 27 年度 事業開始

平成 29 年度 国際都市・多文化共生課から事務移管

3 年度予算額 1,000 千円 (2 年度予算額 1,814 千円)

大田区は、平成 29 年 3 月に「国際都市おおた」を宣言し、「未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現

に向けて、「観光の魅力」「多文化共生の大切さ」「産業の力強さ」を結集し、「地域の力」を活かして推進しています。

羽田空港「空の日」記念行事と連携することで、「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールするとともに、来場した区民の皆様が「世界とつながるおおた」を体感し、大田区への誇り・愛着をいただけるよう取り組みます。

【3年度計画】

空の旬間にあわせ「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールできる企画を予定。

【2年度実績】

(1) 羽田空港「空の日」記念行事イベント

新型コロナ感染拡大防止のため中止。

(2) 羽田空港「空の日」フェスティバル 2020 スペシャル動画作成

- ・公開期間：令和2年9月18日（金）～令和2年9月30日（水）
- ・公開場所：国土交通省東京航空局 HP
- ・内容：「空の日」の歴史、羽田空港における過去の「空の日」イベントの紹介、令和3年度に向けてのメッセージ
- ・成果：令和3年度の羽田空港「空の日」記念行事に向けて気運を醸成しました。

18 大田区公式 PR キャラクター「はねびよん」の活用

平成 27 年度 キャラクターデザイン決定

平成 28 年度 名称決定

平成 30 年度 総務課から事務移管

3 年度予算額 3,593 千円 （2 年度予算額 4,588 千円）

大田区の魅力を内外に発信し、シティプロモーションを推進するとともに、区民のわがまちへの愛着を高めることを目的として、大田区公式 PR キャラクター「はねびよん」を積極的に活用します。



大田区公式 PR キャラクター

はねびよん

名 前：はねびよん

名前の由来：日本の空の玄関口「羽田空港」の「はね」、そして桜の名所や銭湯などを「びよんびよん」と駆け巡ることから

使 命：大田区公式 PR キャラクターとして、「国際都市おおた」を日本中、世界中に広く PR すること

【3年度計画】

新型コロナの状況を注視しつつ区内外のイベント出演や、専用 Twitter の運用、着ぐるみの貸出、デザイン使用申請の受付、グッズ販売などを行います。

【2年度実績】

専用 Twitter の運用、着ぐるみの貸出、デザイン使用申請の受付、グッズ販売などを行いました。

- ・ Twitter フォロワー数 : 3,970 件 (令和3年3月31日現在)
- ・ 着ぐるみ貸出件数 : 68 件
- ・ デザイン使用申請件数 : 440 件
- ・ グッズ販売場所 : 23 か所

19 ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業【廃止】

(2年度予算額 8,000 千円)

東京 2020 大会延期に伴い、事業を中止

20 おおたプライド事業「大田区学」【新規】

令和3年度 事業開始

3年度予算額 517 千円

まちの魅力や再発見を通じて、区民一人ひとりのシビックプライドの醸成につなげ、区民自らが大田区の良さを区内外に PR することにより、大田区ファンや区への来訪者を増やすことを目的とした事業です。

令和3年度は、身近にありながら気づかなかった、大田区の歴史・文化・名所・伝統・食といった幅広い分野に存在する奥深い魅力を講座やクイズにして、楽しく学べるようにしていきます。

【3年度計画】

(1) ミニミニ講座の実施

解説者と聞き手による講座の動画を YouTube などの SNS を活用して、定期配信します。

(2) クイズ大田区学の実施

クイズを区ホームページや SNS などを利用して配信します。



21 大田区探訪「はねぴょんさんぽ」【新規】

令和3年度 事業開始

3年度予算額 201 千円

区内魅力の再発見、シビックプライドの醸成をするととも区内経済活性化を目的として、大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」が、区内の観光スポットや商店街等を巡り、地域の方々との交流を深めながら街の魅力を紹介します。

【3年度計画】

区内観光スポット等を巡る様子を
TwitterなどのSNSを活用して動画配信します。



22 東京 2020 大会を契機とした地域活性化事業【新規】

令和3年度 事業開始（今年度限り）
3年度予算額 1,000 千円

東京 2020 大会を契機に地域が主体となって区内の観光資源等を活用した来訪者の回遊・消費向上に資する事業及び区民が地域への愛着や誇りを高めるための事業に対して支援を行うことを目的としています。

【3年度計画】

補助対象事業は以下の2区分とし、それぞれの条件を満たす事業に対し、経費の一部を補助します。

(A) 観光者向け事業（広域事業）

(B) 区民向け事業（地域事業）

- ・ 共通事項：朝の密になりにくい時間帯に実施する事業

区内の地域にある施設、公園、商店街等の観光資源を活用した事業

- ・ 補助対象期間：令和3年7月1日から令和3年9月30日までの期間に実施完了する事業

23 大田区観光情報センターの運営

平成27年度 開業
3年度予算額 55,135 千円 （2年度予算額 55,619 千円）

京急蒲田駅直結の商業施設内にある大田区観光情報センターは、国内外からの旅行者をはじめとした区内への来訪者誘客及び観光情報の発信を目的として、「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした観光案内所です。現在はマイクロツーリズム推進の下、来訪者に対し、区内の様々な場所を案内することで、回遊性の向上を図るとともに、区内の多種多様な物品やお土産等の展示・販売を通じ区民ならびに近隣諸都市の皆様にも大田区の魅力を再発見していただいています。

- ・ 名称：大田区観光情報センター
- ・ 住所：大田区蒲田四丁目50番11号 ウィングキッチン京急蒲田M2F
- ・ 営業時間：9：00～21：00（年中無休）
- ・ 電話：03-6424-7288
- ・ URL：<https://tokyoactivity.com/ja/>
- ・ 開設日：平成27年12月11日（金）

- ・サービス内容：
 - ア 多言語による大田区の観光案内
 - イ 展示・物販を通じた大田区の観光・食・技術のPR
 - ウ 茶道、華道、折り紙体験等の日本文化体験の実施
 - エ イベント等を通じた区民と来訪者の来館促進
 - オ Wi-Fi ルーターレンタル業務

【3年度計画】

- ・区民ならびに近隣諸都市の皆様には区内の観光資源等を再発見いただける展示・イベントを実施します。
- ・大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所との連携を強化し、区内回遊を促し、地域経済活性化に繋がります。
- ・SNS を活用し、来訪が難しい海外ユーザー等に対する情報発信に注力します。

【2年度実績】

- ・来場者数：24,019人（うち外国人201人）
- ・観光相談件数：929件（うち外国人117件）
- ・文化体験利用者数：有料体験0人、無料体験6人（うち外国人2人）
- ※新型コロナの影響により、令和2年4月から10月まで及び令和3年1月から3月まで体験を休止
- ・実施企画：企画展・イベント等：16回実施

「おもてなし外国語講座」：新型コロナの影響により休止

成果：新型コロナの影響による遠方からの来訪者減少を受け、区民の皆様には地元の魅力を再発見していただくことを目的としたイベントを開催し、各地区のおすすめスポットや人気商品の展示・販売を行いました。開業5周年を迎えた12月には、大田区観光PR特使「シクラメン」のご協力のもと、メンバーが区内を案内するムービーの放映や区内店舗とのコラボレーション商品販売を実施し、都外からの来館者がムービー内で紹介された店舗・施設を回遊する姿も多くみられました。また、七夕や桜の生け花展示等の季節に合わせた展示は、「コロナ禍で外出ができない中で季節感が感じられてうれしい」と近隣にお住まいの方を中心に楽しみいただきました。



24 大田区観光情報コーナー等の運営

平成22年度 羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー設置
令和2年度 池上駅大田区観光情報コーナー設置

3年度予算額2,398千円（2年度予算額2,398千円）

パンフレットの配布、産業関連の展示を通じて、大田区への誘客を図ることを目的に、羽田空港第3ターミナル2階国際線到着ロビーに大田区の観光情報コーナーを設置しています。また、このコーナーを通じて東京観光財団が運営する東京観光情報センターと大田区観光情報センターとの連携も行っています。

令和3年3月には、池上駅利用者への情報発信や来訪者の回遊促進を目的に、池上駅大田区観光情報コーナーを設置しました。

(1) 羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー

※新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年1月9日から6月30日まで営業中止

- ・所在地：大田区羽田空港二丁目6番5号羽田空港第3ターミナル2階到着ロビー「東京観光情報センター」内
- ・営業時間：5：30～25：00（年中無休）
- ・内容：大田区の観光展示・パネル等展示、観光パンフレットの配布



【3年度計画】

新型コロナ収束後のインバウンド回復を見据えながら、大田区への訪日外国人旅行者誘客のための観光PRを実施します。

【2年度実績】

パンフレットの配布や産業関連の展示を通じて、大田区への誘客のための観光PRを実施しました。
成果：国際線利用者へ区の観光情報を発信し、認知度向上及び誘客を図りました。

(2) 池上駅大田区観光情報コーナー

- ・所在地：大田区池上六丁目3番10号
東急池上線池上駅2階自由通路北口EV正面
- ・内容：池上イラストマップ展示、観光パンフレットの配布

【3年度計画】

パンフレットの配布やイラストマップの展示を通じて、地域経済活性化や区の認知度向上のための観光PRを実施します。

【2年度実績】

パンフレットの配布やイラストマップの展示を通じて、大田区内の観光情報を発信しました。



25 観光関連事業者等との連携（大田区観光推進連絡協議会運営）

平成24年度 事業開始

3年度予算額 129千円（2年度予算額 327千円）

区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とし、情報交換等を行っています。会員間の連携を強化するとともに、大田区の観光魅力の創出や誘客、回遊促進の検討を行います。

【3年度計画】

- ・観光推進連絡協議会の開催
東京 2020 大会関連、マイクロツーリズム、MICE 等、その他施策に繋がる議論を行います。

【2年度実績】

- (1) 観光推進連絡協議会の開催
※新型コロナ感染拡大防止のため中止
- (2) 区内施設・観光資源に関する視察の実施
※新型コロナ感染拡大防止のため中止

26 大田区における撮影支援・協力

平成 22 年度 事業開始
3 年度予算額ー（2 年度予算額ー）

大田区の認知度向上と新たな観光資源の開拓を目的とし、CM・ドラマ・映画等の区内撮影に対してロケ支援を行っています。これまでも東宝映画「シン・ゴジラ」、TBS テレビドラマ「集団左遷」や「下町ロケット」での撮影支援を行ってまいりました。今後も制作会社等への協力を行うとともに、東京ロケーションボックスほかと連携し、大田区の露出を増やし、魅力度向上に努めてまいります。

【3年度計画】

- ・区内撮影におけるロケ支援・協力
区内での撮影において、適したロケーションの紹介を行います。特に大田区の PR に資する作品の際は、区施設の活用等庁内で連携し、積極的に支援・協力を行います。

【2年度実績】

- (1) 撮影支援・協力
 - ・2022 年に世界配信を予定している米国ドラマ「ROCKBRIDGE」
撮影予定場所周辺の区施設等への連絡等の協力を観光課ロケ地支援業務として実施
- (2) 情報提供・ロケーション紹介
 - ・TBS 連続ドラマ
 - ・ゲーム CM
 - ・有名ミュージシャン MV 撮影
 - ・日本テレビ地域路線紹介番組
 - ・テレビ東京地域紹介番組 等
- (3) ロケ相談 49 件



(2) 国際都市・多文化共生推進課

新型コロナが世界的に拡大する中、国際交流は停滞を余儀なくされていますが、感染収束後には、外国人来訪者数の回復が想定されます。平成 31 年の入管法の改正に伴い、今後外国人人材を含む新たな外国人区民の増加も予想されます。

「未来へ躍動する国際都市おおた」の実現には、日本人区民と外国人区民それぞれが持つ多様な個性と能力を発揮し、地域社会を支える主体として認め合い、ともに地域の課題に取り組みながら、地域の一員として地域全体を盛り上げていくことが不可欠です。

区には、多文化共生を推進する区内の様々な団体の活動や、国際交流ボランティアの活躍支援を通じて、区民の多文化共生意識の醸成を図り、異なる文化や習慣への更なる相互理解を深めることが求められています。そのため、区は、国際都市おおた協会と連携し、多くの日本人区民に国際交流・多文化共生意識を育む機会を提供するとともに、外国人区民の活躍の場を地域に創出していきます。

国籍や世代に関わりなく、より多くの区民の積極的かつ主体的な国際・多文化交流活動への参画につなげ、「誰一人取り残さない」社会の実現という国際的な潮流を踏まえ、今後も「国際都市おおた」を力強く推進します。

予算事務事業名	事業名	頁
文化国際費		
姉妹・友好都市等交流事業		
	1 中国北京市朝陽区等との交流の推進	32
	2 アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	34
国際都市事業の推進		
	3 国際都市事業	35
(一財) 国際都市おおた協会の運営		
	4 一般財団法人国際都市おおた協会の運営 (運営費補助・事業費補助・施設運営費)	37
国際交流事業		
	5 交流事業費 (その他の海外都市との交流)	45
多文化共生推進事業		
	6 多文化共生のネットワークづくり	46

1 中国北京市朝陽区等との交流の推進

平成 10 年 9 月 北京市朝陽区と友好交流・協力区関係合意書調印

平成 21 年 10 月 大連市と友好協力関係都市協定締結

3 年度予算額 3,072 千円 (2 年度予算額 5,448 千円)

大田区と朝陽区の交流は、昭和 51 年 (1976 年) に当時の区長が朝陽区を訪問し、友好交流をしたことをきっかけに始まりました。その後、両区長の相互訪問や青少年交流を積み重ね、日中平和友好条約締結 20 周年を迎えた平成 10 年 (1998 年) 9 月に友好都市となり、現在も活発な交流が続いています。

日中青少年友好訪問団は、両国の青少年が国際的視野を広めるとともに相互理解と友好を深めることを目的として、平成12年から派遣10回、受入8回の交流を行いました。

大田区と大連市は、平成21年（2009年）10月に友好協力関係都市となり交流を行っています。

※令和2年度は新型コロナにより、青少年派遣交流は中止となりました。

【3年度計画】

（1）第9回朝陽区日中青少年友好訪問団受入

- ・日 程：未定
- ・内 容：表敬訪問、大田区内視察、学校交流など
- ・参加者数：12人（青少年10人、引率2人）
- ・沿 革：平成12年から実施

（2）大連市青少年代表団受入

- ・日 程：未定
- ・内 容：表敬訪問、区内小中学校との交流など
- ・参加者数：50人
- ・沿 革：平成22年から実施

【2年度実績】

2年度は新型コロナ感染拡大防止のため、青少年訪問団の派遣・受入れは中止となったものの、マスク等の医療物資支援を通じた交流や、大連市への動画メッセージ送付などにより交流を行いました。

（1）大連市からの医療物資支援

- ・受 入：令和2年4月17日（金）
- ・内 容：マスク、防護服、サージカルグローブ

（2）朝陽区からの医療物資支援

- ・受 入：令和2年5月21日（木）
- ・内 容：マスク、サージカルグローブ

（3）大連市へのビデオメッセージ送付

- ・実 施：令和3年2月25日（木）
- ・内 容：大連市外事弁公室の設立70周年をお祝いするとともに、今後の更なる友好推進に向けて、ビデオメッセージを送付しました。



大連市から到着した医療支援物資



大連市外事弁公室設立70周年
ビデオメッセージ

2 アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進

平成3年 セーラム市と姉妹都市提携宣言書調印
3年度予算額 1,333 千円 （2年度予算額 3,820 千円）

明治10年に大森貝塚を発見したモース博士は、セーラム市にあるピーボディー科学アカデミー（現ピーボディー・エセックス博物館）の第3代館長でした。このことを縁に、昭和59年、大田区立郷土博物館とピーボディー博物館（現ピーボディー・エセックス博物館）が姉妹館提携をしました。それが発展して、平成3年、大田区とセーラム市は姉妹都市となり、交流を続けています。

姉妹都市セーラム市との交流を深めることを目的として、隔年で、公募した区民を派遣するとともに、セーラム市民訪問団の受け入れを支援しています。

今年度は受入及び派遣の予定でしたが、新型コロナの影響により中止します。また、令和3年11月18日に姉妹都市提携30周年を迎えるため、記念事業を実施する予定です。

【3年度計画】

（1）第12回セーラム市学生訪問団受入（中止）

- ・日 程：令和3年8月の約1週間
- ・内 容：区長・区議会表敬訪問、学校訪問、区民交流会、区内・都内見学、茶道・着付体験など
- ・参加者数：10人程度
- ・沿 革：平成9年度から実施

（2）第24回セーラム市区民親善訪問団派遣（中止）

- ・日 程：令和3年11月の約1週間
- ・内 容：市庁舎、ピーボディー・エセックス博物館、学校等訪問、ホームステイ、セーラム市民との交流会、セーラム市近郊を観光（旅費は団員負担）
- ・参加者数：20人程度
- ・沿 革：平成2年度から実施

（3）姉妹都市提携30周年記念事業（予定）

- ・日 程：令和3年11月頃
- ・内 容：記念動画の制作、セーラム市へ記念品寄贈、セーラム市民とのオンライン交流等

【2年度実績】

（1）応援ビデオメッセージの交換

- ・実 施：令和2年7月
- ・内 容：セーラム派遣中学校生徒・教員、大田セーラムクラブ会員の皆様と大田区長、大田区議会議長に出演いただき、コロナ克服応援メッセージ動画を作成し、セーラム市へ送付しました。
- ・成 果：コロナ禍でも両都市の交流が途切れないよう、温かいエールを込めたビデオメッセージを互いに届け合い、信頼の絆を深めることができました。

（2）グリーティングカードの作成・送付

- ・実 施：令和2年12月

- ・内 容：区内国際交流団体「大田セーラムクラブ」と協働してグリーティングカードを作成し、セーラム市民団体へ送付しました。
- ・成 果：今年度に迎える姉妹都市 30 周年を見据え、相互の草の根交流を深めることができました。



松原区長、塩野目前議長をはじめセーラム市を訪問した関係者が出演したビデオメッセージ



セーラム市民団体に送付したグリーティングカード

3 国際都市事業

平成 23 年度 事業開始

3 年度予算額 1,001 千円 （2 年度予算額 2,808 千円）

「国際都市おおた」の推進に向けて、区は、区民一人ひとりの力はもちろん、自治会・町会、団体、NPO など様々な主体と連動した取組や国内外への情報発信を行います。併せて、区の各部局との調整・連携を図り、全庁的な取組につなげていきます。

【3 年度計画】

(1) 国際都市連携調整会議

国際都市連携調整会議は、平成 23 年に「国際都市おおた」の実現を目的としてはじめて開催されました。現在は、平成 31 年 3 月に策定された『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン 2019-2023 年度版』に掲げられた計画事業を着実に実施していくための全庁的な検討の場として、位置づけています。

- ・沿 革：平成 23 年度から実施

(2) 18 色の国際都市事業の実施

国際都市・多文化共生推進課及び 18 特別出張所が地域団体等と連携し、各地域の独自性を生かした「国際都市おおた」を推進する取組「18 色の国際都市事業」を実施しています。

日本人区民も外国人区民もそれぞれが持つ多様な個性と能力を発揮し、地域社会を支える主体として認め合うことで、誰もが安心かつ快適に生活し、活躍することができるまちづくりを推進します。

- ・沿 革：平成 25 年度から実施

(3) 国際都市おおた大使（来～る大田区大使）

18 歳以上の区内在住・在勤等、大田区にゆかりのある外国籍の方等を国際都市おおた大使として委嘱しています。

国際交流・多文化共生・観光・文化・スポーツ・産業・教育など様々な分野における大田区の魅力を、SNS等を通じて国内外へ発信します。また、大田区主催のイベント等にも参加いただき、国際交流や多文化共生を推進します。

- ・沿革：平成21年度に「観光大使」として始まり、平成27年度から「国際都市おおた大使（通称：来～る大田区大使）」に名称変更し活動実施

（４）「国際都市おおた」啓発活動

各国との国際交流や18色の国際都市事業などの各種イベント事業の中で、「国際都市おおた」を啓発していくPR用グッズを配布します。

- ・沿革：平成23年度から実施

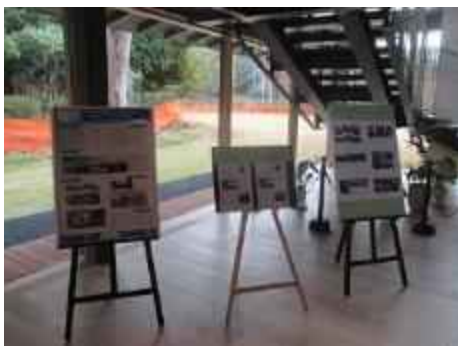
【2年度実績】

（１）国際都市連携調整会議

- ・内容：「国際都市おおた」の現状について、令和元年度「国際都市おおた」多文化共生推進プラン（2019～2023）推進状況調査結果や、「国際都市おおた」推進に向けた現状と今後の取組などを報告し、意見交換を実施
- ・構成員：各部庶務担当課長
- ・開催日：令和3年2月3日（水）
- ・成果：大田区の外国人に関する各種データや、「国際都市おおた」多文化共生推進プランにおける各部局の取組状況について情報共有するとともに、情報発信に有効な言語である「やさしい日本語」の活用について紹介しました。
各部局の事業において、外国人が暮らしやすい社会に向けた取組を進めることを共通認識としました。

（２）18色の国際都市事業の実施

- ・内容：各特別出張所が国際都市事業と位置付けたイベント等の実施
- ・実施回数：19回
- ・成果：今年度は、新型コロナの影響等により、従前の事業実施が制限される状況でしたが、外国人区民から見た地域の魅力や母国の文化紹介、やさしい日本語を紹介するパネル展示をはじめ、外国人区民と地域住民との交流など工夫を凝らした「糎谷“みんなのねがい”千羽鶴ハッピー大作戦」などの新規事業を実施することができました。



【田園調布特別出張所】

田園調布グリーンフェスタでパネル展示



【糎谷特別出張所】

糎谷“みんなのねがい”千羽鶴ハッピー大作戦

(3) 国際都市おおた大使（来～る大田区大使）

- ・人数：27人
- ・出身国・地域：12か国・地域 アメリカ（4人）、韓国（1人）、イタリア（1人）、インドネシア（8人）、タイ（2人）、中国（5人）、トルコ（1人）、ベトナム（1人）、ネパール（1人）、ハンガリー（1人）、シンガポール（1人）、ブラジル（1人）
- ・活動件数：27件
- ・成果：これまで応募のなかった2か国（シンガポール、ブラジル）が加わり、区の魅力をさらに国内外に発信することができました。
※大使累計26の国・地域で107人を任命



令和2年度国際都市おおた大使 委嘱式

(4) 「国際都市おおた」啓発用品の配布

- ・内容：「国際都市おおた」のPRを目的とした啓発グッズの製作（ボールペンとコットンバッグ）とイベント等での配布
- ・成果：新型コロナウイルスの影響により、各国との国際交流をはじめ各種イベントが中止となったため、啓発グッズを配布する機会が減少しましたが、国際都市おおた大使の委嘱式や新井宿特別出張所、羽田特別出張所による18色の国際都市事業で啓発グッズを配布し「国際都市おおた」をPRすることができました。

4 一般財団法人国際都市おおた協会の運営（運営費補助・事業費補助・施設運営費）

平成29年12月 設立

3年度予算額178,375千円（2年度予算額181,801千円）

一般財団法人国際都市おおた協会（GOCA）は、大田区における国際交流と多文化共生を推進し、地域の活性化に寄与することを目的として、平成29年12月に設立されました。GOCAは、区民、ボランティア、団体等の有する力を結びつけ、地域課題の解決につなげていくコーディネーターとして、多文化共生、国際交流、国際人材育成、国際協力を中心とした事業を展開しています。

- ・名称：一般財団法人国際都市おおた協会
- ・住所：大田区山王二丁目3番7号 大森まちづくり推進施設 4階
- ・電話：03-6410-7981
- ・ファックス：03-6410-7982
- ・メール：info@ota-goca.or.jp
- ・ホームページ：https://www.ota-goca.or.jp/

【3年度計画】※新型コロナ感染拡大収束の動向を見据えながら、柔軟な事業運営を行います。

(1) 相談・情報提供

多言語相談窓口において、外国人区民等に向けた生活相談・情報提供を行います。

- ・場 所：大田区多文化共生推進センター（mics おおた内）
- ・開設時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00
第1・第3日曜日 13:00～17:00

※ただし、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）及び大田区消費者生活センター休館日は休業します。

- ・沿革：平成30年度から実施

ア 一般相談

言語	月	火	水	木	金
英語	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～17:00		10:00～17:00
中国語	10:00～17:00	10:00～17:00		10:00～17:00	10:00～17:00
タガログ語	10:00～17:00				10:00～17:00
ネパール語			10:00～17:00		
ベトナム語				10:00～17:00	

※その他の言語は要相談

イ 専門相談

弁護士による法律相談（事前予約制）

開設時間	担当
第1・3日曜日 13:00～17:00	弁護士等・各言語通訳者

ウ 区内転入者に対する生活情報支援

外国籍の転入者向けに日本の生活習慣・ルール・マナー等の情報提供を行います。

※当面は休止とし、区内の感染者の状況や大田区新型コロナウイルス感染症対策本部の方針等を踏まえて再開もしくは代替について検討する予定です。

(2) 通訳・翻訳

区立小・中学校をはじめとする区内にある公的施設等へ通訳者を派遣します。また、行政情報の多言語化をはじめとする公的文書の翻訳を行うほか、区へ提出する文書の翻訳協力を行います。

- ・沿革：平成30年度から実施

(3) 日本語学習の支援

- ・生活上の基本的な日本語を学ぶための初級日本語講座や、海外から転入した不就学・未就学の子など、小・中学校への就学時にサポートを要する様々な子どもたちを対象としたこども日本語教室などを開催します。
- ・外国籍保護者を対象に、学校プリントを読むときのコツや学校特有の単語の意味等を学ぶための講座を開催します。
- ・新しく日本語ボランティアを始めたい人や学習支援の基本を学びなおしたい人などを対象に基礎的な講座を開催します。
- ・外国籍の子どもの学習支援を行うボランティアを養成するための講座を行うとともに、同講座の受

講者が指導経験を積む場として、夏休みの宿題や自由研究のサポートをする教室を開催します。

- ・沿革：平成 30 年度から実施

(4) 災害時外国人支援

- ・区との協定に基づく災害時要支援外国人相談窓口の円滑な設置・運営に向けてマニュアルの検証等を行います。
- ・災害時に通訳・翻訳等により外国人支援を行うボランティアを募集・登録し、養成・スキルアップのための講座や訓練を開催します。
- ・沿革：平成 30 年度から実施

(5) 多文化共生の意識啓発

多様な文化や価値観への理解を深めるための講座やワークショップを実施し、区民一人ひとりの多文化共生意識の醸成と相互理解・交流を促進します。

- ・沿革：平成 30 年度から実施

(6) 地域における国際交流

- ・「日本語でスピーチ」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休止とし、代替として過去の発表者やボランティア日本語教室の指導者等から、スピーチ大会の経験談や現在の活動等を文章で寄せてもらい、文集として作成・公開します。
- ・世界の文化や日本の伝統文化を体験し交流ができる多文化交流会、外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本の生活文化を体験できるホームビジットイベントを開催し、交流を通して相互理解を図ります。
- ・沿革：平成 30 年度から実施

(7) 国際交流ボランティアの活躍支援

- ・国際交流ボランティアの登録を行うとともに、スキルアップ講座を開催します。また、国際交流ボランティアの中で実行委員会をつくり、地域で活躍する外国人を取材し、記事を作成して協会のホームページで紹介するほか、交流会を開催し、国際交流ボランティア同士の連携や親睦を深めます。
- ・沿革：平成 30 年度から実施

(8) 就労・定着支援（福祉編）

外国人が福祉施設で働くために必要な日本語やマナー等を学ぶ介護の日本語講座を開催し、定着につなげます。

- ・沿革：令和元年度から実施

(9) 国際協力の意識啓発

区立小・中学校と連携して、JICA 青年海外協力隊経験者を講師に招き、講演会（授業）を開催します。

- ・沿革：令和元年度から実施

(10) 広報紙の発行

協会のニューズレター「GOCA ニュース from おおた」を発行（年 4 回予定）します。

- ・沿革：平成 30 年度から実施

(11) 公式 SNS による情報発信

Twitter、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用し、イベント・講座情報や災害発生時の緊急情報などを適時発信します。

- ・沿革：令和元年度から実施

(12) (仮称) 大田区国際交流施設の開設準備、国際都市おおた協会事務所及び多言語相談窓口の移転

京急蒲田駅前に開設予定の新施設について、区と連携し、令和4年4月の移転に向けた準備を行います。

【2年度実績】

(1) 多言語相談窓口の運営

ア 多言語相談

外国人が日常生活で直面する様々な課題（在留資格、税金、医療・保険、結婚、労働等）に関する相談を多言語で受けるとともに、的確に関係機関につなげる支援を行いました。

- ・対応言語：英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語

※そのほかの言語については、事前予約にて対応しました。（対応言語：スペイン語、ロシア語、フランス語、ベンガル語、ウルドゥー語など）また、6月から多言語通訳タブレットを使用し、窓口対応を行うことで各言語の相談員が不在の場合でも、簡易な相談に対応可能になりました。

- ・相談件数：4,652件

イ 区内転入者に対する生活情報支援

海外から転入した外国人の生活をサポートするため、多言語相談窓口において日本の生活習慣やマナー等の情報提供を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外からの転入が著しく減少したため、生活習慣・マナー等の情報提供実績はありませんでした。

この代替として、多言語相談窓口を休止することなく運営するため、窓口の感染症対策を徹底するとともに Skype を導入し、利用者がリモートでも相談できるよう環境整備を行いました。

(2) 通訳者派遣及び翻訳・校正

外国人の保護者が参加する小・中学校の三者面談や保育園の保護者会、区が実施する子どもの健康診断などに通訳者を派遣し、円滑なコミュニケーションが確保できるよう支援しました。また、行政情報の多言語化をはじめとする公文書の翻訳を行うほか、婚姻手続き等で区に提出する文書の翻訳を実施しました。

- ・通訳者派遣件数：123件
- ・翻訳件数：571件
- ・校正件数：35件

(3) 2020 おもてなし健康通訳ボランティア育成講座

実施日	事業内容・実績
9月12日（土）	前年度の受講者を対象に、真夏の東京2020大会開催時の救護所等において、熱中症等で体調不良となった外国人来訪者を想定して支援するボランティアの育成講座をWEB会議システム（Zoom）で開催 ・受講者5名

【(1)～(3)主な成果】

- ・多言語相談窓口はリモートでの相談対応ができるよう環境整備を行うことで、コロナ禍においても休止することなく相談業務を継続し、様々な不安を抱える外国人区民の生活支援につなげることができました。

- ・東京 2020 大会の開催が翌年に迫る中、コロナ禍の影響で通常健康通訳ボランティア養成講座の開催が困難な状況でしたが、WEB 会議システムを導入することで講座を中止せず開催することができ、ボランティアの育成支援を継続することができました。

(4) 日本語学習の支援

ア 日本語講座の開催

実施日	事業内容・実績
通年開催 (在籍期間は原則 6 か月以内)	【おおたこども日本語教室】 小中学校への就学に向けて、ひらがな・カタカナ・漢字の読み書きなど、学校生活に必要な言葉を学ぶ教室 [蒲田教室] 受講者：27 人 (うち、17 人就学) [大森教室] 受講者：14 人 (うち、12 人就学)
[第 1 期] 全 8 回 7 月 5 日 (日) ～8 月 30 日 (日) [第 2 期] 全 8 回 10 月 4 日 (日) ～11 月 29 日 (日)	【初級日本語講座】 ひらがなやカタカナの読み書き、簡単な会話など、生活上の基本的な日本語及び緊急・災害時の対応方法について学ぶ講座 ※対面又はオンラインを選択できるハイブリッド形式で実施 [第 1 期] 受講者：8 人 [第 2 期] 受講者：13 人
全 5 回 11 月 4 日 (水) ～12 月 2 日 (水)	【日本語講座「学校プリントを読もう」】 学校で配布されるプリントの読み方のコツや学校特有の単語の意味等を学ぶ講座 ※対面又はオンラインを選択できるハイブリッド形式で実施 ・ 受講者：16 人

【主な成果】

- ・受講者のニーズに合わせ、対面又は WEB 会議システムを選択できるハイブリッド式の講座を導入したことにより、妊娠中や小さなお子さんがある方など多くの受講者から「学習の継続を諦めずにすんだ」「感染リスクを心配せず安心して学べた」といった声をいただきました。
- ・おおたこども日本語教室では、日本語によるコミュニケーションに不安を感じている外国にルーツのある子どもたちが円滑に就学できるよう支援しました。



初級日本語講座 (対面)



初級日本語講座 (オンライン)

イ 日本語ボランティアの養成講座の開催

実施日	事業内容・実績
全3回 12月12日(土) ～12月26日(土)	【日本語ボランティアステップアップ講座】 区内の「ボランティア日本語教室」で活動しているボランティア、入門講座修了者等を対象としたスキルアップのための講座 ・受講者：11人

【主な成果】

簡単で、すぐ実践できる具体的な支援方法や、今後のボランティア活動に役立つ情報などを講座に取り入れることで、日本語ボランティア全体のスキルアップを図ることができました。

(5) 災害時外国人支援

ア 災害時要支援外国人相談窓口の体制整備

「大田区災害時要支援外国人相談窓口の設置及び運営に関する協定」に基づき、窓口の円滑な設置・運営に向けたマニュアルを作成しました。

イ 災害時外国人支援ボランティアの養成

実施日	事業内容・実績
4月21日(火)	【風水害時翻訳シミュレーション訓練】 E-mailと電話連絡による翻訳シミュレーション訓練の実施 ・参加者：12人
【訓練】 5月25日(月) 【講座】 6月14日(月)	【災害時翻訳シミュレーション訓練・講座】 多言語に翻訳する訓練の実施及び翻訳技法やルールを学ぶ講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・訓練参加者及び講座受講者：11人
9月10日(木)	【多言語翻訳シミュレーション訓練】 東京都国際交流委員会が行う翻訳シミュレーション訓練に参加 ・参加者：8人
10月11日(日)	【災害時外国人支援ボランティア講習会「基礎講習」】 ・区の防災対策や災害時の外国人支援の基礎知識等を学ぶ基礎講習をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者：30人
11月1日(日)	【災害時外国人支援ボランティア講習会「やさしい日本語を学ぼう！」】 やさしい日本語の知識と実践力を高めるための講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者：18人
【訓練】 1月22日(金) ～2月1日(金) 【講座】 2月27日(土)	【災害時翻訳訓練】 風水害に関する課題文書をやさしい日本語と外国語に翻訳する訓練を実施 ・参加者22人 【災害時翻訳講座】 外国語翻訳のポイント、よくある間違い等の解説、翻訳技法やルールを学ぶ講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者21人

【主な成果】

災害時外国人支援ボランティア向けの各種講習会を開催するとともに、風水害時の翻訳フローを

構築するための訓練を実施し、知識・技能の両面のスキルアップにつなげました。

(6) 多文化共生の意識啓発

ア 国際理解講座の開催

多様な文化や価値観への理解を深めるためのワークショップや講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止しました。

(7) 地域における国際交流

ア 日本語でスピーチの開催

実施日	事業内容・実績
【検討委員会】 1月30日(土)、 2月20日(土)	日頃の日本語学習の成果を発表するスピーチ大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止しました。 この代替として、大会の再開を見据えた検討委員会を開催しました。 ・参加者：5人

【主な成果】

今までの日本語でスピーチを振り返り、これまでの課題とめざす姿について検証等を行い、次回開催時の実行委員会へつなげました。

イ 多文化交流会の開催

世界の文化や日本の伝統文化の体験を通じて、多文化への理解を深めながら、日本人と外国人との交流を促進する様々な多文化交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全て中止しました。

ウ ホームビジットイベントの開催

(ア) 外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本の生活文化を体験しながら相互理解を図るイベントを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。

(イ) ホームビジットの事業の検証や再構築、ホームステイの導入に向けた検討を行うため、国際交流ボランティアを対象に、ホームステイ・ホームビジットに関するアンケート調査を実施しました。(調査期間：令和2年7月28日～8月28日)

(8) 国際交流ボランティアの登録・活躍支援

ア 国際交流ボランティアのスキルアップ講座の開催

実施日	事業内容・実績
10月10日(土)	【中国語翻訳講座】 中国語翻訳のコツ等を学ぶための講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者：5人
全2回 1月14日(木)、 1月28日(木)	【効果的なオンライン日本語レッスン指導のためのスキルアップ講座】 オンライン日本語レッスンのノウハウ、各種ツールの活用方法、教材の作り方等を学ぶための講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者：9人

【主な成果】

コロナ禍の影響で様々な多文化共生事業が中止を余儀なくされる中であっても、多文化共生の重要な担い手となる各ボランティアの育成を重点的に行いました。特にオンライン日本語レッスン指導講座の参加者からは「今後は対面授業だけでなく、オンラインレッスンにも取り組んでいきたい」「今実施しているオンライン指導の幅が広がった」などの声が寄せられ、様々な場面で弱い立場に

置かれる在住外国人の立場を想像し、寄り添うことの大切さを改めて気づききっかけとなりました。
イ ボランティアグループの形成・活動

実施日	事業内容・実績
【実行委員会】 7月16日（木）	【外国人取材記事「隣の外国人」作成】 令和元年度に開催した「国際交流ボランティアのためのインタビュー記事執筆講座」の受講者による実行委員会を開催 ・実行委員4人

【主な成果】

実行委員一人ひとりが外国人区民を取材し、作成した記事を協会のホームページで公表しました。生活・文化が異なる外国の方たちと直接対話することで多文化意識をより高め、また実行委員会形式としたことで、ボランティア間のつながりを深めることに寄与することができました。

(9) 就労支援講座の開催

実施日	内容・実績
全10回 9月6日（日） ～11月8日（日）	【就労定着支援講座（介護）】 介護のための日本語を通じて日本で生活している外国人が職場でのマナー、コミュニケーションの方法などについて学ぶための講座を開催 ・受講者：8人

【主な成果】

介護現場で使われる丁寧な日本語コミュニケーション方法を知るとともに、介護の仕事に関する知識と介護職への興味・関心を喚起することができました。

(10) 国際協力の意識啓発

実施日	内容・実績
10月16日（金）	【国際協力体験講演会】 海外駐在経験者と学校との橋渡しを行い、子どもたちの国際協力意識醸成等のための講演会を開催 ※区立中学2年生を対象とし国際理解教育授業として実施

【主な成果】

「国際都市おおた」の未来を担う子どもたちが海外に興味を持ち、グローバルな視点や意識を育むことができました。



就労定着支援講座（介護）



国際協力体験講演会

(11) 広報紙の発行

内容・実績
・協会の活動報告や事業予定を広く周知するため、ニューズレターを年4回（各回 1,000 部）発行し、区内の高校や日本語学校等に配布しました。 ・協会の事業概要を掲載したリーフレットをリニューアルし、日本語、英語、中国語で発行しました。

【主な成果】

ニューズレターの発行により、外国人区民からのコロナ関連相談を行う多言語相談窓口や、ハイブリッド形式による日本語講座の開催など、区内の外国人が必要とする with コロナに対応した協会の事業の情報を適宜・的確に届けました。

(12) 公式 SNS による情報発信

内容・実績
Twitter、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用し、イベント・講座情報や災害発生時の緊急情報などを適時発信しました。

【主な成果】

外国人の利用者が多い SNS の強みを活かし、大田区や国、都等が発信しているコロナ関連情報など外国人に役立つ情報を毎日発信した結果、Twitter フォロワー数の増加につながりました。

(13) 国際都市おおた協会事務所及び多言語相談窓口の移転

内容・実績
令和4年度に（仮称）大田区国際交流施設が開設されることに伴い、移転を予定している国際都市おおた協会事務所及び多言語相談窓口の内装の実施設計や施設運用等の検討を実施しました。

【主な成果】

現在、協会が行っている事業の流れや状況について適切に情報共有するとともに意見交換を行うことで、効果的な施設活用に向けた実務上の課題や今後の検討事項を整理することができました。

5 交流事業費（その他の海外都市との交流）

平成 24 年度 事業開始
3 年度予算額 934 千円 （2 年度予算額 1,675 千円）

外国との友好親善を図るため、海外諸都市からの代表団・視察団の受入れ等を行います。

【3 年度計画】

海外諸都市からのオファーに対し、随時適切に対応を予定。

【2 年度実績】

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問受入なし

6 多文化共生のネットワークづくり

平成 23 年度 事業開始

3 年度予算額 23,443 千円（2 年度予算額 32,165 千円）

外国人区民に対し、身近な生活情報を多言語で提供するなど、地域で安心して生活できるよう支援するとともに、多文化共生社会の実現に向けて、様々な国際交流団体との連携・協働を図ります。

【3 年度計画】

（1）外国人区民への情報発信

新型コロナや災害時の大切な情報、外国人区民向けの有益な情報等を多言語で発信するとともに、より効果的な SNS などの情報発信ツールを検討します。

（2）くらしのガイド 2021（外国語版）の配布

令和 2 年度に作成した「くらしのガイド 2021（外国語版）」を区役所や特別出張所等の窓口で配布します。平成 18 年から言語別に作成し、現在、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、やさしい日本語の 6 言語があります。



くらしのガイド 2021（外国語版）

（3）多文化共生推進協議会

多文化共生推進協議会はこれまで 5 期 10 年にわたり実施し、多文化共生社会の実現に向けて、外国人区民、日本人区民、国際交流団体、学識経験者等によって、具体的な課題を協議し、その課題解決に向けた提言を区にしてきました。令和 3 年度は、協議会設置から 10 年経過の節目として、これまでの提言の検証を行うとともに第 6 期協議会のあり方を検討します。

- ・回数：検討会として 2 回開催予定
- ・沿革：平成 23 年度から実施

（4）国際交流団体の活動支援

区内で活動する国際交流団体を支援するとともに、団体間の連携を深めるため、連絡会を開催し、情報及び意見交換を行います。

- ・沿革：平成 20 年度から実施

（5）国際交流施設の運営及び活用

国際交流関連事業を行う施設として、多文化共生推進センター（mics おおた）及び山王会館内国際交流施設の 3・4 階部分を管理・運営しています。

※新型コロナ感染症拡大防止のため、以下の施設を使用停止

- ・多文化共生推進センター（mics おおた） 令和 3 年 4 月 25 日～5 月 11 日
- ・山王会館内国際交流施設 令和 3 年 4 月 25 日～5 月 11 日
- ・沿革：多文化共生推進センター（mics おおた） 平成 22 年度 開設

山王会館内国際交流施設 平成 7 年度 開設

(6) タブレット端末を介した通訳サービスの配置

日本語での対応が難しい外国人区民への各種支援や照会等に対応するため、3種類の多言語通訳サービスを提供します。

- ・沿革：多言語通訳タブレットは、平成27年度から実施

ア 電話通訳サービス

自宅等にいる外国人区民が、大田区電話通訳サービス専用番号（050-3159-9993）に発信することにより、通訳オペレーターを介して担当部署との電話通訳が利用できます。

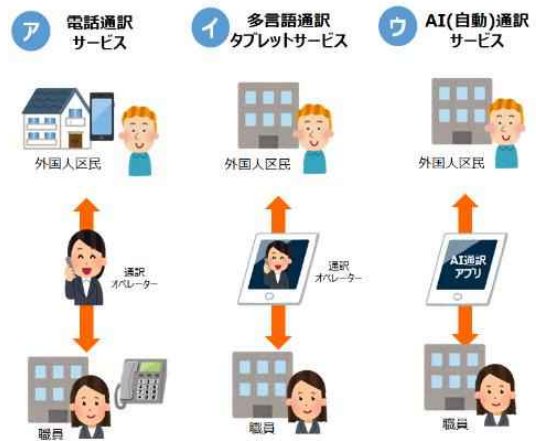
※13 言語対応

イ 多言語通訳タブレットサービス

タブレット端末上に通訳オペレーターを映し、外国人区民・区職員との2者間通訳を行うテレビ電話通訳サービスです。本庁舎・特別出張所等計18台を配置し、窓口サービス機能を充実させます。※15 言語対応

ウ AI（自動）通訳サービス

上記タブレット端末にAI（自動）通訳アプリケーションを導入し、通訳オペレーターの不在時等、緊急の場合に活用します。※13 言語対応



(7) 国際交流員の配置

国際交流員（CIR）とは、一般財団法人自治体国際化協会が主管する「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」により、国際交流活動等に従事するために自治体等に配置される職員です。

区では、国際交流員の活用を通じて、「国際都市おおた」にふさわしい多彩な国際交流・多文化共生事業を展開しています。

令和3年度は、英国ウェールズ出身の国際交流員を任用し、通訳・翻訳をはじめ、区内学校訪問やワークショップ、地域イベントの従事やメディア活動等、多岐にわたり国際交流推進者としての活動を行います。

- ・沿革：平成27年度から実施

(8) 多言語情報紙の作成

外国人区民が必要とする区政情報をまとめた「Ota City Navigation」を6言語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語）で作成し、発信します。

年8回、各回約5,000部を発行予定

- ・沿革：平成6年度から作成（「Ota City Navigation」は、平成23年度から）

(9) 世界の国の情報発信

各国の文化紹介等の記事を作成し、区民の異文化理解を促進します。

東京2020大会までの年2回作成予定。

- ・沿革：令和2年度から実施

【2年度実績】

(1) 外国人区民への情報発信

- ・ 内容：緊急事態宣言発令に伴う周知ポスター（3言語）や特別定額給付金申請書の記入例（6言語）の多言語化をはじめ、ホームページやTwitterでの注意喚起等、新型コロナウイルスに係る情報発信を（一財）国際都市おおた協会と連携し、実施しました。また、大田区ホームページ内の「国際都市おおた」を見直し、英語とやさしい日本語の併記を進めるとともに、日本語教室や多言語相談窓口等、新たに外国人区民向けの情報を集約したコンテンツや、新型コロナ関連のページを作成する等、大幅にリニューアルしました。
- ・ 成果：特別定額給付金申請書の記入例の多言語化で、外国人区民に対してもスムーズに給付できました。また、新型コロナ関連では、外国人区民の感染拡大防止に向け、やさしい日本語で注意喚起を行いました。



(2) 暮らしのガイド2021（外国語版）の配布

- ・ 内容：大田区で生活を始める外国人区民向けの生活案内を更新しました。今回はこれまでの英語、中国語、タガログ語、ネパール語に、ベトナム語とやさしい日本語を加えた6言語で作成しました。
- ・ 発行日：令和3年3月30日
- ・ 成果：ベトナム語と多くの外国人が利用できるやさしい日本語を加えたことで、より多くの外国人区民の方に幅広くご利用いただけるようになりました。

(3) 多文化共生推進協議会

- ・ 内容：『国際都市おおた』多文化共生推進プランの3つの基本目標の達成に向けた区の取組の課題を明らかにし、その解決策並びに予定効果について協議を重ねました。
- ・ 開催日：令和2年6月29日（月）、10月12日（月）、12月14日（月）、令和3年3月29日（月）
- ・ 成果：3回の議論を通じて、現在大田区が抱える多文化共生の課題についての協議を行い、4回目の最終会議にて、報告書を区に提出しました。報告書では、「多国籍区民会議の開催」や、「災害時に外国人区民が外国人区民を支援する体制の構築等」が提言されました。



(左から) 松原区長と三枝会長



第5期多文化共生推進協議会の委員との集合写真

(4) 国際交流団体の支援

- ・内 容：国際交流団体連絡会
- ・日 程：令和3年2月（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- ・成 果：連絡会は実施できなかったものの、実態調査を行い、各国際交流団体の課題や現状を把握するとともに、今後の支援について検討しました。

(5) 国際交流施設の運営及び活用

- ・年間利用件数：1,103件
 - (内訳) 多文化共生推進センター (mics おおた) 292件
 - 山王会館内国際交流施設 811件
- ・年間利用人数：延べ17,320人
 - (内訳) 多文化共生推進センター (mics おおた) 2,987人
 - 山王会館内国際交流施設 14,333人
- ・成 果：外国人区民が言語や文化の違いにより不安を感じることがないように、日本語や日本の社会を学ぶことのできるコミュニケーション支援の場として活用しました。また、国際交流団体等の活動場所として、日本語教室の開催や会議・打合せ等で利用しました。

(6) タブレット端末を介した通訳サービスの導入

- ・年間利用件数：881件
- ・年間利用時間：196時間8分
- ・成 果：新型コロナウイルスの緊急対応として、6月にタブレット端末18台を増設し、計25台で運用しました。新型コロナに係る各種支援や給付金をはじめ、税金、年金・保険、転入・転出・戸籍等、外国語でのさまざまな相談に対応し、窓口サービスの充実を図ることができました。



タブレット端末を介した通訳サービス

・主な相談内容、対応言語

No.	相談内容	件数
1	税金	250
2	年金・保険	174
3	転入・転出・戸籍	56
4	子育て・出産	55
5	マイナンバー	36

No.	対応言語	件数
1	英語	350
2	中国語	292
3	ネパール語	162
4	ベトナム語	30
5	タガログ語	14

(7) 国際交流員の配置

- ・内 容：一般財団法人自治体国際化協会が主管する外国青年招致事業（JET プログラム）により選抜された、日本に関心のある海外の人材を「国際交流員」として任用（会計年度任用職員）しました。
- ・成 果：平成 30 年から任用している英国ウェールズ出身の国際交流員を再度任用しました。新型コロナ関連情報の翻訳をはじめ、各事業への参加や大田区絵日記の執筆等を通して、区の国際化や「国際都市おおた」の魅力発信に貢献しています。



ラジオ出演時の様子



ベサニーの大田区絵日記

(8) 多言語情報紙の作成

- 内 容：外国人区民向けに「Ota City Navigation」を 6 言語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語）で 8 回（各回 4,950 部）発行し、区の施設（本庁舎、特別出張所、図書館等）や区内の日本語学校等に配布しました。
- 成 果：区政情報や生活情報を集約した情報紙を多言語で発行することにより、外国人区民が生活するうえで必要な情報を的確に届けました。

(9) 世界の国の情報発信（お国柄紹介）

- 内 容：7カ国（ネパール、ブラジル、バングラデシュ、インドネシア、パキスタン、フランス、英国ウェールズ）の文化紹介等の記事を作成しました。
- 成 果：区民の異文化理解を促進するとともに、東京 2020 大会の機運醸成に貢献しました。

(3) 文化振興課

区の文化振興は、平成 31 (2019) 年 3 月に策定した大田区文化振興プランにおいて「文化を愛し育み創造する、にぎわいのあるまち大田区～地域力を生かした多様な文化とのふれあい～」というまちの将来像を目指すとし、その中で「だれもが文化に触れ、豊かな暮らしを送る」「誰もが地域に魅力を感じ、楽しむ」「誰もが地域で自分らしく生きがいをもって暮らす」という 3 つの具体的な姿を設定しています。

このプランに基づく基本目標のもとで、各種施策を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、公演やイベントの休止、博物館、記念館をはじめとする文化施設の休館などがあり、文化活動が制約を受ける環境です。そのような状況であっても、文化の持つ心豊かな時間の醸成、想像力を育み、生きる力を生み出し、人と人とのつながりや交流の輪を広げ、コミュニティが形成される事業を推進していきます。

予算事務事業名	事業名	頁
文化国際費 (このほか事務事業には「文化振興課事務費」があります。)		
平和都市宣言記念事業	1 平和都市宣言記念事業	51
(公財) 大田区文化振興協会の運営	2 大田区文化振興協会の運営	53
地域文化の振興	3 地域文化の振興	53
大田区民ホール等管理運営費	4 大田区民ホール等管理運営	55
文化施設管理運営費	5 文化施設管理運営	56
OTAふれあいフェスタ	6 OTAふれあいフェスタ	67
地域間交流事業	7 地域間交流事業	68
文化祭	8 文化祭	69
博物館管理運営費	9 郷土博物館の管理運営	71
	10 郷土博物館の事業	71
大森 海苔のふるさと館の運営	11 大森 海苔のふるさと館の運営	78
勝海舟記念館の運営	12 勝海舟記念館の運営	84
絵画等保管拠点の維持管理	13 絵画等保管拠点の維持管理	89
文化施設建設費		
勝海舟記念館の整備	14 勝海舟記念館の整備事業 【12 勝海舟記念館の運営と統合により廃止】	90

1 平和都市宣言記念事業

昭和 59 年度 事業開始

3 年度予算額 5,081 千円 (2 年度予算額 7,151 千円)

区は、昭和 59 (1984) 年 8 月 15 日に世界の恒久平和と人類の永遠の繁栄を願い、平和都市宣言をいたしました。平和の尊さや大切さを若い世代に語り継ぎ、戦争のない平和なまちを未来へ引き継ぐため各種事業を実施しています。

(1) 平和の記念式典、花火の祭典

区では、昭和 62 (1987) 年から「JAZZ コンサートの夕べ」としてコンサート、式典、花火の打ち上げを始めました。その後、平成 9 (1997) 年に、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」として名称を改め、令和元年で 32 回を迎えました。この事業は、(公財) 大田区文化振興協会との共催により実施をしています。

【3年度計画】

花火の祭典 ※開催中止

平和の記念式典 ※花火の祭典開催中止の代替事業として実施

- ・開催日：令和 3 年 8 月 15 日 (日)
- ・会場：大田区民ホール・アプリコ

【2年度実績】

花火の祭典 ※開催中止

平和の記念式典 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・2年度は「平和のメッセージ動画」を作成し、YouTube 大田区公式チャンネルで公開しました。
- ・沿革：昭和 62 年度から実施
平成 9 年度に名称変更

(2) 平和・原爆のパネル展

広島及び長崎の原爆の日に合わせてパネル展示を行い、核のない世界の実現と戦争の悲惨さを伝えます。2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

【3年度計画】

- ・開催期間：令和 3 年 8 月 5 日 (木) ~ 11 日 (水)
- ・会場：本庁舎 3 階中央展示スペース
- ・沿革：平成元年度から実施

(3) 平和の映画キャラバン

区内児童等を対象に地域で生命と平和の大切さを伝えます。

【3年度計画】 令和 3 年 7 月～8 月、令和 4 年 1 月～3 月、区内児童館 10 か所予定

【2年度実績】 令和 3 年 1 月～3 月、区内児童館 4 か所

- ・沿革：平成 3 年度から実施



花火の祭典



平和・原爆のパネル展 (令和元年度)

2 公益財団法人 大田区文化振興協会の運営（運営費補助・事業費補助）

昭和 62 年 7 月創立

3 年度予算額 218,769 千円 （2 年度予算額 222,093 千円）

※事業の詳細は「5 文化施設管理運営」に掲載（P56 参照）

3 地域文化の振興

平成 23 年度 事業開始

3 年度予算額 5,665 千円 （2 年度予算額 6,252 千円）

区内の多様な地域文化に触れる機会を提供し、区民が地域への愛着と誇りを持ち、にぎわいのある暮らしを実現します。

（1）大田区文化振興プランに基づく評価

ア 各施策の進捗管理

各事業の自己評価ならびに、進捗状況と成果、課題を示し、改善に向け協議します。

【3 年度計画】

- ・庁内の関係部局から構成される文化振興推進連絡会議を開催予定

【2 年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、文書による報告を実施した
沿 革：大田区文化振興プランに基づき、令和元年度より、文化振興推進連絡会を実施（元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため文書による報告を実施した）

イ 評価方法

- ・文化施設の利用者数の把握
- ・重点事業の参加型評価

【3 年度計画】

- ・本プランの重点施策の中から事業を選択し、参加された方を対象に実施予定

【2 年度実績】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため意見交換の開催は中止したが、参加者・共演者・事業実施者によるアンケート評価を行った。
沿 革：大田区文化振興プランに基づき、令和元年度より実施

（2）おおたの文化フェア（展示会）

区内の文化団体等からの協力のもと、大田区の歴史・文化を紹介することを目的に展示会を開催します。

【3年度計画】

- ・開催期間：令和4年2月～3月に実施予定

【2年度実績】

- ・開催期間：令和3年3月17日（水）～3月23日（火）
- ・沿革：平成23年度から平成27年度まで「おおたミュージアムと伝統文化の共同展示会」という名称で実施
平成28年度から「おおたの文化フェア」へと名称変更

（3）洗足池 春宵の響

笛や囃子等の鑑賞を通じ、日本の伝統芸能にふれる機会を区民に提供し、文化や芸能に対する意識の醸成を図ります。また、洗足池の風物詩として当事業を区内外に発信し、文化の振興と地域の活性化を図ります。



アブリコでの演奏

【3年度計画】

- ・実施日：未定
- ・来場者数：約2,000人予定
- ・内容：会場周辺での光の演出効果を充実させ、「春宵の響」独特の情緒ある演出により来場されている方々に感動を与えます。今年度の楽曲にも、ピアノ演奏を取り入れ、幻想的な雰囲気の中、日本の伝統芸能と洋楽の競演を披露します。
※新型コロナ感染拡大防止により中止となる場合もあります。
- ・会場：洗足池西岸「池月橋」

【2年度実績】

- ・実施日：令和2年10月4日（日）
- ・来場者数：約500人
- ・内容：昨年は新型コロナの影響により洗足池での実施は中止とし、代替事業として「洗足池 春宵の響 25回を振り返って」を二部構成で実施しました。第一部では平成7年度の初回から令和元年度の25回までの演奏風景を放映し、第二部では洗足池の木々や水辺をイメージしたステージ上で、笛・お囃子・ピアノによる演奏で来場者に邦楽の魅力を発信しました。
- ・会場：大田区民ホール・アブリコ
- ・沿革：平成7年より特定非営利活動法人大田まちづくり芸術支援協会（ASCA）主催で実施
平成27年より「洗足池 春宵の響」実行委員会及び大田区主催で実施

（4）大田区伝統工芸士認定制度

様々な芸術・芸能等の文化を下支えする伝統工芸士の社会的評価の向上を図り、被認定者の実績等を区民に周知することで、伝統工芸への興味・関心を喚起します。

【3年度計画】

- ・12月中旬 認定審査会実施

【過去の実績（認定者数）】

- ・令和2年度：3人
宮崎正明氏（染色用型紙）、田中康友氏（和笛）
小野恒夫氏（彫刻）
- ・令和元年度：2人
黒川朋子氏（紹ざし）、中山健氏（和裁）
- ・平成30年度：1人
町田久美子氏（手描友禅）
- ・平成29年度：5人
本阿弥光州氏（刀剣研磨）、宮崎静花氏（日本刺繍）
伊東孝夫氏（東京三味線）、春原敏雄氏（江戸表具）
吉澤均氏（江戸和竿）
- ・沿革：平成29年度から実施



（5）4館連携事業 おおた夏のミュージアムめぐり

【3年度計画】

令和3年実施の東京2020大会はスポーツの祭典であり、文化の祭典でもあります。この契機に郷土博物館・勝海舟記念館・龍子記念館・大森 海苔のふるさと館において各館の特徴を生かした特別展等を行います。区民が区の文化を再発見すると共に、多くの来街者に各館で特別展等を鑑賞していただくことで、回遊性を高め、“おおたの文化の魅力”を広く発信します。

- ・開催日時：令和3年7月からの開始日は各館により異なるので詳細は各館を参照ください。
- ・開催場所：郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館、大森 海苔のふるさと館

【2年度実績】

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・開催日時：令和2年7月18日（土）～8月23日（日）
- ・開催場所：郷土博物館、大森 海苔のふるさと館、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館、炭ギャラリー、五十嵐健治記念洗濯資料館（白洋舎）、昭和くらしの博物館、多摩川台公園古墳展示室、
- ・対象者：区内小中学生（小学生は親子での参加）
- ・沿革：平成30年「夏休み 博物館・記念館回遊ラリー」事業開始

4 大田区民ホール等管理運営

平成10年度【アロマスクエア街区】日本生命、大田区、高砂香料工業の三者共同出資により管理会社を設立

【アロマ地下駐車場】 駐車場設置、指定管理により施設管理を行う
3年度予算額 264,259千円 （2年度予算額 316,085千円）

大田区民ホール・アプリコの地域冷暖房システム（空調）経費、また、ホール、駐車場などを含んだ共同開発施設「アロマスクエア街区」の管理運営のための費用（負担金）を支出しています。

また、アロマスクエア地下2階の区営アロマ地下駐車場の指定管理者管理代行経費を支出しています。

■区営アロマ地下駐車場の概要（平成10年11月5日供用開始・蒲田五丁目37番4号）

項目	概要
収容台数	297台
利用時間	午前7時～午後11時 *1月1日～1月3日及び保守点検日は休業
車両制限	高さ2.1m以下（施設構造上）、長さ5.3m以下（条例上）、幅2.0m以下
利用料金	【午前7時～午後11時、～4時間30分】100円/15分
	【駐車後24時間まで】最大1,800円
2年度実績	【駐車台数】146,277台 【料金収入】162,310,370円（区への納付金115,484,131円）

5 文化施設管理運営

昭和62年度 大田区文化振興協会 創立

3年度予算額2,081,267千円（2年度予算額1,353,906千円）

大田区の文化振興施策を推進するため、(公財)大田区文化振興協会は、指定管理者として、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森、熊谷恒子記念館、龍子記念館の管理代行業務を行っています。また、龍子公園、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の管理運営については、一部業務を委託しています。大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森の3施設は、「区立施設における特定天井耐震化対策基本方針」の対象施設のため、順次工事を行います。令和3年度は、大田区民ホール・アプリコの工事を行う予定です。

※新型コロナ感染拡大防止のため、以下の施設を休館及び使用停止

詳細はその都度、大田区ホームページ等で周知させていただきます。

- ・大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森
令和3年4月25日から5月31日まで各室場の使用停止
上記期間以外は要請により開館時間を短縮、一部室場の使用停止、新規予約受付の停止
- ・山王草堂記念館 令和3年4月26日から5月31日まで休館
- ・熊谷恒子記念館、龍子記念館 令和3年4月26日から5月31日まで休館

(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業

施設の規模や地域性を活かし、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、施設外等で、様々な事業を行っています。

ア 文化芸術の振興に資する公演事業

【3年度計画】

ジャンル	3年度計画
音楽（クラシック、ジャズ、ポップス等）	35事業
伝統芸能・演芸（狂言、文楽、落語等）	14事業

演劇・舞踊（演劇、ダンス、バレエ等）	3 事業
美術	5 事業
区連携（春宵の響、ふれあいフェスタ、おおた和の祭典、東京 2020 パラリンピック応援コンサート）	4 事業

《区連携事業について》

- ・東京 2020 パラリンピック応援コンサート（P119 参照）：東京 2020 大会に向けて、障がい者に対する理解を深めるとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが文化芸術を楽しめる共生社会の実現を目指します。

【2 年度実績】

ジャンル	2 年度実績（中止となったもの）
音楽（クラシック、ジャズ、ポップス等）	27 事業計画 15 事業 中止（12）
伝統芸能・演芸（狂言、文楽、落語等）	20 事業計画 15 事業 中止（5）
演劇・舞踊（演劇、ダンス、バレエ等）	13 事業計画 9 事業 中止（4）
美術	0 事業計画 0 事業 中止（0）
区連携（春宵の響、ふれあいフェスタ、おおた和の祭典、東京 2020 パラリンピック応援コンサート）	5 事業計画 2 事業 中止（3）

《区連携事業について》

- ・洗足池 春宵の響（P54 参照）、OTA ふれあいフェスタ（P67 参照）
 - ・おおた和の祭典：多様な日本の伝統文化・芸術を「見る」「聞く」「触れる」「体験する」を通して、子どもや外国人を含む来場者へ、日本文化に親しむ機会を提供します。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 文化芸術の振興に資する展示事業

区内在住作家の作品をアプリコに展示するとともに、年数回、龍子記念館や熊谷恒子記念館等において、テーマ別に展示するなど、区民が身近な場所で芸術作品に触れられる機会を提供しています。

【3 年度計画】

事業名	種別	3 年度計画
アプリコ・アートギャラリー ※ ¹	絵画	通年 2 期※
大田区在住作家美術展 （併催）チャリティー・オークション	平面・立体	11 月 1 日～11 月 6 日
東方展	日本画	2 月 4 日～2 月 8 日
龍子記念館 ※ ²	日本画	
熊谷恒子記念館 ※ ³	かな書	
ギャラリートーク ※ ⁴ （龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館）	日本画 かな書	各記念館、毎月 1～2 回 龍子記念館、夏休み小・中学生ギャラリー トーク SNS 配信

【2年度実績】

事業名	種別	2年度実績
アプリコ・アートギャラリー ※ ¹	絵画	通年4期 1期 小山洋一～旅愁の街 2期 自然への畏怖 3期 花の如く昭和の美人画 4期 少女の夢
大田区在住作家美術展 (併催)チャリティー・オークション	平面・立体	10月30日～11月6日 入場者数3,455人 チャリティ870,110円
東方展	日本画	1月29日～2月2日 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止
龍子記念館 ※ ²	日本画	入場者数5,761人(4月1日～5月31日まで臨時休館)
熊谷恒子記念館 ※ ³	かな書	入場者数2,241人(4月1日～5月31日まで臨時休館)
ギャラリートーク ※ ⁴ (龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館)	日本画 かな書	龍子記念館5回176人 熊谷恒子記念館5回84人 山王草堂記念館4回80人 尾崎士郎記念館4回80人

※¹令和3年度アプリコ・アートギャラリーは、アプリコ特定天井工事休館のため、全2期(1期:令和3年6月24日～9月26日、2期:令和3年9月28日～12月27日)で開催

※²龍子記念館の3年度計画、2年度実績の詳細はP64を参照ください。

※³熊谷恒子記念館の3年度計画、2年度実績の詳細はP65を参照ください。

※⁴新型コロナ感染拡大防止措置により、龍子記念館、熊谷恒子記念館ギャラリートークは令和2年11月から再開、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館ギャラリートークは令和2年12月から再開しました。

ウ 文化芸術の振興に資する普及事業(各種講座・啓発事業)

子どもをはじめ、多くの区民が身近な場で、文化芸術の楽しさ・素晴らしさを感じられるよう、学校や地域での公演、講習、コンサート等を実施します。また、事業実施を通じ、若手や地域ゆかりのアーティストの発掘に努め、活動の機会や発表の場を提供します。

【3年度計画】

- ・無料公演:アプリコお昼のピアノコンサート(3回)
OTAアートプロジェクト(マチニエヲカク・インスタレーション展示・年1回)
馬込文士の足跡をたずねて(2回・山王草堂記念館)
※内1回(5月分)は、新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ・講座:記念館講座(4回・大田文化の森)
夏休みワークショップ(令和2年8月・龍子記念館、熊谷恒子記念館)

- OTA アートプロジェクト（夏休みアートプログラム・年1回）
- ・出張講座：大田区 JHS ウインドオーケストラ（令和3年9月～令和4年3月）
大田区学校出張講座（旧：大田区学校出張コンサート） 通年
フレンドシップ福祉施訪問事業（年2回）
- ・動画配信：オンラインあーとシアター（通年）
OTA アートプロジェクト（現代アート・ライブ配信・年4回）

【2年度実績】

- ・公演：アプリコお昼のピアノコンサート（5回・入場者数：延べ949人）
※内1回（5月28日）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期
プラザ映画鑑賞会（2回・入場者数：102人）
※内1回（4月5日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・講座：記念館講座（4回・入場者数：延べ207人）
※内1回（3月15日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
夏休みワークショップ（令和2年8月4日 龍子記念館：30人、
令和2年8月10日・11日 熊谷恒子記念館：32人）参加者数：延べ62人
初めての日本画講座（2期10回・入場者数：20人）
※内1回（春期）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・出張講座：大田区 JHS ウインドオーケストラ（令和2年9月～令和3年3月）
※コロナのため中止。代わりに令和元年度受講生による演奏動画の制作及び修了式
（令和3年3月27日）を開催。
大田区学校出張コンサート（令和2年11月～令和3年2月）
参加校：多摩川小・糎谷小・仲六郷小・開桜小・都南小・（参加者数 5校・658人）
フレンドシップ福祉施訪問事業（年2回）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

（2）文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業

地域文化振興支援事業として、大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援します。
このほか、大田文化の森運営協議会の活動支援も行っています。

【2年度実績】

- ・共催事業：9事業、入場者数 1,885人※区を除く、区内文化団体との共催
 - ・後援事業：3事業、入場者数 640人
- ※内、共催5、後援1事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（3）文化芸術資源の情報収集と発信に関する事業

【2年度実績】

- ・大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」：隔月年6回※内、1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
大田区文化芸術情報誌「ART bee HIVE」年4回※内、1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・大田区文化振興協会 PRESENTS「ART bee HIVE TV」：令和2年度より始動した紙面連動型TV番組。

区内の劇団 山の手事情社の俳優とともに大田区内の文化・芸術情報を iTSCOM 及び J:COM にて放映します。年3回※内、1回は、新型コロナ感染拡大防止のため中止

このほか、大田区文化振興協会ホームページや Twitter、Instagram、YouTube、LINE、おおた区報等で、管理を行う施設での公演情報や地域の文化芸術情報を発信していきます。

(4) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業

指定管理者管理代行による収入と支出【2年度実績】

施設名	使用料等収入額	補助金支出	管理代行・業務委託費支出
大田区民プラザ	48,259,470 円	222,093,000 円	255,571,651 円
大田区民ホール・アプリコ	67,198,770 円		182,142,540 円
大田文化の森	25,800,858 円		277,910,884 円
熊谷恒子記念館	82,650 円		17,676,000 円
龍子記念館	458,100 円		88,286,000 円
山王草堂・尾崎士郎・龍子公園			22,495,000 円
合計	141,799,848 円	222,093,000 円	844,082,075 円



■施設別利用実績 大田区民プラザ（昭和62年10月31日開設・下丸子三丁目1番3号）

特定天井工事に伴う休館期間は令和5年3月～令和6年5月までの予定です。

区分	午前		午後		夜間		合計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
大ホール	268	105	269	120	222	77	759	302	15,452
	39.2 %		44.6 %		34.7 %		39.8 %		
小ホール	276	124	276	149	232	115	784	388	9,463
	44.9 %		54.0 %		49.6 %		49.5 %		
展示室	276	87	275	125	228	75	779	287	5,113

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
	31.5 %		45.5 %		32.9 %		36.8 %		
リハーサル室	278	201	286	193	219	78	783	472	5,302
	72.3 %		67.5 %		35.6 %		60.3 %		
美 術 室	284	164	285	174	211	2	780	340	2,103
	57.7 %		61.1 %		0.9 %		43.6 %		
第1会議室	199	135	199	139	139	45	537	319	2,793
	67.8 %		69.8 %		32.4 %		59.4 %		
第2会議室	202	96	202	108	147	47	551	251	1,772
	47.5 %		53.5 %		32.0 %		45.6 %		
第3会議室	201	68	201	80	219	17	621	165	1,077
	33.8 %		39.8 %		7.8 %		26.6 %		
第4会議室	204	161	205	160	204	68	613	389	2,712
	78.9 %		78.0 %		33.3 %		63.5 %		
第1和室	202	111	204	110	143	61	549	282	941
	55.0 %		53.9 %		42.7 %		51.4 %		
第2和室	208	112	202	130	139	33	549	275	1,025
	53.8 %		64.4 %		23.7 %		50.1 %		
茶 室	201	17	202	35	131	0	534	52	115
	8.5 %		17.3 %		0.0 %		9.7 %		
第1音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,290	437	4,872
							33.9 %		
第2音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,290	621	2,060
							48.1 %		
体 育 室	157	151	247	233	226	204	630	588	6,328
	96.2 %		94.3 %		90.3 %		93.3 %		
オートテニス	1回30分単位で月・水曜は午前6区分、金曜は全日23区分								3,466
トレーニング ルーム									9,489
卓 球	1回1時間単位で月・水曜は午前2区分、金曜は全日11区分								2,431
合 計									76,514

■大田区民ホール・アプリコ（平成10年12月11日開設・蒲田五丁目37番3号）

令和4年1月～令和5年2月まで特定天井工事のため休館いたします。工事終了後の利用開始は、令和5年3月を予定しております。

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
大ホール	265	119	265	128	221	89	751	336	39,712
	44.9 %		48.3 %		40.3 %		44.7 %		
小ホール	277	143	279	184	239	130	795	457	11,517
	51.6 %		65.9 %		54.4 %		57.5 %		
展 示 室	276	113	278	135	230	90	784	338	11,961
	40.9 %		48.6 %		39.1 %		43.1 %		
Aスタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,257	904	8,302
							71.9 %		
Bスタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,261	855	3,655
							67.8 %		
合 計									75,147

■大田文化の森（平成13年11月3日開設・中央二丁目10番1号）

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
ホ ー ル	277	97	291	112	236	63	804	272	9,378
	35.0 %		38.5 %		26.7 %		33.8 %		
展 示 コーナ	290	81	291	83	245	68	826	232	5,960
	27.9 %		28.5 %		27.8 %		28.1 %		
多目的室	292	110	297	145	245	103	834	358	15,303
	37.7 %		48.8 %		42.0 %		42.9 %		
第1集会室	298	233	300	207	235	58	833	498	3,656
	78.2 %		69.0 %		24.7 %		59.8 %		
第2集会室	299	187	301	174	237	47	837	408	4,571
	62.5 %		57.8 %		19.8 %		48.7 %		
第3集会室	299	157	301	142	233	35	833	334	3,281
	52.5 %		47.2 %		15.0 %		40.1 %		
第4集会室	298	153	301	159	236	38	835	350	3,460
	51.3 %		52.8 %		16.1 %		41.9 %		
控 室	299	45	301	72	230	18	830	135	367
	15.1 %		23.9 %		7.8 %		16.3 %		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
和 室	299	257	301	208	239	73	839	538	5,278
	86.0%		69.1%		30.5%		64.1%		
調 理 室	298	34	300	50	231	14	829	98	833
	11.4%		16.7%		6.1%		11.8%		
美 術 室	299	62	301	193	230	29	830	284	3,860
	20.7%		64.1%		12.6%		34.2%		
工 芸 室	299	82	301	96	231	1	831	179	1,263
	27.4%		31.9%		0.4%		21.5%		
第1音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						866	560	2,694
							64.7%		
第2音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						868	430	2,305
							49.5%		
第3音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						874	556	2,206
							63.6%		
第1スポーツ スタジオ	192	131	193	138	181	106	566	375	4,114
	68.2%		71.5%		58.6%		66.3%		
第2スポーツ スタジオ	1回1時間単位で1日13区分利用						3,283	1,959	3,918
							59.7%		
運営協議会 主催事業 全館使用事業	【全館】「文化の森夏祭り」→実施なし								0
大田区事業 全館使用事業	【全館】大田区子どもガーデンパーティ等→実施なし								0
合 計									72,447

■大田文化の森 情報館

区 分	登録者数 (人)		貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)		AV (枚)	合 計
	新規	累計		図書	雑誌		
図書コーナー	826	9,678	78,934	187,826	8,716	13,578	210,120
区 分	利用者数 (人)						
	体験コーナー		インターネット	創作活動コーナー		合 計	
マルチメディア コーナー	1,936		4,497	53		6,486	

■龍子記念館（平成3年11月3日開設・中央四丁目2番1号）

日本画の巨匠・川端龍子の躍動感ある作品を展示する美術館です。建物も自身の設計によるものです。旧宅、アトリエ、庭園（龍子公園）も時間限定で公開しています。

【3年度計画】

事業名	3年度計画
名作展Ⅰ	「川端龍の院展時代～画壇の新巨星として」令和3年4月3日～7月4日 ※4月27日～5月31日臨時休館
名作展Ⅱ	「みなさんが選ぶ 龍子記念館コレクション」前期 令和3年11月20日～令和4年1月30日 後期 令和4年2月5日～4月3日
東京2020大会企画展	令和3年7月17日～8月15日 テーマ「葛飾北斎「富嶽三十六景」×川端龍子の会場芸術」
地域連携企画展	令和3年9月4日～11月7日 テーマ「川端龍子 v s 高橋龍太郎コレクション」
特別展	東京2020大会企画展及び地域連携企画展の延期実施により、令和4年度へ延期
ワークショップ	夏休み小・中学生対象ワークショップ 令和3年8月※SNSで配信 小学生対象ワークショップ 令和4年3月
講座及び普及事業等	記念館講座 令和3年12月～令和4年3月の間で1回 展示内容等のSNS配信 英会話ボランティア養成講座 令和3年5月～6月 ※新型コロナ感染拡大防止のため延期 美術館コンサート 令和3年5月15日 無観客で実施（YouTubeで公開中） 地域連携企画展講演会 令和3年10月24日

【2年度実績】

事業名	2年度実績
名作展Ⅰ	令和2年6月2日～8月23日 入場者数1,390人
名作展Ⅱ	令和2年12月12日～3月21日 入場者数2,141人
東京2020大会企画展	令和3年度へ延期 テーマ「葛飾北斎「富嶽三十六景」×川端龍子の会場芸術」
地域連携企画展	I期9月 960人 II期10月～11月 1,270人 テーマ「川端龍子 v s 高橋龍太郎コレクション」
特別展	隔年開催
ワークショップ	小学生対象対話型ワークショップ 令和3年3月14日 参加者数20人 令和3年8月夏休み子ども対象ワークショップ ※新型コロナ感染拡大防止のため中止

事業名	2年度実績
講座及び普及事業等	記念館講座 令和3年1月23日 38人 展示内容等のSNS配信 19回 視聴回数7,254回 英会話ボランティア養成講座 令和3年度へ延期 美術館コンサート 令和3年1月15日 無観客で実施 (YouTubeで公開)

入場者実績15,613人(広島県立美術館 令和2年5月12日～6月21日 8,316人 作品貸出60点、長野県水野美術館 令和2年7月23日～9月22日 5,954人 作品貸出60点、秋田県美郷町学友館(友好都市15周年記念展) 令和2年10月31日～11月29日 1,343人 作品貸出40点)

※大人：16歳以上65歳未満、小人：6歳以上16歳未満、高齢者：65歳以上、幼児：6歳未満

■熊谷恒子記念館(平成2年4月1日開設・南馬込四丁目5番15号)

現代女流かな書の第一人者として活躍した熊谷恒子が、生前住んでいた自宅を改装し運営しています。優美な書の作品や旧書齋、遺品などの関連資料を展示しています。

【3年度計画】

事業名	3年度計画
かなの美展Ⅰ	「日本の四季を愛でる 第1期 中世歌人を中心に」 令和3年4月17日～7月4日 ※4月27日～5月31日臨時休館
かなの美展Ⅱ	「ベスト・セレクション もう一度見たい所蔵作品」 令和3年7月17日～11月23日
かなの美展Ⅲ	「日本の四季を愛でる 第2期 近代歌人を中心に」 令和3年12月4日～令和4年4月3日
コラボレーション展示	I 令和3年4月17日～5月23日 II 令和3年9月17日～10月17日 III 令和4年2月22日～3月27日
東京2020大会企画展	外国人向け体験ワークショップ 7月17日～28日
ワークショップ	夏休み小・中学生、親子対象ワークショップ 8月14、15日
講座及び普及事業等	記念館講座 令和3年12月～令和4年3月の間で1回 展示内容等のSNS配信

【2年度実績】

事業名	2年度実績
かなの美展Ⅰ	「恒子が書く 日本古典文学の世界」 令和2年6月2日～10月11日 入場者数902人
開館30周年記念展	前期「熊谷恒子とゆかりの書 かなとの出会い」 令和2年11月7日～12月13日 入場者数413人 後期「熊谷恒子とゆかりの書 道ひとすじ」 令和2年12月26日～令和3年4月4日 入場者数926人

事業名	2年度実績
コラボレーション 展示	I 令和2年4月26日～6月21日中止 II 令和2年9月1日～10月4日 472人 III 令和3年2月23日～3月28日 553人
東京2020大会企画 展	外国人向け体験ワークショップ 令和3年度へ延期
ワークショップ	夏休み小・中学生、親子対象ワークショップ 中止
講座及び普及事業等	記念館講座 令和2年12月5日 入場者数29人 展示内容等のSNS配信 1回 視聴回数717回

入館者数2,241人（大人814人、小人25人、高齢者1,205人、幼児46人、招待者等151人）

※大人：16歳以上65歳未満、小人：6歳以上16歳未満、高齢者：65歳以上、幼児：6歳未満

■龍子公園（平成16年7月1日開設・南馬込四丁目4番11号）

画室を公開し、旧宅と庭園を併せて公園として開設しています。

画室（木造平屋建）、旧宅（木造2階建）、庭園

土・日・祝日は30人の区民ボランティアスタッフが交代で、公園内の龍子の旧宅やアトリエ、持仏堂などを参加者に説明します。

【3年度計画】

開館日に1日3回の公園案内を実施します。英会話ボランティア育成講座受講生による英語での公園案内を実施します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

■山王草堂記念館（昭和63年4月20日開設・山王一丁目41番21号）

日本初の総合雑誌「国民之友」を発行した徳富蘇峰の旧宅の一部とゆかりの資料を保存・公開した記念館です。原稿や書簡など関係資料を展示しています。

「国民之友」：明治20（1887）年創刊の日本で最初の総合雑誌

【3年度計画】

- ・月1回ギャラリートークを実施します。
- ※4月27日～5月31日臨時休館
- ・散策会「馬込文士の足跡をたずねて」を2回実施します。
- ・記念館講座を実施します。（令和3年12月～令和4年3月の間で1回）
- ・施設や展示内容等についてSNSで配信します。
- ・徳富蘇峰に関するパネルを作成します。

【2年度実績】

- ・入館者数6,925人（大人6,241人、小人684人）
- ・12月から月1回ギャラリートークを実施しました。参加者80人
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、12月から再開
- ・「馬込文士の足跡をたずねて」で、散策会を1回実施しました。（令和3年3月14日 参加者20人）
- ※令和2年5月17日の「馬込文士の足跡をたずねて」（講演会）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・地域連携事業として、散策会を1回実施しました。(令和3年3月28日 参加者10人)
- ・記念館講座を実施しました。(令和3年2月20日 参加者29人)

■尾崎士郎記念館 (平成20年5月1日開設・山王一丁目36番26号)

尾崎士郎は「人生劇場」などの作品で知られる作家であり、馬込文士村の中心的人物でした。本記念館は、晩年の約10年を過ごした旧宅跡に書斎を復元して開館し、エネルギッシュな執筆活動を感じる資料を建物の外から観覧する形で展示しています。

「人生劇場」: 昭和8(1933)年に都新聞で連載し、昭和10(1935)年に刊行した小説

【3年度計画】

- ・月1回ギャラリートークを実施します。
- ※4月27日～5月31日臨時休館
- ・記念館講座を実施します。(令和3年12月～令和4年3月の間で1回)
- ・施設や展示内容等についてSNSで配信します。
- ・尾崎士郎に関する年表パネルを更新します。

【2年度実績】

- ・12月から月1回ギャラリートークを実施しました。参加者80人
- ※新型コロナ感染拡大防止措置により、12月から再開
- ・記念館講座を実施しました。(令和3年3月13日 参加者65人)

- 龍子記念館・龍子公園
大森駅より東急バス荏原町駅入口行き白田坂下バス停下車徒歩2分
都営浅草線西馬込駅南口から徒歩約15分
- 熊谷恒子記念館
大森駅より東急バス荏原町駅入口行き万福寺前バス停下車徒歩5分
都営浅草線西馬込駅(南口)から徒歩約10分



龍子記念館・熊谷恒子記念館・龍子公園 周辺図



山王草堂記念館、尾崎士郎記念館 周辺図

6 OTAふれあいフェスタ

平成2年度 「OTA90 夢博」として開催
平成4年度 現在の名称で開催

3年度予算額 48,000 千円 (2年度予算額 47,163 千円)

人と人の輪を育むことを目的とし、区民が集い、楽しみ、ふれあえる機会を創り出し、区民の連帯意識を醸成するため開催しています。

【3年度計画】

令和3年11月6日（土）、7日（日）

予想来場者数：延べ30万人

【2年度実績】

令和2年11月7日（土）、8日（日） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 地域間交流事業

平成8年度 長野県東御市（当時は東部町）と友好都市締結

平成17年度 秋田県美郷町と友好都市締結

平成28年度 宮城県東松島市と友好都市締結

3年度予算額1,340千円（2年度予算額1,410千円）

友好都市提携を結ぶ長野県東御市、秋田県美郷町及び宮城県東松島市とパネル展やイベントを通して、区民が3友好都市を知っていただくことを目的とし、大田区と3友好都市との交流を促します。

（1）各友好都市事業への参加

【3年度計画】

長野県東御市：巨峰の王国まつり 令和3年9月25日（土）、26日（日）

秋田県美郷町：六郷のカマクラ 令和4年2月15日（火）

宮城県東松島市：夏まつり 令和3年8月28日（土） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

【2年度実績】

長野県東御市：巨峰の王国まつり 令和2年9月19日（土）、20日（日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

秋田県美郷町：六郷のカマクラ 令和3年2月15日（月）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

宮城県東松島市：夏まつり 令和2年8月22日（土）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（2）友好都市パネル展

テーマを決め、友好都市をパネル、ポスター等で区民に紹介します。

【3年度計画】

内容	期間	会場
友好都市パネル展（3都市合同）	令和3年7月2日（金）～7日（水）	本庁3階中央 展示コーナー
友好都市パネル展（3都市合同）	令和3年10月中旬	未定

【2年度実績】

友好都市パネル展（3都市合同）、友好都市パネル展（美郷町・東松島市）、友好都市パネル展（東御市）は、新型コロナ感染拡大防止のため中止。

- ・沿 革：平成18年度 長野県東御市と秋田県美郷町が開催
平成29年度 宮城県東松島市の参加

(3) 友好都市ふれあいひろば

友好都市の魅力を特産品等の販売を通して広く区民に紹介することで交流の発展を図ります。

【3年度計画】 令和3年10月23日（土）、24日（日）

【2年度実績】 令和2年10月17日（土）、18日（日）新型コロナ感染拡大防止のため中止

- ・沿 革：平成20年度 長野県東御市、秋田県美郷町が開催（以降毎年実施）
平成29年度 宮城県東松島市が初参加（以降毎年参加）



OTA ふれあいフェスタ



友好都市ふれあいひろば
(蒲田駅西口駅前広場)

8 文化祭

平成27年度 社会教育課から国際都市・多文化共生推進課文化担当へ移管
平成28年度 国際都市・多文化共生推進課文化担当から文化振興課へ移管
3年度予算額2,123千円 （2年度予算額2,122千円）

区民による文化・芸術活動の発表・鑑賞・交流の機会を設け、文化・芸術活動と地域文化の振興を図ります。

【3年度計画】 12部門(委託11団体)

開催日		事業名	開催場所
10月	16日（土）、17日（日）	動画上映の集い	池上会館
	17日（日）	合唱祭	大田区民ホール・アプリコ
	17日（日）	こと・尺八の集い	大田文化の森
	23日（土）	芸術フェスティバル	大田区民プラザ

	24日(日)	詩吟剣詩舞大会	大田文化の森
	30日(土)、31日(日)	書道展	大田区民プラザ
	31日(日)	郷土芸能大会	大田区民プラザ
11月	3日(水・祝)	短歌大会	池上会館
	6日(土)、7日(日)	華道展	大田区民プラザ
	20日(土)	洋舞サークルフェスティバル	大田区民ホール・アプリコ
	21日(日)	吹奏楽祭	大田区民ホール・アプリコ

【2年度実績】 12部門で開催(内委託11団体) 出場者数 814人 来場者数 1,746人

開催日		事業名	開催場所	上段：出場者数 下段：来場者数
10月	17日(土)、 18日(日)	書道展	大田区民ホール・アプリコ	177人 392人
	18日(日)	合唱祭	大田区民ホール・アプリコ	※
	18日(日)	こと・尺八の集い	大田文化の森	105人 236人
	23日(金) ～25日(日)	絵画・写真展	池上会館	36人 470人
	24日(土)、 25日(日)	動画上映の集い	池上会館	※
	25日(日)	詩吟剣詩舞大会	大田文化の森	51人 90人
11月	3日(火・ 祝)	短歌大会	池上会館	51人 43人
	7日(土)	芸術フェスティバル	大田区民プラザ	※
	7日(土)、 8日(日)	華道展	大田区民プラザ	※
	15日(日)	郷土芸能大会	大田区民プラザ	※
	21日(土)	洋舞サークルフェスティバル	大田区民ホール・アプリコ	223人 310人
12月	6日(日)	吹奏楽祭	大田区民ホール・アプリコ	171人 205人

※合唱祭、動画上映の集い、芸術フェスティバル、華道展、郷土芸能大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

9 郷土博物館の管理運営

昭和 54 年 11 月 3 日 開館

3 年度予算額 71,264 千円 (2 年度予算額 288,318 千円)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の施設を休館

- ・馬込文士村資料展示室：令和 3 年 4 月 26 日から 5 月 31 日まで休館
- ・郷土博物館：令和 3 年 4 月 26 日から 5 月 31 日まで休館

■郷土博物館（南馬込五丁目 11 番 13 号）

大田区の歴史、文化、産業を中心とした貴重な資料等を適切に保管・展示するため、施設の維持管理を行うとともに、博物館事業を円滑に進めるための環境を整えます。

【3 年度計画】

資料燻蒸及び館内消毒

令和 3 年 6 月 24 日（木）～28 日（月）

【2 年度実績】

資料燻蒸及び館内消毒

令和 2 年 10 月 5 日（月）～9 日（金）

沿革：昭和 54 年 11 月 3 日に開館後、平成 21 年 11 月 3 日には開館 30 周年を迎えて常設展示をリニューアルし、馬込文士村コーナーを拡大しました。令和 3 年 4 月 1 日には、受変電設備改修、空調設備改修、エレベーター改修工事等の大規模な設備更新と、非接触型の情報検索システムの導入など、常設展示の大幅なリニューアルをおこないました。

10 郷土博物館の事業

3 年度予算額 16,048 千円 (2 年度予算額 31,851 千円)

大田区に関連する人文科学系の資料を中心に収集・整理・保存し、調査・研究に努め、区民の文化及び学術の発展に寄与するため、常設展示を充実させ、特別展を開催するほか、体験学習会等の事業を実施するとともに様々な情報発信に努めます。

(1) 常設展

館内には、考古・歴史・民俗関係資料 58,758 点（令和 3 年 3 月末現在）を収蔵し、これらの資料を基礎とした研究の成果を常設展示しています。再開館に合わせ、常設展の内容を大幅に更新しました。その中で、特集展示は常設展に関わるテーマについて、より詳しく特集した展示です。2 つのケースを基本とした小規模な展示ですが、年に数回内容を替えることで、資料の活用を強化しています。

ア 1 階ロビー「特集展示」

考古・歴史・民俗・文化財の最新調査・研究成果を随時展示し、紹介しています。

イ 1階ロビー「姉妹都市（姉妹館）・友好都市」

大田区の姉妹都市（姉妹館）や友好都市などについて、パネルで紹介しています。

ウ 情報検索システム「おおた歴史探検ガイド」

非接触型の情報検索システムを導入しました。大田区の歴史を地域別（①嶺町・田園調布・鶴の木、②馬込・千束、③入新井・新井宿、④矢口、⑤池上・久が原・雪谷、⑥大森東・大森西、⑦六郷・蒲田東・蒲田西、⑧糀谷・羽田）に学べる機器です。

エ 2階展示室「地中に刻まれた歴史」

大田区内の旧石器時代から中世の主要な遺跡を時代順に紹介し、寄贈資料や発掘調査等で出土した土器、石器、骨角器、金属器、木器、埴輪等の遺物ほか、竪穴住居や古墳の模型等も展示しています。

オ 2階展示室「農漁村の風景」

江戸時代に水田灌漑用に掘りめぐらされた六郷用水の主要水路網を描き入れた床地図と関連資料や、台地を擁する村々で行われた畑作農業に関する資料、大森の名産であった大森麦わら細工、東京湾内でかつて盛んであった漁業に関する道具等を展示し、大田区域内の農漁村とそこに生きた人々の暮らしについて紹介しています。

カ 3階展示室「馬込文士村」

馬込地区を中心に大正末期から昭和初期にかけて、多くの小説家・詩人・画家たちが住み、後に「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。その文士たちの作品や自筆原稿、遺品、当時の馬込の地形模型、小林古径邸の復元模型等を展示しています。また、川瀬巴水の作品をはじめとする「新版画」の展示コーナーを設けています。

キ 3階展示室「近代化とまち」

近代市街地化の歴史について、まちづくりに関する資料や蒲田撮影所の模型、大田区の工業を支えてきた町工場の資料等を展示しています。また、昭和22年に誕生した大田区の歩みを写真パネルで紹介しています。

ク 3階「特集展示」

自然・企画展・写真展等に関わる最新調査や研究成果を随時展示し、紹介しています。

【3年度計画】

1・3階の特集展示コーナーでは、考古、歴史、民俗、文化財、自然、特別展・企画展・写真展等に関わるテーマに沿って、定期的に展示替えを行い、所蔵資料やパネルを展示します。

1階

- ・「郷土博物館40年のあゆみー展示を中心としてー」（令和3年4月1日（木）～7月11日（日））
- ・「特別展関連展示 入新井・馬込時代の川瀬巴水」（令和3年7月17日（土）～8月15日（日））
- ・「特別展関連展示 川瀬巴水と塩原」（令和3年8月19日（木）～9月20日（月・祝））
- ・「文化財写真パネル展」（令和3年9月28日（火）～12月26日（日））
- ・「企画展関連展示 西岡秀雄コレクション展」（令和4年1月8日（土）～3月6日（日））

3階

- ・「大田の地形と自然」（令和3年4月1日（木）～10月17日（日））
- ・「横山家と羽田の近現代（仮）」（令和3年10月23日（土）～12月26日（日））

- ・「企画展関連展示 戦後の西岡秀雄」（令和4年1月8日（土）～3月6日（日））

【2年度実績】

- ・開館日数：99日（1日平均45人）
- ・入館者数：4,461人（大人3,964人、子供497人）
（一般：19団体241人、学校：1校170人）

2階の常設展示室の地中の歴史コーナーでは、ミュージアム・トークの内容に合わせて、古墳時代の鉄製品を追加し、位置図やキャプションを更新しました。

3階の常設展示室の馬込文士村コーナーでは、一部の文士（北原白秋・子母澤寛）の資料を展示更新しました。また、蒲田撮影所開設100年に合わせて「映画の都 蒲田」と題し松竹キネマ蒲田撮影所の展示コーナーを新設しました。

1階ロビーの特集展示コーナーにおいては、以下のように実施しました。

- ・「古墳の中の武装な面々ー古墳時代の武器ー」（令和2年6月2日（火）～7月26日（日））
- ・「沼部の庚申さま」（令和2年7月28日（火）～9月22日（火・祝））



特集展示「古墳の中の武装な面々
ー古墳時代の武器ー」 展示風景



特集展示「沼部の庚申さま」
展示風景

（2）特別展・企画展

特別展と企画展は、大田区に関わるテーマを設定し、網羅的、且つ、深く掘り下げた展示です。常設展示室の一部を大きく変更して行います。特別展は所蔵資料だけでなく、館外から借用するなど、より大規模に行います。また、企画展は館蔵資料を中心に、より充実した展示を行います。このような期間限定の展示を開催することで、郷土博物館に足を運んでいただき、大田区の様々な歴史について、区民の方に郷土の魅力を再発見していただくような展示を目指しています。

【3年度計画】

◎特別展：「川瀬巴水」

- ・開催期間：令和3年7月17日（土）～9月20日（月・祝）
- ・概要：川瀬巴水（1883-1957）は、日本全国を歩き、懐かしくも美しい風景を版画作品として残しました。前期は、巴水の故郷でもある「東京の風景」を、後期は旅を愛した巴水が歩いた「旅先の風景」を中心に展示します。あわせて書簡や愛用品を紹介し、等身大の川瀬巴水にふれていただく機会とします。

◎写真展：「せんべい屋店主、大田を撮る！」

- ・開催期間：令和3年10月23日（土）～12月26日（日）
- ・概要：羽田に生まれ育った横山宗一郎（1920-1995）は、せんべい屋を営む一方、郷土の風景を

撮影する写真家としても活躍しました。今回は、博物館が寄贈を受けた横山氏の写真をとおして、かつての区内の風景や暮らしぶりを紹介します。

◎企画展：「田園調布の遺跡発見！—初代館長、西岡秀雄の足跡—」

- ・開催期間：令和4年1月8日（土）～3月6日（日）
- ・概要：当館の初代館長を務めた西岡秀雄（1913-2011）は、昭和初期、田園調布の自邸を拠点に周辺の遺跡を踏査し、多くの貴重な記録を遺しました。本展では、没後10年にあたる節目に、初公開の写真や図面を交え、大田区を舞台にした西岡秀雄の考古学研究の足跡をたどります。

【2年度実績】

◎特別展：「川瀬巴水」

- ・開催期間：令和2年7月18日（土）～9月22日（火・祝）
特別展「川瀬巴水」は、新型コロナ感染拡大防止のため令和3年に順延となりました。このため、3階文士村コーナーにて特別展の内容を縮小し特集展示を実施しました。
- ・展示名：特集展示「川瀬巴水—日本を歩く—」
- ・開催日：令和2年8月18日（火）～9月22日（火・祝）
- ・入館者：2,126人
- ・成果：文化事業が中止や延期になる中、川瀬巴水の作品を50点以上展示しました。来館者からは「詳しい年表もあり、巴水の人生も作品ともに理解できてよかったです。これだけの数の作品を無料で見ることができ、大満足。」「見やすく丁寧なつくりの展示でとても楽しんだ。特にスケッチの数々が目新しく、並べて展示してくださったため版画におとしこんでいく過程が想像できて面白かった。」「区の施設で、無料でこの様な展示会を見られた事は大変貴重な経験でした。今後も地元ゆかりの方々の紹介や特別展の実施を期待します。」などの声があり、特別展を見た方から高い評価が得られました。



特集展示「川瀬巴水—日本を歩く—」展示風景



(3) 博物館講座・体験学習会・ミュージアムトーク・見学会

大田区の考古、歴史、民俗について学び、より理解を深めるため体験学習会等を開催します。

【3年度計画】

<博物館講座>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
6月20日(日)	弥生時代の貝塚	動物考古学の吉永亜紀子氏(総合研究大学院大学)をお招きし、大田区の弥生時代の貝塚について学ぶ。	1回 30人
7月3日(土)	大森厳正寺と水止舞	神田より子氏(敬和学園大学名誉教授)をお招きし、大森厳正寺と水止舞についてご講演いただく。	1回 30人

<夏休み体験学習会>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
7月29日(木) 30日(金)	勾玉づくり	滑石を加工して、自分だけの勾玉を作製	3回 (30日は午前・午後 開催) 各回15人
8月24日(火)	麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり	麦わらを使って昔の子どものおもちゃを作製	1回 20人
8月25日(水)	大森麦わら張り細工	染色した「麦わら」を木箱に張って、オリジナルのデザインによる麦わら張り細工の額絵を作製	1回 20人
8月26日(木)	麦わらのホタルカゴづくり	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業と夏の遊びを学ぶ。	1回 20人
8月27日(金)	六郷とんび凧づくり	江戸時代終わり頃から六郷地区で作られていた“とんびの形をした凧”を作製	1回 10組

<体験講座>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
5月9日(日) 5月16日(日) 5月30日(日)	縄文土器づくり(3回連続)	古代の土器作りを復元した方法で、縄文土器づくりを体験	1回 16人
10月3日(日)	大森麦わら編み細工	大森麦わら細工の歴史を学び、伝統の編み細工を体験	1回 20人
10月17日(日)	大森麦わら象嵌細工	大森麦わら細工の歴史を学び、象嵌細工の初歩を体験	1回 20人
12月5日(日)	麦わらのクリスマスリースづくり	麦わらを使い、クリスマスリースを作る。	2回 24人

<ミュージアムトーク>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
5月29日(土)	おおたモノ語り(前編)	学芸員が新しい常設展の見どころ、展示品を馬込のモノ語りとして紹介する。前編は馬込の近代化と馬込文士村	2回 60人
6月12日(土)	おおたモノ語り(後編)	学芸員が新しい常設展の見どころ、展示品をおおたのモノ語りとして紹介する。後編は地中に刻まれた歴史と農漁村の風景	2回 60人
11月7日(日)	渋沢栄一、街づくりの夢	渋沢栄一が追い求めた理想のまちづくりについて解説する。	1回 30人
11月27日(土)	写真が語る大田の人と街	学芸員が写真展を中心に解説する。	1回 30人

【2年度実績】

<博物館講座>新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年度に順延となりました。

6月21日(日)に開催予定でありました「大森厳正寺と水止舞」講義編、6月28日(日)に開催予定でありました「大森厳正寺と水止舞」まち歩き編の両講座は、新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年度に順延となりました。

<夏休み体験学習会>新型コロナ感染拡大防止のため、下記の予定は中止となりました。

7月29日(水)、8月5日(水) 麦わら遊び「大森麦わら張り細工」

7月30日(木) 麦わら遊び「麦わらのホタルカゴづくり」

7月31日(金)、8月1日(土) 勾玉づくり

8月6日(木) 麦わら遊び「麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり」

8月21日(金) 六郷のとんび凧づくり

<体験学習会>新型コロナ感染拡大防止のため、中止となりました。

4月26日(日) 大森麦わら象嵌細工

4月29日(水・祝) 大森麦わら編み細工

5月10日(日)、5月17日(日)、5月31日(日) 縄文土器づくり(3回連続)

<赤ちゃんと一緒に博物館へ>新型コロナ感染拡大防止のため、中止となりました。

6月4日(木)、9月3日(木) 赤ちゃんと一緒に博物館へ

<ミュージアムトーク>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
5月9日(土)	沼部の庚申さま	学芸員が特集展示「沼部の庚申さま」を中心に展示解説 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止	
7月11日(土)	古墳の中の武装な面々 ー古墳時代の武器・武器ー	学芸員が特集展示「古墳の中の武装な面々ー古墳時代の武器ー」を中心に展示解説	1回 20人 18人

成 果：常設展示や特集展示の見どころを展示解説や講座を通じて解説することで、展示資料や地域の歴史に関する理解を深めていただく機会となりました。未公開資料の展示観覧に加え、最新の研究成果が聴講できるため好評を得ており、リピーターの獲得にも寄与しました。

(4) 出張事業

学芸員が要望に応じて館外に出張し、現地見学会や体験学習会、講演会等を行います。新型コロナの影響により、来館を控える小中学校のために出張授業を行いました。

【3年度計画】

区内小中学校をはじめ関係機関からの依頼に対し協力します。

【2年度実績】

- ・対 象：小学校・中学校等の関係機関
- ・実 績：10回、参加者延べ960人
- ・内 訳：職場体験（インタビュー）1回12人 出張授業9回948人

月 日	出 張 事 業 名	会 場	参加人数	区分
9月8日(火)	社会科「郷土の伝統文化と先人のはたらき」	馬込第三小学校	125人	出張授業
10月5日(月)	出張職場体験（インタビュー）	大森第一中学校	12人	職場体験
10月22日(木)	総合的な学習の時間「大森麦わら細工」	馬込小学校	119人	出張授業
10月30日(金)	総合的な学習の時間「麦はかせになろう」	馬込小学校	120人	出張授業
1月14日(木)	総合的な学習の時間「馬込はかせになろう」	馬込小学校	114人	出張授業
1月19日(火)	総合的な学習の時間「昔の道具を体験しよう」	萩中小学校	48人	出張授業
2月9日(火)	社会科「大田区のうつりかわり」	池雪小学校	147人	出張授業
2月12日(金)	総合的な学習の時間「馬込はかせになろう」	馬込小学校	107人	出張授業
2月16日(火)	社会科「大田区のうつりかわり」「昔の暮らし」	馬込第二小学校	70人	出張授業
2月25日(木)	総合的な学習の時間「昔の暮らしを知ろう！！」	道塚小学校	98人	出張授業

- ・成 果：館外活動を通じて、博物館の蓄積してきた資源や学芸員の有する専門的知識を参加者に提供し、博物館のPRに結び付けることができました。体験学習は貴重な実物資料に触れる機会と

して学習意欲を高める効果をもたらしました。

(5) 学校見学

小学校による郷土博物館への団体見学では、社会科学見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて展示を説明します。学年によっては「昔の道具」の体験学習も実施します。また、職場体験やインタビューを希望する中学生を受け入れます。

【3年度計画】

区内小・中学校からの依頼に対し、学校同士のスケジュールを調整して協力します。

【2年度実績】

- ・対象：区内小学校（梅田小学校）来館
- ・実績：利用人数合計 170 人（小学 3 年生計 170 人）
- ・成果：身近な地域や大田区に関する学びの場と機会を提供することで学校教育に貢献しました。

(6) 所蔵資料の活用

【3年度計画】

- ・川瀬巴水カレンダーの作成、販売
- ・川瀬巴水絵葉書の増刷、販売

【2年度実績】

- | | |
|-------------------|---------|
| ・特別展図録「川瀬巴水」 | 1,800 部 |
| ・川瀬巴水壁掛カレンダー作成、販売 | 500 部 |
| ・川瀬巴水絵葉書「日本の風景編」 | 1,000 部 |
| ・川瀬巴水チケットフォルダー | 1,000 部 |

11 大森 海苔のふるさと館の運営

平成 20 年 1 月創立

3 年度予算額 58,998 千円 （2 年度予算額 59,590 千円）

※新型コロナ感染拡大防止のため、令和 3 年 4 月 26 日から 5 月 31 日まで休館

■大森 海苔のふるさと館（平成 20 年 4 月 6 日開館・平和の森公園二丁目 2）

「大森 海苔のふるさと館」は、大田区沿岸の海苔づくりの歴史を伝える施設として、平成 20 年 4 月 6 日に開館しました。「大森およびその周辺地域の海苔生産用具」の名称で国の重要有形民俗文化財に指定された 881 点をはじめとする海苔資料を保存・展示し、地域の人々と協働して海苔にかかわる多彩な活動を行う博物館です。また、隣接する「大森ふるさとの浜辺公園」の環境を理解するビジターセンターの役割も併せ持っています。

- ・開館日数：288 日
- ・入館者数：56,333 人（大人 34,897 人、子供 21,436 人）
（一般：19 団体 241 人、学校：1 校 170 人）

(1) 催しもの(体験学習会等)

【3年度計画】※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を例年の半以下に設定した。

	名 称	内 容	回数 募集人数
1	海苔つけ体験	かつての大森の海苔づくりの方法で、乾し海苔作りを体験	1回 10人
2	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	かつての大森伝統の海苔づくりを学び、乾し海苔づくりを体験する。	11回 各回10人
3	海苔でお絵描き 「海藻おしばづくり」	海苔や身近な海藻を使って、自由に絵や文字を描いた海藻おしばのカードをつくる	2回/日 各回16人
4	緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を活用して、緑のカーテン(ネット)を編む	1回 6人
5	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ	2回 各回8人
6	あみあみペットボトルホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を活用して、ペットボトルホルダーを制作	1回 6人
7	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作	2回/日 各回10人
8	自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを作る	1回 8人
9	タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー(壁掛け)を制作	1回 8人
10	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう	ペーパークラフトでベカブネを制作	1回 8人
11	自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ	1回 8人
12	フジツボを観察しよう	仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べる	1回 8人
13	海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む	2回 各回10人
14	浅草海苔のふるさと大森を歩く	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の史跡や寺社などを巡る	1回 10人
15	映像で知る海苔づくり いまむかし	昭和時代の大田区の花巻養殖と、現代の花巻養殖地の映像を上映する	1回 20人

【2年度実績】

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
1	海苔つけ体験	かつての大森の海苔づくりの方法で、乾し海苔作りを体験 ※4月4日は、新型コロナ感染拡大防止のため中止。動画配信で対応	8回 各回10人 延べ69人
2	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	かつての大森伝統の海苔づくりを学び、乾し海苔づくりを体験する	2回 各回10人 延べ18人
3	緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、緑のカーテン（ネット）を編む ※新型コロナ感染拡大防止のため中止。動画配信で対応	1回 20人 動画配信
4	海藻おしばづくり	海苔や身近な海藻を使って、海藻おしば作りを体験 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止。動画配信で対応	2回/日 各回40人 動画配信
5	あみあみペットボトルホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、ペットボトルホルダーを制作 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止	1回 20人 中止
6	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ	2回 各回6人 延べ9人
7	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作	2回/日 各回10人 延べ11人
8	自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを作る ※申込者がいなかったので中止	1回 6人 中止
9	タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー（壁掛け）を制作	1回 6人 4人
10	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう	ペーパークラフトでベカブネを制作	1回 6人 5人
11	自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ	1回 6人 6人
12	フジツボを観察しよう	仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べる	1回 6人 5人

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
13	海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む	2回 各回10人 延べ16人
14	浅草海苔のふるさと大森を 歩く～海苔の史跡めぐり～	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の 史跡や寺社などを巡る	1回 10人 9人
15	映像上映「海の畑」	かつての大森の海苔づくりや現在の生産地の海苔づくり などの映像を上映する	1回 12人 17人

・成 果：令和2年度の体験学習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から6月までの期間を中止にしました。7月以降は参加者と職員双方の安全を確保できる条件・人数で実施しました。実施にあたっては、参加者の連絡先の確認、接触確認アプリ COCOA インストールの依頼、体調不良や発熱の場合の不参加の依頼、当日のマスク着用と手指消毒の徹底、職員のマスクとフェイスシールドの着用、実施中の部屋の換気などの対策を行いました。



海苔つけ体験



海苔簀づくり

(2) 企画展

【3年度計画】

ア 海辺の風物を描く—大田区所蔵の資料から—

- ・会 期：令和3年4月20日（火）～7月18日（日）
- ・概 要：大田区が所蔵する浮世絵や版画などの中から、海苔養殖を中心に大森とその周辺の海辺の風物を描いた作品を展示します。また、海苔養殖以外にも大田区周辺の海沿いの魅力ある風景を描いた作品も紹介します。

イ 写真展 東京オリンピックに沸いたあの頃の海辺

- ・会 期：令和3年7月20日（火）～11月14日（日）
- ・概 要：先の東京オリンピックが開催した頃の大田区沿岸部の写真を通して、当時の海辺の風景や暮らしぶりを振り返ります。

ウ 前掛け（予定）

- ・会 期：令和3年11月16日（火）～令和4年4月17日（日）
- ・概 要：館蔵資料を中心に海苔の仕事に欠かせなかった前掛けの役割などについて紹介します。

【2年度実績】

ア 大田の船模型—海苔と漁業の思い出をのせて—

- ・会 期：令和2年4月21日（火）～8月16日（日）
- ・来場者：11,933人
- ・概 要：船の模型を展示し、それぞれの役割や当時の姿を紹介しました。
- ・その他：4月2日（木）～5月31日（日）まで臨時休館

イ 一枚の海苔簀ができるまで—海苔づくりを支えた道具たち—

- ・会 期：令和2年8月18日（火）～11月15日（日）
- ・来場者：17,093人
- ・概 要：海苔の仕上がりを左右した海苔簀に焦点を当て、夏から秋の作業であった材料調達から完成までを紹介しました。

ウ 竹ヒビで海苔を採っていたあの頃—海苔網以前の海苔養殖—

- ・会 期：令和2年11月17日（火）～令和3年4月18日（日）
- ・来場者：28,009人
- ・概 要：かつての海苔養殖で用いた竹ヒビをつくる作業から海に竹ヒビを建て、そこから海苔を採る作業までを写真で紹介した。
- ・成 果：常設展の中から来館者の興味が高いテーマを抽出し、通常よりも掘り下げて紹介することで、来館者がわかりやすく、満足度の高い展示を実施できました。



企画展「大田の船模型」展示風景



企画展「一枚の海苔簀ができるまで」展示風景

(3) 海苔の生育観察事業

海苔生産の技術の継承とかつて大田区の花辺で見られた海苔づくりの光景を再現して、地域の歴史や伝統を学ぶことを目的に、元生産者等の協力者とふるさと花辺の浅瀬で実施します。

【3年度計画】

	日 程	名 称	内 容	回数
1	4月28日（水）	ヒビ抜き・棒抜き	竹ヒビや支柱を撤去する。	1回
2	8月5日（木）	アク抜き	竹ヒビに使用する竹を海に設置。	1回
3	9月6日（月）	竹引き上げ・洗い	8月に海中に沈めた竹を引上げる。	1回

	日 程	名 称	内 容	回数
4	9月23日(木・祝)	ヒビごさえ	竹ヒビを作成する。	1回
5	10月6日(水)	場割り	ヒビ建て・支柱建ての場所を決める。	1回
6	11月3日(水・祝)	ヒビ建て、棒立て	竹ヒビと支柱を海に設置する。	1回
7	12月中旬ごろ	網張り	海苔網を支柱にくくりつける。	1回
8	12月～翌4月まで	干出、展開、網上げ、防鳥ネット設置	網張り後、生長度合いを見ながら網を上げたり、防鳥ネットを取り付けたりする。	適宜
9	12月～翌3月まで	海水測定	海水温や塩分などを測定する	毎日
10	1月中	竹切り	竹ヒビ用の竹を伐り出す。	1回

【2年度実績】

- ・活動日数：20日 参加者数：98人
- ・成 果：往年の技術の継承と景観の再現を目的にふるさとの浜辺の浅瀬で実施しました。魚による食害を防ぐネットの設置や晴天少雨などの影響から令和2年度は海苔が順調に生育し、5年ぶりに収穫することができました。ボランティアのはまどの会にも協力いただき、約150枚分の海苔が採れました。



ヒビ建て



海苔採り

(4) 出張事業

学芸員が要望に応じて館外に出張し、体験学習会、まち歩き、講演会等を行います。

【3年度計画】

区内小学校をはじめ関係機関からの依頼に対し、協力します。

【2年度実績】

- ・対 象：小学校・区組織等の関係機関・観光協会・法人など
- ・実 績：5回、参加者延べ366人
- ・内 訳：海苔つけ体験2回123人、授業3回243人
- ・成 果：職員が学校へ赴き、海苔つけの指導や海苔養殖の歴史の授業を行うことで、生徒たちの学びを深めることができました。

(5) 学校見学

郷土博物館への見学に際し、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて展示を説明

します。学年によっては「海苔つけ体験」の体験学習も実施します。

【3年度計画】

区内小学校からの依頼に対し、学校同士のスケジュールの重複を調整して協力します。

【2年度実績】

- ・対 象：区内各小学校 45 校来館、区外小学校 5 校来館
中学校 1 校、高校 1 校、大学 1 校
小学校内訳 2 年生 3 校、3 年生 38 校、4 年生 3 校、6 年生 2 校
- ・実 績：利用者数 3,373 人
- ・成 果：新型コロナ感染拡大防止のため、職員による説明を中止しました。代わりに来館前に資料を送付し、必要に応じて事前学習をしてもらいました。当日は児童数が 50 名以上の学校の場合には館内外で交代して入館し、児童数に関わらず館内では 10 名程度のグループに分かれての見学という方法で受け入れました。



小学校の団体見学



見学者への検温

12 勝海舟記念館の運営

令和元年 9 月 7 日 開館

3 年度予算額 94,826 千円 (2 年度予算額 112,684 千円)

※新型コロナ感染拡大防止のため、令和 3 年 4 月 26 日から 5 月 31 日まで休館

勝海舟記念館は、国登録有形文化財である旧清明文庫の保存・活用と、勝海舟の想いを伝える記念館として令和元年 9 月 7 日に開館し、令和 2 年に開館 1 周年を迎えました。

令和 2 年度の来場者数は、13,743 人（開館日数 245 日・1 日平均 56 人）で、開館から累計 36,143 人となりました。

引き続き記念館の PR 及び来館促進に資する取組、区内外での広報を進めています。

【3年度計画】

(1) 展示・運営の強化

年4回企画展を開催します。その他、社会的包摂の視点から、全ての映像展示に字幕を追加し、環境整備を進めます。また、新型コロナの対応として、入館料等のキャッシュレス決済を導入し、安全でより利用しやすい施設として運営していきます。

(2) 区内外への魅力発信の強化

開館2周年に合わせオンライン講演会を実施します。講演会はコロナ禍でも楽しめるよう動画配信とし、都区外への発信を強化します。発信に当たっては、アフターコロナを見据えた来館及び勝海舟基金への寄附促進を図ります。その他、記念館の魅力向上のため、ミュージアムグッズの拡充も行います。

(3) 勝海舟基金への寄附促進

寄附促進のため、通常の寄附募集と併せ、「特定の資料修復のために具体的な金額を定め寄附を募る」ガバメントクラウドファンディングを実施します。

【2年度実績】

(1) 魅力ある展示の継続

ア 企画展・特別展

- ・令和2年6月2日（火）から8月30日（日）まで（来館者数：3,746名）
企画展「勝海舟と幕末・明治を駆け抜けた盟友たち」
- ・令和2年9月4日（金）から12月6日（日）まで（来館者数：5,047名）
特別展「海舟が見た、感じた！サンフランシスコ-咸臨丸出帆160年-」
- ・令和2年12月11日（金）から令和3年3月14日（日）まで（来館者数：3,699名）
企画展「慕われた海舟翁-水盤と古文書から見えるもの-」
- ・令和3年3月19日（金）から6月27日（日）まで（来館者数：2,618名 ※4/26～臨時休館）
企画展「小吉-“勝海舟”を育んだ父-」

イ その他追加制作等

展示品が見やすくなるよう展示什器の追加や、資料を継続して展示できるようレプリカの制作を行いました。また、来館者アンケート（令和2年8月～令和3年3月 519件）等のご意見も踏まえ、印章コレクションの押印体験など、魅力向上のための取り組みを進めました。併せて、新型コロナ感染拡大防止のための対策として、タッチペンの導入や、ソーシャルディスタンスを意識できるようマーカーの貼付なども行っています。

ウ 成果

来館者アンケートでは、展示について、「大変満足・まあ満足」が85%以上、「やや不満・不満」が2.14%であり、一定の評価をいただきました。一方、グッズの充実に期待する多くの声をいただきました。今後の課題として捉え、魅力向上に努めます。

エ 沿革

令和元年度は2回の企画展を開催

(2) グッズの充実・広報の促進

ア グッズの充実

開館1周年に合わせ、エコバックやクリアボトルを制作するなど、年間で14種類のグッズを追加しました。区内在住のデザイナーと制作したグッズや、志茂田福祉センターとコラボしたグッズも販売しています。

- ・成果：グッズの種類 合計27種のグッズを販売しました。

来館者一人当たりのグッズ購入平均単価 令和元年度@60円→令和2年度@94円

- ・沿革：令和元年度13種のグッズを販売、令和2年度新たに14種を販売



勝海舟記念館 グッズ



展示室（常設展示）

イ 広報の促進

広く区内外へ記念館及び基金のPRを行いました。

(ア) おうち動画の発信 全7編

新型コロナ感染拡大防止のための臨時休館中でも、記念館を楽しんでもらえるよう、「勝海舟ってどんな人？」をテーマに、海舟の生涯を7つに分けて解説する動画を制作し配信しました。

- ・実施日：令和2年4月28日（火）から順次配信開始
- ・媒体：YouTube 大田区チャンネル
- ・成果：全動画の累計再生回数は、約5,000回となり、多くの方に勝海舟の生涯や記念館のことを知っていただく機会になりました。1話配信後、次回も楽しみにしているという声もいただき、コロナ禍でも「心豊かな時間の醸成」に寄与したものと考えます。
- ・沿革：令和2年度に新規実施

(イ) 記念館公式ツイッターで情報を発信

企画展の案内や資料紹介などの情報を年間100回以上発信しました。

- ・実施日：年間を通して
- ・媒体：勝海舟記念館公式ツイッター
- ・成果：フォロワー数は1,675人（4月18日現在）となり、アクセス数も増加しました。

プロフィールアクセス数 令和2年4月1,193回→令和3年3月4,347回

- ・沿 革：令和元年度から実施
- (ウ) 記念館のガイド「勝海舟ってどんな人？」の送付
- 大田区に縁がある歴史人物「勝海舟」について小中学生に興味を持ってもらえるよう、イラストや資料の写真を多く取り入れたガイドを作成し配布しました。
- ・実 施 日：令和2年7月1日（水）
 - ・配 布 先：「歴史」の授業が始まる区立の小学6年生から中学3年生の生徒に配布
 - ・成 果：課外授業等の受け入れ 計7回（461名）
 - ・沿 革：令和2年度に新規実施
- (エ) 広報紙「海舟だより」第6～9号の発行
- 展示やグッズの紹介等、最新の情報をチラシに掲載し発行しました。
- ・実 施 日：企画展に合わせて発行
 - ・配 架 先：区内施設（文化施設、特別出張所、文化センター、区民センター、小中学校、図書館）、全国の関係施設（98か所）、会議体等
 - ・成 果：区民や地方の方だけでなく、歴史関係施設の方からも毎回楽しみにしているとの声が寄せられています。
 - ・沿 革：平成30年度から実施
- (オ) 歴代寄附者へ資料の購入・修復報告書の送付
- 勝海舟基金への寄附者に、購入資料の解説や修復した資料の写真等を盛り込んだ報告書を送付しました。
- ・実 施 日：令和2年9月7日（月）
 - ・成 果：寄附の活用結果をご覧いただき、再度寄附のお申し出を50件いただきました。
 - ・沿 革：令和2年度に新規実施
- (カ) その他 WEB 媒体での発信
- Facebook 等に PR 広告を掲載しました。
- ・実施期間：令和2年度12月から2か月間
 - ・成 果：広告の表示回数は、約66万回となり、プロモーションビデオの再生回数も増加しました。全国の方に記念館の魅力を知ってもらう機会となりました。
 - ・沿 革：平成30年度から実施
- (キ) ゆかりの地3紙新聞広告
- 海舟ゆかりの人物である西郷隆盛と坂本龍馬の出身地の地方紙に記念館のPR広告を掲載しました。（東京新聞・南日本新聞・高知新聞）また、記念館公式ツイッターでこれに連動したツイートも行い、記念館の認知度向上と勝海舟基金への寄附募集を図りました。
- ・実 施 日：令和2年12月12日（土）
 - ・成 果：約60万人の目に触れる機会となり、認知度の向上に繋がりました。地方からリーフレットの請求などのお問い合わせも受けました。
 - ・沿 革：ゆかりの地3紙の実施は令和2年度に新規実施
- (ク) 大人のつどい運営委員会ホームページで記念館PR
- 成人を迎える区民向けに、勝海舟の言葉と共に門出をお祝いするメッセージ入りの画像を作成し、大人のつどい運営委員会のホームページに掲載しました。
- ・掲 載 期 間：令和3年1月11日（月）～2月26日（金）

- ・沿 革：令和2年度に新規実施
- (ケ) 月刊「散歩の達人」で記念館とグッズのPR
- 月刊「散歩の達人」は、7万5千部発行の東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県を中心に読まれている雑誌です。桜の時期に合わせ、記念館の広告とグッズの紹介を掲載しました。
- ・販 売 日：令和3年2月20日
 - ・成 果：散策や施設巡りに興味のある読者に、記念館の魅力を発信することで、新たな層の獲得と来館促進に寄与したと考えます。
 - ・沿 革：令和元年度から実施
- (コ) 区の媒体の活用
- 次のとおり、記念館事業のPRを行いました。
- ・媒 体：区報5回、区設掲示板1回、統合ポスター2回、区公式ツイッター16回、デジタルサイネージ3回、シティナビゲーション3回、シティニュース1回
- (サ) その他民間媒体への掲載
- ART BEE HIVE 6号(大田区文化振興協会)やライフアップ9月号(特別区職員互助組合)など庁内外と広く連携した広報を行うことができました。民間業者からも無料で掲載の依頼を受けるものもあり、広報推進に寄与しています。
- ウ その他、ファン醸成のための取り組み
- (ア) 来館記念スタンプ
- 区内在住のアーティストと国登録有形文化財の「旧清明文庫」をデザインした“記念館オリジナルスタンプ”を制作しました。来館の記念になるよう、専用の台紙も用意しました。
- ・実施開始：令和2年9月4日(金)～
 - ・場 所：記念館無料スペース
 - ・成 果：課外授業で来館した子ども達に楽しんでもらっているほか、押印体験を自らのSNSでの発信いただくなど、来館者の満足度向上に寄与しています。
 - ・沿 革：令和2年度から新規実施
- (イ) 印章押印体験
- 勝海舟の印章コレクションの中から、体験用のレプリカを作成し、押印の体験ができるコーナーを設けました。企画展の会期ごとに体験できる印章を変え、リピーターの獲得に努めています。
- ・実施開始：令和2年9月4日(金)～
 - ・実施場所：勝海舟記念館無料スペース
 - ・成 果：来館者の満足度向上に寄与しています。
 - ・沿 革：令和2年度から新規実施
- (ウ) 大田区観光情報センター「洗足池エリア探訪」(主催：観光課)
- 「学芸員が教える！勝海舟記念館をより楽しむための裏ポイント」のリーフレットを作成し、大田区観光情報センターで配布しました。併せてミュージアムグッズの販売も行いました。
- ・実 施 日：令和2年9月20日(日)～10月4日(日)
 - ・会 場：大田区観光情報センター

- ・沿 革：令和2年度に新規実施
- (エ)「勝海舟ゆかりの地周辺散策」パネル

洗足池図書館の外壁に、区ホームページと連動した「勝海舟ゆかりの地周辺散策」パネルを設置しました。周辺の見どころを紹介し、公園一体で楽しめる仕組みづくりを進めています。

- ・掲出開始：令和3年3月30日（火）
- ・掲出場所：洗足池図書館
- ・沿 革：令和元年度に実施

令和2年度に洗足池図書館の改修工事等のため一度撤去し、工事完了後、パネルの内容を拡充し再実施

(3) 勝海舟基金

令和3年1月に開催した資料調査委員会資料収集評価部会での学識委員の評価を踏まえて、206点の資料を購入しました。

ア 寄附受領

令和2年4月1日から令和3年3月31日までに、108件2,269,310円の寄附を受領。
平成30年8月からの累計806件、47,364,964円。

イ 積立て及び取り崩し

寄附累計のうち、2,532,257円について寄附金及び利子から基金への積み立てを行いました。
また、基金から8,158,196円を取り崩し、展示資料の購入及び修復経費に充当しました。

13 絵画等保管拠点の維持管理

令和2年度 事業開始

3年度予算額5,800千円（2年度予算額99,318千円）

区が所蔵する絵画等について、収蔵方針・基準等を整備するとともに、効果的な活用方法を検討していきます。

【3年度計画】

区所蔵絵画等の収蔵方針・基準の整備を含む、効果的な活用計画の策定
保管環境整備の一環として、民間の美術品等専用倉庫での保管と効果的な活用

【2年度実績】

当初、区所蔵絵画や郷土博物館が所有する郷土資料及び文化財等を収蔵し、工房機能も有する施設を整備するための基本計画、設計を実施する予定でしたが、引き続き検討することとし、区所蔵絵画等の保管環境の整備を行いました（一部区民寄贈絵画等の移動）。

14 勝海舟記念館の整備【12 勝海舟記念館の運営と統合により廃止】

(2年度予算額 53,745 千円)

国登録有形文化財である旧清明文庫の保存・活用と、勝海舟の想いを伝える記念館として、令和元年9月7日に開館し、令和2年に開館1周年を迎えました。

【3年度計画】

記念館と隣地の整備終了に伴い、記念館に関することは「12 勝海舟記念館の運営」に一本化します。

【2年度実績】

公園一体で魅力を発信できるよう、オリジナル路面タイルの設置と記念館隣地の整備を行いました。

(1) オリジナル路面タイルの設置

洗足池図書館付近から、記念館までの石畳の路面に、記念館や地域に関係するデザインのタイルを10枚敷きました。

(2) 記念館隣地の整備

勝海舟記念館の隣接する用地を記念館と融合した公園として整備し、令和3年3月に竣工、4月から洗足池公園の一部として供用開始となりました。

この地は、過去に海舟の別荘「洗足軒」が移設された場所の一部であることから、その歴史をプレートで紹介する他、海舟ゆかりの樹木を楽しめる憩いの場として整備しました。

今後も、記念館と公園と一体で楽しんでいただけるような取り組みを進めてまいります。

(3) 成果

記念館周辺を面として捉え、周辺地域と一体となった魅力の発信を行うことで、より多くの方に記念館を認知していただく機会となり、公園周辺の回遊に寄与しています。SNS 上でも、記念館と周辺の見どころを撮影した画像を掲載している投稿され、波及効果も期待できます。

(4) 沿革

令和2年度に新規整備

(4) スポーツ推進課

「スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち」の実現に向け、平成 30 年 3 月に策定した「大田区スポーツ推進計画（改定版）」に基づき施策を展開します。庁内はもとより、(公財)大田区スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、民間事業者などと積極的に連携し、スポーツ実施率の維持・向上と、スポーツを通じた福祉・健康・産業・観光など他分野における課題解決をめざします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、スポーツ庁のガイドラインや東京都感染拡大防止ガイドブックに準拠し、区民が、運動・スポーツをする際には、密閉・密集・密接を避け、体調管理、手洗いや消毒を徹底するなど、安全に実施していただくよう理解・協力を求めています。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、東京 2020 大会が延期され、オリンピックは令和 3 年 7 月 23 日から 8 月 8 日まで、パラリンピックは令和 3 年 8 月 24 日から 9 月 5 日までの開催となりました。現在、大会組織委員会や東京都は大会の運営計画を見直しており、大田区においても、予定していた取組を見直していきます。

今年度は、東京 2020 大会が開催される年になります。大会の成功に向けて、大会組織委員会や東京都に協力していきます。また、区民の国際意識やボランティアマインドの醸成、共生社会への理解促進、スポーツ・文化の振興、大会の感動が区民の心に刻まれる、といった区の目指すレガシーを残すため、大会に関連する様々な事業に取り組みます。

予算事務事業名	事業名	頁
スポーツ振興費		
(公財)大田区スポーツ協会運営費補助		
	1 (公財)大田区スポーツ協会	92
スポーツ教室		
	2 小・中学生スポーツ教室	93
	3 障がい者スポーツ教室	93
	4 成人スポーツ教室	94
スポーツ奨励		
	5 地域スポーツクラブ	94
	6 スポーツ奨励事業	96
	7 寿ハイキング	96
指導者養成		
	8 ラジオ体操指導者養成講習会	97
	9 スポーツ指導者養成講習会	97
区民スポーツ大会		
	10 区民スポーツ大会	98
都民体育大会等代表派遣		
	11 都民体育大会等代表派遣	98
スポーツ推進委員		
	12 スポーツ推進委員	99

予算事務事業名	事業名	頁
スポーツ推進審議会		
	13 スポーツ推進審議会	100
スポーツ健康都市宣言記念事業		
	14 O T Aウォーキング	100
	15 区民スポーツまつり	101
	16 おおたスポーツ健康フェスタ	102
新スポーツ健康ゾーン活性化事業		
	17 新スポーツ健康ゾーン活性化事業	103
スポーツ推進広報事業		
	18 スポーツ推進広報事業	104
東京 2020 レガシー事業		
	19 東京 2020 レガシー事業	105
大田スタジアム維持管理		
	20 大田スタジアム	106
大森スポーツセンター維持管理 (大森本町複合施設維持管理等含む)	21 大森スポーツセンター	108
大田区総合体育館維持管理		
	22 大田区総合体育館	110
東京オリンピック・パラリンピック推進事業		
	23 東京オリンピック・パラリンピック推進事業	113

1 公益財団法人 大田区スポーツ協会 (管理運営費補助)

昭和 23 年 設立

平成 25 年 財団法人から公益財団法人へ変更

令和元年 現名称へ変更

3 年度予算額 31, 813 千円 (2 年度予算額 52, 957 千円)

大田区内におけるスポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、区民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的に活動しています。区では運営費補助を通じ、協会の体制強化を支援しています。

【3 年度計画】

(1) 大田区の受託事業

- ・区民スポーツ大会、区民スポーツまつり等の実施

(2) 指定管理業務

- ・大森スポーツセンター、大田スタジアムの指定管理者グループの代表団体として施設の管理運営

(3) その他 (自主事業)

- ・各種スポーツ教室 : 4 種目

- ・スポーツきっかけ教室 : 9種目
- ・各種講習会 : 3回 (スポーツ指導者養成講習会2回、普通救命講習会1回)
- ・大田スポーツバイキング : 3回 (5月9日分は新型コロナ感染拡大防止のため中止)

【2年度実績】

※事業の詳細は、以下2、3、4、8、9、10、11、14、15、20、21に掲載



区民スポーツまつりにおける「スポーツバイキング」

2 小・中学生スポーツ教室 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業) 【統合により廃止】

昭和 52 年度 事業開始
(2年度予算額 4,563 千円)

小・中学生スポーツ教室は、スポーツとの出会いを通じてその基礎を学ぶとともに、心身の健全な成長と豊かな情操を育むことを目的に実施していました。総合型地域スポーツクラブとの連携により実施している種目もあり、地域の指導者が運営するなど、この事業が地域活動のひとつとなりました。

【3年度計画】

全事務事業の見直しにより、(公財) 大田区スポーツ協会の自主事業に統合

【2年度実績】

新型コロナ感染拡大防止のため中止



ダンス教室

3 障がい者スポーツ教室 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

昭和 59 年度 事業開始
3年度予算額 2,364 千円 (2年度予算額 3,645 千円)

障がい者の方にスポーツに親しむ機会を提供し、健康の保持増進を図ることを目的に実施しています。

障がい者のスポーツを通じた交流の場や仲間づくりの場となっています。昨年度までは、「障がい者水泳教室」として実施してきましたが、種目の性質上、指導者と参加者が密になることが避けられないなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を十分にとることが困難であるため、令和3年度は体育室で、ダンス、ボールを使ったニュースポーツを種目としたスポーツ教室に変更となりました。スポーツ教室を通じて、障がい者のスポーツ参加機会の充実と実施率の向上を図ります。平成30年度から（公財）大田区スポーツ協会委託事業となりました。

【3年度計画】

- ・実施期間：6月から1月まで
- ・回数：12回
- ・定員：50人

【2年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 成人スポーツ教室（（公財）大田区スポーツ協会委託事業【統合により廃止】）

昭和36年度 事業開始
（2年度予算額2,019千円）

初心者にはスポーツに親しむ機会を提供するとともに基礎的・技術的な指導を行い、生涯スポーツへの動機づけを図る目的で実施していました。また、幅広い世代の方が一堂に会し、スポーツを通して地域交流の輪を広げるきっかけづくりの場となりました。

【3年度計画】

全事務事業の見直しにより、（公財）大田区スポーツ協会の自主事業に統合

【2年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



水泳教室

5 地域スポーツクラブ

平成26年度 事業開始
3年度予算額630千円（2年度予算額1,092千円）

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」創設・運営支援

「総合型地域スポーツクラブ」とは「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむ

むことができ、地域の日常的なスポーツの活動の場として、子どもから大人まですべての人が参加でき、地域住民自らが主体となって運営する「スポーツクラブ」です。

「大田区スポーツ推進計画(改定版)」にて、その支援を定めており、総合型地域スポーツクラブへの支援を通してクラブの発展及び区民の日常的なスポーツ実施の推進を目的としています。

総合型地域スポーツクラブ	
1	NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット
2	(一社) 田園調布グリーンコミュニティ
3	NPO 法人大田ウェルネスクラブ
4	NPO 法人スマイルかまた
5	NPO 法人ベアーズ
6	NPO 法人大森コラボレーション 総合型地域スポーツクラブ ソシオ大森
7	(一社) 大森フットボールクラブ
8	レスポ大森クラブ



総合型地域スポーツクラブによる「親子ダンス」

(2) 地域スポーツクラブ指導者養成講習会

地域スポーツクラブがその運営や活動について学び、情報を共有する場となっています。指導者の実技向上のほか、クラブの経営充実に向けた広報戦略やマーケティング等の講習会を行い、地域スポーツクラブの指導及び運営能力の向上を目的としています。

【3年度計画】

- ・回数：2回
受講予定者数 各回約20人

【2年度実績】

- ・テーマ：会議の進め方
- ・回数：2回実施
- ・開催日：令和2年12月12日（土）、令和3年1月23日（土）
- ・参加人数：計21人
- ・成果：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会議の実施方法がオンライン等、多様化する中で「効率的かつ効果的な会議の実施方法等について」の講習会を開催しました。参加者のアンケートによると、9割の参加者が講習会について「大変満足」または「満足」と回答し、好評を得ました。参加者からは「正しい会議で、チーム力（組織力）を高めていきたい」という意見もあがり、各地域スポーツクラブのクラブ運営のスキルアップにつながりました。

(3) 地域スポーツクラブ指導者出張事業

スポーツ実施率の低い20～40歳代のビジネスパーソン及び子育て世代が集まる企業や児童館に総

合型地域スポーツクラブの指導者を派遣し、様々なスポーツプログラムを実施することで、スポーツ実施率の向上と事業を通じた総合型地域スポーツクラブの育成を目的としています。

【3年度計画】

- ・回数：区内の企業等で計30回程度実施予定

【2年度実績】

- ・回数：区内企業1か所計2回実施
- ・開催日：令和2年11月17日（火）、
令和2年12月17日（木）
- ・参加人数：計39人
- ・成果：新型コロナの影響により、児童館等への指導者派遣はできず、当初予定していた回数よりも大幅に減少しましたが、スポーツ実施率の低い層であるビジネスパーソン及び子育て世代を対象に、指導者を企業へ派遣することで、運動する機会を提供し、スポーツ実施率の向上を図りました。運動後はリフレッシュ効果や肩こり・腰痛等の軽減を感じる等参加者の心身合わせた健康増進に寄与しました。



指導者出張事業

6 スポーツ奨励事業

平成27年度 事業開始

3年度予算額 3,094 千円 （2年度予算額 3,494 千円）

スポーツ意識の高揚及びスポーツ振興を図るため、スポーツ競技で全国大会等に出場する個人に対して、大田区スポーツ全国大会等出場奨励金を交付しています。令和3年度より全国大会に出場する区内在住または在学の高校生以下の方、または、国際大会に出場する区内在住、在学の方が対象となりました。

【3年度計画】

- ・交付者数：225人

【2年度実績】

- ・交付者数：61人

7 寿ハイキング【統合により廃止】

昭和49年度 事業開始

（2年度予算額 228 千円）

区内在住の60歳以上の方を対象としたスポーツ事業として開催していました。参加者にレクリエーションの機会を提供することで、体力の保持増進と健康に対する意識の高揚を図るとともに、参加者相互の交流の機会となっていました。

【3年度計画】

全事務事業の見直しにより、OTA ウォーキングに統合。

【2年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

8 ラジオ体操指導者養成講習会 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

昭和 61 年度 事業開始

3年度予算額 139 千円 (2年度予算額 195 千円)

ラジオ体操を広く普及させ、区民の健康増進を図ることを目的として、区内在住・在勤・在学の 16 歳以上の方を対象に指導方法を講習し、地域指導者を養成します。また、区民が指導者となり地域の方を指導することで、区民の交流を促進します。

【3年度計画】

- ・回数：1回(2日間)
- ・定員：150人

【2年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



講習会の様子

9 スポーツ指導者養成講習会 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

平成 10 年度 事業開始

3年度予算額 93 千円 (2年度予算額 251 千円)

障がい者スポーツの理解と普及を目的に、障がい者スポーツ教室の意義と指導方法について講習し、指導者の育成を図ります。平成 30 年度から (公財) 大田区スポーツ協会委託事業となりました。

【3年度計画】

- ・開催日：令和3年4月21日
- ・場所：大森スポーツセンター
- ・参加者数：20人 ※2回目の実施については未定

【2年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

10 区民スポーツ大会 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

昭和 22 年度 事業開始

3 年度予算額 17,634 千円 (2 年度予算額 17,470 千円)

区内在住・在勤・在学の方を対象に、各種スポーツ団体の協力のもとで実施するスポーツ大会です。本大会は、区民の日頃の練習成果の発表の場であり、広く区民の間にスポーツ活動への参加意欲を高める目的で実施しています。また、選手同士の交流を図り、区民が健康で豊かな生活を実現する一助となっています。

【3 年度計画】

- ア 春・夏季大会：40 種目 (40 種目中 14 種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- イ 秋・冬季大会：46 種目

【2 年度実績】

- ア 春・夏季大会
 - ・種目数：1 種目 (39 種目中 38 種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
 - ・参加者等：計 51 人 (参加者 46 人、スタッフ 5 人)
- イ 秋・冬季大会
 - ・種目数：21 種目 (45 種目中 24 種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
 - ・参加者等：計 18,202 人 (参加者 16,559 人、スタッフ 1,643 人)
 - ・成果：新型コロナウイルス感染予防対策が徹底できる競技についてのみ実施したため、例年に比べて大会の規模は縮小となりましたが、コロナ禍における安全・安心なスポーツ活動の促進に繋げることができました。



卓球大会

11 都民体育大会等代表派遣 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

昭和 22 年度 事業開始

3 年度予算額 3,833 千円 (2 年度予算額 3,833 千円)

区民スポーツ大会において優秀な成績をおさめた選手を大田区の代表として都民体育大会等へ派遣することで、選手のスポーツ活動意識を高め、地域スポーツの振興と都内各地区との交流を図ることを目的として実施しています。

【3年度計画】

- ・派遣者数：90人（4月～5月は、新型コロナ感染拡大防止のため中止）

【2年度実績】

- ・種目数：4種目
- ・派遣者数：35人
- ・成果：新型コロナ感染拡大防止のため、多くの大会が中止となり、総合順位もつけないこととなりました。



都民体育大会合同開会式

12 スポーツ推進委員

昭和32年度 事業開始

平成23年度 現名称に変更

3年度予算額8,003千円（2年度予算額9,965千円）

スポーツ基本法に基づきスポーツ推進事業の実施に係る連絡調整並びにスポーツの実技指導及びスポーツに関する指導・助言を行うことを任務とする非常勤職員です。

日常、地域においてスポーツに対する区民の理解を深め、区民へのスポーツ推進を図り、大田区の行うスポーツ事業に協力しています。（定員65人）

【3年度計画】

各地域での委員活動のほか、以下を計画しています。

- ・区の事業への協力（おおたスポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり、ボッチャ推進事業他）
- ・その他スポーツ事業への協力

【2年度実績】

新型コロナ感染拡大の影響により、スポーツイベントが中止になるなど、例年に比べ活動は縮小しましたが、定期的に会議を開催し、コロナ禍でのスポーツ事業について検討するほか、委員間の情報共有を図りました。

- ・協力事業

おおたスポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつりなど



区民スポーツまつりにおける
「ポールウォーキングで地元ウォーク」

13 スポーツ推進審議会

昭和 58 年度 事業開始

3 年度予算額 364 千円 (2 年度予算額 364 千円)

スポーツ基本法に基づき設置された区長の付属機関です。スポーツに関する学識経験者及び関係行政機関の職員で構成されています。スポーツの推進に関する計画及び重要事項に関し意見を述べるほか、諮問に応じて調査審議し、区長に建議することを役割としています。

【3 年度計画】

- ・回数：2 回 (スポーツ推進計画の実施について)

【2 年度実績】

「大田区スポーツ推進計画 (改定版)」の実現化のための審議

コロナ禍におけるスポーツの現状及び取り組み状況に係る意見交換

- ・開催日：令和 2 年 11 月 16 日 (月)

令和 3 年 2 月 22 日 (月) (書面会議)

- ・成果：審議会では、「大田区スポーツ推進計画 (改定版)」の計画期間について、新型コロナウイルスの影響を鑑み、延長が妥当という結論に至り、引き続き「大田区スポーツ推進計画 (改定版)」の実現化に向けて審議していくことになりました。

また、第 2 回の書面会議による審議会では、地域スポーツクラブや障がい者スポーツ等多方面からの情報をもとに、コロナ禍におけるスポーツの現状及び取り組み状況について把握、意見交換を行い、今後の安全・安心なスポーツの実施について考察しました。



14 お お た O T A ウォーキング (スポーツ健康都市宣言記念事業) ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

平成 24 年度 事業開始

3 年度予算額 639 千円 (2 年度予算額 1,235 千円)

平成 24 年 6 月に行った「スポーツ健康都市宣言」を記念した事業として実施しています。

日常生活に直結した、もっとも身近な運動である「歩くこと」を奨励し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツの継続実施を目指し開催します。平成 30 年度から (公財) 大田区スポーツ協会委託事業となりました。

【3 年度計画】

春開催予定分は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

全事務事業の見直しにより、秋開催予定分は、区民スポーツまつりに統合し、ウォーキングイベントとして実施予定

【2年度実績】

春及び秋開催予定分は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回とも中止

15 区民スポーツまつり(スポーツ健康都市宣言記念事業)((公財)大田区スポーツ協会委託事業)

昭和59年度 事業開始

3年度予算額9,461千円 (2年度予算額9,461千円)

スポーツ基本法において、「体育の日」に国民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、その意欲を高めるような行事を実施するよう努めることが記されています。その趣旨に則り、区民に様々なスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供する目的として、区民スポーツまつりを実施しています。

子どもから高齢者までが家族ぐるみで参加することにより、世代を超えたふれあいと、健康・体力づくり・生きがいづくりを図るとともに、住民相互の交流を通して地域づくりの契機とします。

会場は大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川河川敷等となっており、区内各地で自由参加の各種スポーツイベントを開催します。

なお、令和2年度から「体育の日」は「スポーツの日」に名称が変わり、今年度の「スポーツの日」は、7月23日になります。

【3年度計画】

- ・開催日：令和3年10月10日(日)
- ・種目：約40イベント

【2年度実績】

- ・開催日：令和2年10月11日(日)
- ・イベント数：24イベント
- ・参加者等：計1,949人(参加者1,685人、スタッフ264人)
- ・場所：11会場(23会場中、荒天のため12会場中止)
※オンラインレッスンを含んだ場合は12会場となります。
- ・成果：スポーツ推進課が策定した「新型コロナウイルス感染予防のための大田区スポーツイベントガイドライン」を遵守し、感染予防対策を徹底した上で規模を縮小して開催しました。
大田区総合体育館のメインアリーナでは、ボッチャ体験会、卓球・ドッチビー的当など様々な種目を楽しめるスポーツバイキング、屋外では幅広い世代で楽しめるボルダリング体験会などを実施しました。
また、当事業初のオンラインレッスンを実施しました。ヨガ教室や歌ってのどトレ教室などを行い、より手軽にスポーツに親しむ機会を提供できました。
なお、台風の影響により野外会場については中止となりました。

16 おおたスポーツ健康フェスタ (スポーツ健康都市宣言記念事業)

平成 26 年度 事業開始

3 年度予算額 5,000 千円 (2 年度予算額 5,527 千円)

スポーツ健康都市宣言記念事業として実施しています。スポーツ体験やスポーツ教室、公開演技への参加の機会を提供することで、区民のスポーツ実施率の向上、健康の維持増進を図るとともに、スポーツの楽しさを実感し、スポーツ参加の契機となることを目的としています。「誰でも気軽に」参加できるスポーツイベントとして区民に定着しつつあります。

【3 年度計画】

- ・開催日：令和 3 年 8 月 21 日 (土) (予定)
- ・場所：会場実施なし、オンライン配信 (予定)
- ・内容：スポーツ実施率の低い 20~40 代 (特に女性) がスポーツに親しめるプログラムをオンライン配信により実施します。また、子どもから大人まで幅広く楽しめるプログラムや、親子で楽しめるプログラムも配信を計画しています。



「姿勢改善・ストレス解消エクササイズ」

(配信画面)



オンライン配信撮影の様子

【2 年度実績】

- ・開催日：令和 2 年 11 月 29 日 (日)
- ・視聴回数：延べ 910 回 (当日)
- ・場所：オンライン配信のみとし、会場実施はなし
- ・成果：新型コロナウイルス感染症の拡大により、会場での体験・教室等の実施は行わず、初めて YouTube を活用した動画配信で実施しました。なかやまきんに君による「自宅でできるエクササイズ」は、子どもや初心者から上級者まで楽しめるプログラムとして配信しました。その他にも親子で楽しめるヨガやボッチャのやり方等、様々な種類のスポーツプログラムを配信しました。

アンケート回答者の 8 割が動画を見ながら一緒に体を動かしたと回答しており、動画配信を通じ、区民のスポーツ推進につながる事業となりました。また、フェスタ当日以降も各プログラムのアーカイブ動画について視聴回数が伸びており、区民の継続的なスポーツ実施に寄与することができました。

17 新スポーツ健康ゾーン活性化事業

平成 29 年度 事業開始

3 年度予算額 1,666 千円（2 年度予算額 2,268 千円）

大田区総合体育館、大森スポーツセンターから臨海部にかけて、スポーツ施設や公園が集積するエリアを「新スポーツ健康ゾーン」とし、区民がスポーツに親しみ、体力・健康づくり、家族や仲間との交流を図ることができる等、「スポーツ健康都市おおた」を象徴するエリアとして活性化を図ります。

大森ふるさとの浜辺公園に隣接する大森東水辺スポーツ広場には、公設では都内唯一の常設ビーチバレー場を有しており、令和 3 年度もビーチヨガ教室を実施するほか、ビーチバレー場を無料開放し、認知度向上を図り、区民のスポーツへのきっかけづくりや健康維持増進につなげます。

(1) ビーチスポーツ教室・無料開放 DAY

【3 年度計画】

ア ビーチスポーツ教室

- ・回 数：8 回
- ・種 目：ビーチヨガ

イ ビーチバレー場無料開放 DAY

- ・回 数：24 回



ビーチバレー場無料開放

【2 年度実績】

ア ビーチスポーツ教室

- ・ビーチテニス 16 回（参加者数：延べ 287 人）
- ・ビーチヨガ 5 回（中止 1 回）（参加者数：延べ 142 人）

イ ビーチバレー場無料開放 DAY：19 回（参加者数：延べ 636 人）

成果：ビーチテニス教室に参加した方が、参加後も主体的、継続的にビーチテニスに取り組む傾向が見られ、ビーチテニスを通じスポーツに取り組むきっかけづくりとなりました。

無料開放 DAY では、様々なビーチスポーツの体験の機会を提供し、636 人の参加がありました。これらの事業により、ビーチバレー場の利用率は向上しました。

また、ビーチヨガ教室はレジャー感覚で体験でき、幅広い年齢層にわたり気軽に参加できることから、スポーツへの継続的な取り組みにつながっています。

(2) 新スポーツ健康ゾーン PR チラシの発行

新スポーツ健康ゾーン内スポーツ施設の紹介及びスポーツ教室・大会などのイベントを 1 枚のチラシに集約・掲載することで、新スポーツ健康ゾーンの魅力を PR し、認知度アップと多くの区民の方のスポーツに親しむきっかけづくりにつなげていきます。

【3 年度計画】

- ・発行部数 4 回 各 5,000 部

【2年度実績】

- ・発行部数 3回 各5,000部
- ・成果：区民の方の目に留まるようデザインを工夫し、区内全域に配布しました。

18 スポーツ推進広報事業

平成30年度 事業開始

3年度予算額3,960千円（2年度予算額3,587千円）

スポーツ実施率が低い20～40歳代をメインターゲットに、職場や自宅で気軽にできる体操・ストレッチ等を紹介する情報紙の発行及び動画配信を実施していくことで、区民の運動に対する関心を高め、スポーツ実施率の底上げを図ることを目的としています。

（1）スポーツ情報誌の発行と動画の配信

コロナ禍における不要不急の外出自粛が求められる中、「自宅でできる運動」の需要が高まりつつあることから、初心者でも自宅で気軽に取り組める運動を紙面・動画を通じて紹介していきます。

スポーツ以外にも食や健康、エンターテインメントなどを絡めた記事を掲載することで、スポーツに馴染みが薄い方々にも手に取ってもらえるよう工夫しています。

【3年度計画】

- ・発行部数 4回 各5,000部
- ・動画配信 32本（発行月に4本配信（年間16本）、発行月と発行月との間隔に4本配信（合計16本））



【2年度実績】

- ・発行部数 4回 各5,000部
- ・動画配信 16本（発行月に4本配信）
- ・成果：コロナ禍における自粛生活の影響により、需要が高まりつつある自宅等での運動をテーマに「おうちでエクササイズ」を紙面・動画配信しました。

動画（大田区チャンネル）では1号あたり4コマ配信し、1コマあたりの平均視聴数は約300回、注目度の高いコマは3,000～5,000回を超える高い視聴率を獲得しました。

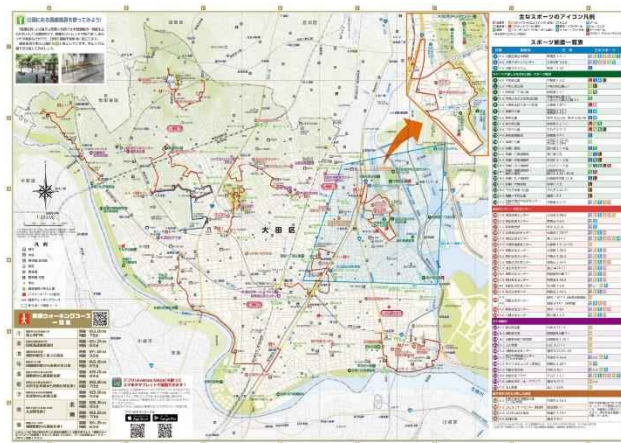
（2）スポーツ施設マップの増刷

平成31年3月に作成した「大田区スポーツ施設マップ」を増刷しました。

このマップでは大田区内のスポーツ施設を一覧でまとめており、区民の方が興味のあるスポーツを実施できる施設を手軽に調べることができます。また、ウォーキングコースや健康遊具のある公園を紹介しており、近隣で体を動かしたい場合にも活用することができます。

【2年度実績】

- ・発行部数 10,000部
- ・成果：区民から各施設での再配布を望む声が多く、平成31年3月発行版から内容を一部更新し増刷しました。多くの区民の方に見てもらうため、大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大田スタジアム、特別出張所、区民・文化センター等に配布し、スポーツを始めるきっかけとしてご利用いただきました。



19 東京2020レガシー事業

令和2年度 事業開始

3年度予算額1,433千円（2年度予算額9,709千円）

東京2020大会を契機に障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しめ、区民の健康増進の意識を高められるスポーツ環境を大会のレガシーとして整備します。その具体的事業を以下のとおり行います。

【3年度計画】

（1）ランニング環境の整備事業

ランニングは、個人で取り組みやすいスポーツです。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、体調管理に留意し、周囲の人と距離を空けるなど、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させない対応が重要です。そのため、基本的な対応を図り、ランニングに取り組みやすい環境を整えるとともに、レガシーとなる大会の開催を検討します。

ア ランニングステーション

大森スポーツセンター内に設置したランニングステーションと平和の森公園・大森ふるさとの浜辺公園ランニングコースについて、継続的にランニングに親しんでいただくための拠点としてPRするためチラシ作成を行い、利用者拡大を図ります。

イ 大田区ランニング大会開催の検討

令和2年度に実施した専門機関の調査結果を踏まえ、引き続き、ランニング大会の開催を検討

します。

(2) ボッチャ推進事業

東京 2020 大会を契機に、子どもから高齢者まで、誰もが楽しめるスポーツとして、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」を区内に普及し、大会終了後のレガシーへとつなげます。

区民がボッチャに触れ合うきっかけづくりとしてボッチャ教室を、特別出張所単位で開催することにより、区民がスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツ実施率を高めます。

令和 3 年度は、計 24 回程度のボッチャ教室の実施を予定しています。

【2 年度実績】

(1) ランニング環境の整備事業

ア ランニングステーション

令和 2 年 9 月 27 日、大森スポーツセンター内に、ランニングステーションを開設しました。

ランニングステーション開設に伴い、平和の森公園、大森ふるさとの浜辺公園を巡る、推奨コース（3km・5km）を作成し、区報やホームページ等で周知いたしました。

令和 2 年度は、延べ 267 人が利用しました。



ランニングステーション情報コーナー



推奨コース MAP

イ 大田スタジアム・大井ホッケー競技場周辺ランニング等活用調査

東京 2020 大会のホッケー競技が開催される「大井ホッケー競技場」、野球の公式練習会場となる「大田スタジアム」の周辺を活用した事業を専門機関の調査を踏まえ、検討しました。

(2) ボッチャ推進事業

令和 2 年度は、6 つの特別出張所で計 24 回程度の実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、4 つの特別出張所（蒲田西、雪谷、池上、入新井）にて、計 4 回の実施となりました。計 112 名の方々が参加され、パラリンピックの正式種目であるボッチャを通じて、ユニバーサルスポーツへの理解を深めることにつなげました。

20 大田スタジアム ((公財) 大田区スポーツ協会の管理運営)

平成 7 年 7 月開館

令和元年 7 月リニューアルオープン

3 年度予算額 142,817 千円 (2 年度予算額 155,526 千円)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年 4 月 25 日から 5 月 11 日まで使用停止

区民の余暇活動の充実及び健康増進に寄与することを目的として、平成7年7月に開館いたしました。
 老朽化施設の機能更新、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進、さらに多目的利用の拡大を目的
 に改修が行われ、令和元年7月1日にリニューアルオープンいたしました。

【指定管理者】

公益財団法人大田区スポーツ協会グループ（平成31年4月～）

【施設概要】

- ・所在地：東海一丁目2番10号
- ・電話：03-3799-5820
- ・建物：①構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- ②階数 地下1階、地上3階
- ③敷地面積 約24,525.92㎡
- ・交通：京急バス 大田スタジアム下車 徒歩1分
 東京モノレール 流通センター駅
 または大井競馬場駅下車 約徒歩15分
- ・利用：7:00～21:00
- ・休館：12月29日～1月3日、臨時休館日



【施設内容】

- ・グラウンド 13,171.93㎡
- ・観客席 3,223席（車椅子席32席）
- ・大会議室 81㎡
- ・小会議室 61㎡
- ・本部室 34㎡
- ・駐車場 191台（その他大型バス駐車場5台あり）

【2年度実績】

- ・施設利用状況

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
早朝 7～9時	324	148	45.7	144	128	88.9	468	276	59.0

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
日中 9～17時	1,272	984	77.4	626	598	95.5	1,898	1,582	83.4

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
ナイター 17～21時	662	540	81.6	318	288	90.6	980	828	84.5

・成 果

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月11日から6月5日まで使用停止といたしました。施設の使用再開にあたり、「大田スタジアムの使用再開に伴う感染拡大予防ガイドライン」を策定し、利用者に遵守させることで感染予防対策を徹底しました。

8月には、「2020年夏季東西東京都高等学校野球大会東東京大会」のメイン会場に選ばれ、多くのメディアが取り上げる注目度の高い大会を無事開催させることができました。

また、自主事業として定期的に「大田スタジアム一般無料開放DAY」を実施しており、区民が気軽に来場し、綺麗な人工芝の上で体を動かせる機会を提供しました。



大田スタジアム一般無料開放

21 大森スポーツセンター ((公財) 大田区スポーツ協会の管理運営)

平成9年度 開設

3年度予算額 260,859 千円 (2年度予算額 314,020 千円)

※上記の予算額は、大森本町複合施設維持管理の予算を含む。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日から5月31日まで使用停止

区民の体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、区民心身の健全な発達に寄与することを目的に、平成9年4月1日に開設しました。

当施設は、都営大森本町二丁目アパート、大森老人ホーム、大田区立大森本町児童館等とともに大森本町複合施設を形成し、各施設の維持・管理運営において、連携・協力しています。

大森スポーツセンターには、アリーナ、トレーニングルーム、健康体育室、小ホール、ミーティングルームや100台収容可能な地下駐車場(有料)などの施設があります。トレーニングルームでは、トレーニングマシンの利用ができるほかトレーニング教室も開催しています。令和2年9月27日からは、施設周辺でのランニング時にご利用できるランニングステーションが開設されました。

【指定管理者】

公益財団法人大田区スポーツ協会グループ(平成31年4月～)

※大田スタジアム、大森スポーツセンターを一括して運営管理している

【施設概要】

- ・所在地：大森本町二丁目2番5号
- ・電話：03-5763-1311
- ・建物：①構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
②階数 地上2階、地下2階
③延床面積 約6,393㎡（駐車場を除く）
- ・交通：京浜急行本線 平和島駅下車 徒歩約6分
- ・利用：9：00～22：00
- ・休館：12月29日～1月3日、臨時休館日

【施設内容】

- ・アリーナ 1,620㎡
- ・2階アリーナ 376席
- ・トレーニングルーム 375㎡
- ・健康体育室B 225㎡
- ・健康体育室C 150㎡
- ・ミーティングルームA 25㎡
- ・ミーティングルームB 20㎡
- ・小ホール 180㎡
- ・駐車場 100台



【2年度実績】

- ・施設利用状況

施設	項目	利用可能コマ数 (回)	利用コマ数 (回)	利用率 (%)	利用者数 (人)
アリーナ		853	689	80.8	29,891
トレーニングルーム(注1)		(299)	(299)	100	16,748
健康体育室B		853	780	91.4	10,206
健康体育室C		853	769	90.2	6,068
ミーティングルームA		853	90	10.6	518
ミーティングルームB		426	27	6.3	68
小ホール		853	135	15.8	2,480
ランニングステーション		—	—	—	267
合計		4,691	2,490	53.1	66,246

(注1) 教室参加者数含む。

利用コマ数の合計に含まない。

他施設のトレーニングルーム利用券枚数 46枚

・アリーナ利用状況 スポーツ種目別利用状況

施設 種目	アリーナ		健康体育室B		健康体育室C	
	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)
バレーボール	100	12.59	—	—	—	—
バスケットボール	299	37.66	—	—	—	—
バドミントン	61	7.68	—	—	—	—
卓球	47	5.92	614	79.12	464	60.73
テニス	167	21.03	—	—	—	—
ハンドボール	8	1.01	—	—	—	—
ダンス、舞踊	0	0	14	1.80	4	0.52
武道	6	0.76	57	7.35	90	11.78
体操	10	1.26	38	4.90	15	1.96
バトン、カラーガード	44	5.54	1	0.13	0	0
その他のスポーツ	52	6.55	52	6.70	191	25.0
合計	794	—	776	—	764	—

・スポーツ・その他(スポーツ以外)の割合

施設 種目	アリーナ		健康体育室B		健康体育室C	
スポーツ	795回	99.4%	776回	99.5%	764回	99.3%
その他	5回	0.6%	4回	0.5%	5回	0.7%
合計	800回	—	780回	—	769回	—

・成果

新型コロナ感染拡大防止のため、令和2年4月11日から6月5日まで使用停止といたしました。施設の使用再開にあたり、「大森スポーツセンター新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を策定し、利用者に遵守させることで感染予防対策を徹底しました。

コロナ禍においても、区民のするスポーツの身近な活動の拠点として、アリーナや健康体育室は高い利用率となっており、区民の健康増進に貢献しました。

22 大田区総合体育館

平成24年6月30日開館

3年度予算額206,979千円 (2年度予算額187,269千円)

※新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年4月25日から5月31日まで使用停止

旧大田区体育館を改築し、平成24年6月30日に開館しました。

大田区総合体育館は、区民に良質な「する」「みる」「ささえる」スポーツの機会の提供を行うとともに、区民の生涯スポーツの活動拠点となることを目的として設置されました。メインアリーナ(48m×38m)は、固定席と可動席を加えた約4,000席の観客席を有しています。区民が各種スポーツをして楽しむこと

ができるとともに各競技のトップレベルのプレーを観戦することもできる施設です。

そのほか、サブアリーナ（34m×19m）、体育室1・2、弓道場、会議室等の施設があります。地下2階には、62台収容可能な駐車場（有料）があります。

【指定管理者】

住友不動産エスフォルタ・NTT ファシリティーズグループ
（令和2年4月1日～）

【施設概要】

- ・ 開設日：平成24年6月30日
- ・ 所在地：東蒲田一丁目11番1号
- ・ 電 話：03-5480-6688
- ・ 規 模：敷地面積 9,236 m²
 建築面積 5,826 m²
 延床面積 14,478 m²
 鉄骨鉄筋コンクリート造
 一部鉄筋コンクリート造鉄骨造
 地下2階 地上2階建
- ・ 交 通：京浜急行本線梅屋敷駅下車 徒歩5分
 京浜急行本線京急蒲田駅下車 徒歩7分
- ・ 利 用：9：00～21：00
- ・ 休 館：不定期



大田区総合体育館 東京羽田ヴィッキーズホームゲーム



【施設内容】

- ・ メインアリーナ 1,824 m²
 観覧席 4,012 席（固定席 2,186 席・可動席 1,816 席・車椅子席 10 席）
- ・ サブアリーナ 646 m²
 観客席 200 席
- ・ 体育室1・2 120 m²
- ・ 会議室 90 m²（3部屋に分割可能）
- ・ 控室1・2 75 m²
- ・ 弓道場（5人立て）近的 28m
- ・ 駐車場 65 台（うち身障者用駐車場3台、その他大型バス駐車場3台あり）

【元年度実績】

（1）施設別利用状況

施設 \ 項目	利用可能コマ数 (回)	利用コマ数 (回)	利用率 (%)	利用者数 (人)
メインアリーナ	2,252	1,816	80.6	66,064
サブアリーナ	1,126	1,029	91.4	10,567
体育室1	1,126	688	61.1	5,228

体育室 2	1,126	638	56.7	8,026
控室 1	1,126	315	28.0	—
控室 2	1,126	310	27.5	—
会議室	1,126	681	60.5	—
弓道場	835	817	97.8	5,643
合 計	9,843	6,294	—	95,528

(2) スポーツ種目別利用状況（メインアリーナ・サブアリーナ）

種 目	利用コマ数(回)	種目別利用割合(%)
バレーボール	336	11.8
バスケットボール	1,450	51.0
フットサル・サッカー	133	4.7
バドミントン	34	1.2
卓球	80	2.8
テニス	230	8.1
その他のスポーツ	582	20.4
合 計	2,845	100.0

(3) スポーツ・集会等の割合

利用種別	利用コマ数(回)	利用割合(%)
スポーツ	2,845	98.2
集会等	52	1.8
合 計	2,897	100.0

(4) 2年度の主な大会等開催実績

日程	内容
9月14日	Tリーグ 2020JAPAN オールスタードリームマッチ（卓球）
11月6日、7日、 8日、9日	スズキジャパンカップ2020 第37回全日本総合エアロビック選手権
12月31日	WBO スーパーフライ級タイトルマッチ 「SANKYO Presents LIFETIME BOXING FIGHTS.5」(ボクシング)
1月23日	新日本プロレス「Road THE NEW BEGINNING」
3月26日、27日、 28日	2020-21 V-LEAGUE DIVISION 1 WOMEN V-CUP FINAL (バレー)

・成 果

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2度にわたる緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の実施区域指定を受ける中、大田区総合体育館は、その都度、休館あるいは開館時間の変更、利用料金や利用人数の変更を行い、発生予防と拡大防止の施設運営に努めました。

国や都の基準を参考に「新型コロナウイルス感染予防のための大田区スポーツイベントガイドラ

イン」を令和2年7月に整備し、以降はこれに基づきイベントや大会等の開催に対応しました。三密を防ぐための実施体制や観客数の制限等、主催者と入念な打ち合わせを行い、予防対策を徹底しました。結果、プロリーグのシーズン開幕後の繁忙期に入っても感染発症者を出すことなく運営することが出来ました。

令和3年度には東京2020大会を控えバレーボールブラジルオリンピックチームの事前キャンプが実施されます。またTリーグの開幕戦や公式戦も予定されています。区民の皆様に良質な「する」「見る」スポーツの機会の一層の確保を図るとともに感染症予防対策を徹底し、安全・安心な体育館の運営を維持してまいります。

23 東京オリンピック・パラリンピック推進事業

平成25年度 東京オリンピック・パラリンピック大田区推進本部会設置
3年度予算額 148,070 千円（2年度予算額 208,344 千円）

これまでの取組の集大成として、ブラジルオリンピック選手団の事前キャンプ受入れやおおたウエルカムボランティアの活動を通し、区民の国際意識やボランティアマインドを高めることや、ライブサイトや聖火リレーなど、大会ならではの取組を通し、区民と一体となって大会を盛り上げ、感動を共有し、大会後のスポーツや文化の振興等につなげます。

（1）事前キャンプ受入れ事業

平成29年6月にブラジルオリンピック委員会と事前キャンプに関する覚書を締結し、大会開幕の約1か月前から男子バレーボール、ハンドボール、ビーチバレーボールの各チームの事前キャンプを受け入れます。国の方針に基づき、新型コロナウイルス感染症対策として、「選手等受け入れマニュアル」の策定をはじめ、保健所や医療機関と連携した医療体制の確保などに取り組みます。

【3年度計画】

ア 3競技の事前キャンプ受入れ

- ・男子バレーボール：大田区総合体育館
- ・ハンドボール：大森スポーツセンター
- ・ビーチバレーボール：大森東水辺スポーツ広場
- ・選手等の食事・宿泊：大田区青少年交流センター

イ キャンプ時の区民交流

選手等の安全を確保する必要があるため、選手の学校訪問や子どもたちへの競技指導など、直接選手と触れ合う交流はできませんが、公開練習やオンライン交流を実施し、区民に大会の素晴らしさを感じてもらうとともに、国際理解を深めます。



男子バレーボール合宿時の公開練習（2019年）

【2年度実績】

ア 変更協定の締結

大会延期を受け、ブラジルオリンピック委員会と2021年の事前キャンプに係る変更協定を締結しました。

イ 「選手等受入れマニュアル」の策定に向け検討

ブラジル選手等が安全に安心して滞在できるよう、東京都や区内事業者等と連携し「選手等受入れマニュアル」の策定に向けた検討を行いました。



ブラジル応援メッセージ動画

ウ ブラジル応援メッセージ動画の作成

大会出場を目指し練習に励んでいるブラジル選手に向け、ボランティアや区内の中学生などに協力いただき、応援メッセージ動画を作成し、選手に届けました。

エ 成果

新型コロナウイルス感染症の対策を踏まえた受入れに向けた準備が進みました。また、ブラジル応援メッセージ動画では、3競技の部活動を行う区内の中学生が参加したことにより、ブラジル事前キャンプの認知度を高める機会となりました。動画作成に協力してくれたボランティアや生徒たちの思いをブラジルオリンピック委員会等に伝えることができました。

(2) 東京 2020 大会気運醸成事業

区内の主要駅や区施設等での東京 2020 大会に関する装飾や、区の実績を紹介する動画の放映など、大会開催に向けて気運を盛り上げます。大会までのカウントダウンと関連させて、SNS やホームページ等で積極的に情報を発信し、大会本番に向けて区民の期待感を高めていきます。

大会直前と大会期間中には、聖火リレートーチなどの展示や大会の情報提供などを行うことで、より多くの人に区の実績を知ってもらい、大会に対する関心を高め、事業への参加を促します。

【3年度計画】

ア 動画による気運醸成（実績記載）

(ア) 令和2年度に作成した3本の動画（「おおた Fight!」及び「パラアスリートと支える人」2本）を、オリンピック100日前にあたる4月14日に公開しました。YouTube 大田区チャンネルで配信を行い、SNS 等で情報の拡散を図りました。また、より多くの人にご覧いただくために、区役所本庁舎をはじめとした区施設やイトーヨーカドー大森店等でも放映しました。

(イ) 制作した動画を収めたDVDを、より多くの人に視聴してもらうために、区内小中学校や区施設等に配布しました。特に「パラアスリートと支える人」は、学校での教材や研修などにも利用できるコンテンツとして教育関係者等にも好評でしたので、今後も活用を促していきます。

イ まちの装飾（実績記載）

(ア) 区役所本庁舎の装飾

区役所本庁舎の外観に、大会ルック（公式デザイン）や大会マスコット（ミライトワ・ソメイティ）をあしらった装飾を行い、大会に向けての晴れやかな雰囲気醸成しました。また、本庁舎の1階正面ロビーには選手を紹介する装飾を行い、区ゆかりの選手の認知度向上に努めました。

・期間：令和3年4月14日（水）～9月末（予定）

(イ) グランデュオ蒲田での大型バナー掲出とパネル展

グランデュオ蒲田東西連絡通路のガラス面に、選手を紹介する大型バナーを掲出しました。JR 蒲田駅の改札前でも見られる場所のため、駅を通行する多くの方に区ゆかりの選手を印象付けることができました。同時に、東西連絡通路では、選手をより詳しく知ってもらうために選手紹介のパネル展を実施し、競技写真の展示や選手紹介のパンフレット配布などを行いました。

- ・大型バナー掲出期間：令和3年4月14日（水）～5月7日（金）
- ・「大田区ゆかりのアスリート展」開催期間：令和3年4月14日（水）～4月21日（水）

(ウ) 蒲田駅東口仮囲い等の装飾

蒲田駅東口仮囲い等に、コミュニティライブサイトの告知、ホッケー観戦の案内、ブラジルの事前キャンプ情報などの装飾を行い、区民に大会への参加を促します。

- ・実施期間：令和3年6月～9月末（予定）

(エ) その他

上記の他にも、特別出張所やスポーツ施設、大岡山駅前駐輪場等の区施設に、大会ルックをあしらった懸垂幕や横断幕を掲出しました。大田区の様々な場所で、できるだけ多くの区民に大会ルックやマスコット、大会情報に触れられるようにすることで、大会を盛り上げていけるよう取り組んでいます。



「大田区ゆかりのアスリート展」
(グランデュオ蒲田)



大型バナー掲出 (グランデュオ蒲田)



区役所本庁舎の装飾

ウ 聖火リレートーチの展示

全国を巡回展示している聖火リレートーチを、令和3年7月8日（木）に大田区でも展示します。同時に、聖火リレーに関する展示を行い、聖火リレー時の交通規制や観戦の注意点など必要な情報を提供するとともに、聖火リレーへの関心を高めていきます。

エ 大会期間中の本庁舎展示

オリンピック、パラリンピックの大会期間に合わせて、本庁舎で展示を行います。区ゆかりの選手や区内開催競技のホッケー、事前キャンプを実施するブラジルの紹介などを通じて、より大会本番を楽しめるように情報提供します。また、コミュニティライブサイトなどの区事業への参加を促していきます。

【2年度実績】

ア 展示による気運醸成

(ア) オリンピック1年前展示

「挑戦し続けるアスリート」をテーマに、区ゆかりのアスリートの競技写真や競技紹介、ブラジルオリンピック委員会からのメッセージ等を紹介しました。アスリートが困難な状況を打破し大会に向けて挑戦し続ける姿を伝え、「応援しよう」「自分も頑張ろう」という気持ちを醸成するために企画しました。

・開催期間：令和2年7月16日（木）～30日（木）



オリンピック1年前展示

(イ) パラリンピック1年前展示

「パラスポーツの世界」をテーマに、複数の区内中小企業が開発に携わる競技用車いすや義足、競技紹介用大型パネルなどの展示を行いました。様々なパラ競技の内容や魅力を伝えて、パラスポーツへの理解を深めてもらうきっかけづくりを行いました。

・開催期間：令和2年8月19日（水）～27日（木）

(ウ) 東京2020大会関連展示キャラバン

大会に向けて挑戦し続けるアスリート、スポーツを支える企業（大田区町工場の取組み）、区内開催競技ホッケーの3つのテーマを設定し、地域や施設ごとにテーマに沿った展示を区民の身近な場所（特別出張所18所、図書館15か所）で実施しました。特別出張所では、事前に担当者と打ち合わせを行い、施設の要望や地域性に合わせた展示を行いました。また図書館では、オリパラ関連本のリストアップやオリジナル看板・装飾物の作成など、各館で展示方法を工夫していただきました。小規模な展示を各所で実施し、地域の特色を活かしたきめ細かな情報を発信することで、ゆかりのアスリートや区の取組に対する認知度向上を図りました。

・開催期間：令和2年10月～令和3年3月

	実施期間	展示テーマ	実施場所
1	10月1日～30日	パラスポーツ	大森東（出）
2	10月1日～30日	区内開催競技ホッケー	雪谷（出）
3	10月1日～30日	大田区町工場の取組み	矢口（出）
4	11月2日～30日	地域ゆかりのアスリート	池上（出）
5	11月2日～30日	大田区町工場の取組み	嶺町（出）
6	11月2日～30日	区内開催競技ホッケー	鵜の木（出）
7	11月2日～30日	パラスポーツ、パラアスリート	蒲田東（出）
8	11月13日～12月9日	地域ゆかりのアスリート（蒲田地域）	池上（図）
9	12月1日～28日	区内開催競技ホッケー	馬込（出）
10	12月1日～28日	区ゆかりのアスリート	田園調布（出）
11	12月1日～28日	区ゆかりのアスリート、大田区町工場の取組み、1964年当時の新聞記事	六郷（出）

	実施期間	展示テーマ	実施場所
12	12月11日～1月13日	区内開催競技ホッケー	大田 (図)
13	12月11日～1月13日	地域ゆかりのアスリート (糀谷・羽田地域)	浜竹 (図)
14	12月11日～1月13日	地域ゆかりのアスリート (蒲田地域)	多摩川 (図)
15	12月11日～1月13日	大田区町工場の取組み	蒲田 (図)
16	1月4日～29日	地域ゆかりのアスリート (大森地域)	大森西 (出)
17	1月4日～29日	地域ゆかりのアスリート (糀谷・羽田地域)、大田区町工場の取組み、1964年当時の新聞記事	羽田 (出)
18	1月4日～29日	地域ゆかりのアスリート (蒲田西地区)	蒲田西 (出)
19	1月15日～2月10日	区内開催競技ホッケー	大森東 (図)
20	1月15日～2月10日	地域ゆかりのアスリート (大森地域)	入新井 (図)
21	1月22日～2月17日	地域ゆかりのアスリート (大森地域)	大森西 (図)
22	1月22日～2月17日	地域ゆかりのアスリート (糀谷・羽田地域)	羽田 (図)
23	1月22日～2月17日	大田区町工場の取組み	六郷 (図)
24	1月26日～2月21日	地域ゆかりのアスリート (蒲田地域)	蒲田駅前 (図)
25	2月1日～26日	区ゆかりのアスリート	新井宿 (出)
26	2月1日～26日	区ゆかりのアスリート	千束 (出)
27	2月19日～3月17日	地域ゆかりのアスリート (糀谷・羽田地域)	大森南 (図)
28	2月19日～3月17日	地域ゆかりのアスリート (大森地域)	馬込 (図)
29	2月19日～3月17日	区内開催競技ホッケー	久が原 (図)
30	2月19日～3月17日	大田区町工場の取組み	下丸子 (図)
31	3月1日～31日	地域ゆかりのアスリート (大森地域)	入新井 (出)
32	3月1日～31日	大田区ゆかりのアスリート、大田区町工場の取組み	久が原 (出)
33	3月1日～31日	パラスポーツ、パラアスリート	糀谷 (出)



大森西特別出張所



大田図書館

(エ) 成果

コロナ禍でイベント開催が難しい中、本庁舎や区施設での巡回展示という形で東京 2020 大会関連の

展示を実施し、気運の維持に努めました。

オリンピック1年前展示では、じっくり見入る方やご質問をされる方もおり、「こんなにゆかりのアスリートがいることを知らなかった」、「競技を見に行きたい」などの感想をいただきました。

東京2020大会関連展示キャラバンでは、展示を行った施設の職員から、「選手紹介のパネルに目を留める方やじっくり読まれている方が窓口の待ち時間に多くいた。」、「来場者の中には、選手の親族やファンの方もおり、記念に写真を撮られる方もいた。」などの来庁者の様子を聞くことができ、広く区内で大会関連の周知を図り、認知度を向上することができました。

イ 動画による気運醸成

(ア) 大会気運醸成動画「おおたFight!」の制作

大田区出身のアーティスト SEKAI NO OWARI の楽曲「Fight Music」を使用し、アスリートと区民に向けた応援動画を制作しました。4名のアスリートと多くの区民に出演いただき、羽田空港や池上本門寺、商店街や銭湯など区内の特徴的な場所で撮影しました。アスリートや区民がコロナ禍で奮闘し、困難を乗り越えていく姿を通じて、大会への前向きな気持ちを醸成し、アスリートへの応援につなげていく動画となっています。

- ・タイトル：「おおたFight!」
- ・視聴時間：約3分
- ・協力いただいたアスリート：・熨斗谷さくら選手（新体操団体）、本橋菜子選手（バスケットボール）、高田千明選手（パラ陸上・走幅跳/100m）、若生裕太選手（パラ陸上・やり投）
- ・撮影場所：商店街、銭湯、町工場、東京国際空港ターミナル、羽田イノベーションシティ、池上本門寺等

(イ) 共生社会理解促進動画「パラアスリートと支えあう人」の制作

2名のパラアスリート（高田千明選手、若生裕太選手）に協力いただき、支えあう人との交流を通じてお互いの想いを語っていただいた動画を制作しました。障がいに向き合って変化していく心情や、壁を乗り越えていく姿などを通じて、共生社会の理解につながる内容となっています。

- ・タイトル：パラアスリートと支えあう人（高田千明選手編、若生裕太選手編の2本）
- ・視聴時間：各約10分

(ウ) DVDの制作

制作した動画を収めたDVDを制作しました。

- ・ホッケー応援動画、アスリート応援動画、ブラジル選手団応援動画、「おおたFight!」、「パラアスリートと支えあう人」（高田千明選手編、若生裕太選手編の2本）

(エ) 成果（3年度実績含む）

大会気運醸成動画は、令和3年4月14日の公開から2週間ほどで再生回数が7,000回を超えました。区民が多数出演したことによる口コミや、大田区出身の有名アーティストに協力いただいたこともあり、情報の拡散につながりました。またTwitterのコメントでは、元気が出たといった声も多く聞かれ、大会に向けての気運醸成につながりました。



おおた Fight!



パラアスリートと支えあう人
(高田千明選手編)



パラアスリートと支えあう人
(若生裕太選手編)

(3) 東京 2020 大会開催時関連事業

区民と一体となって大会を盛り上げ、感動を共有し、大会後のスポーツや文化の振興等につなげていくため、コミュニティライブサイトや聖火リレーのセレモニー、区独自プログラムなど様々な取組を行います。



コミュニティライブサイトイメージ

【3年度計画】

ア コミュニティライブサイト及び関連イベント事業

大田区総合体育館を会場として、コミュニティライブサイト*をオリンピック期間に6日間、パラリンピック期間に3日間実施します。大画面による競技放映やアスリートのトークショー等を行い、観戦チケットを持たない人でも、東京2020大会を楽しめる機会を提供します。また、区民や来訪者に、スポーツの素晴らしさや地域の魅力を感じてもらい、スポーツや区内の文化資源への関心を高めていくなど、大会後のレガシーにつなげていきます。

*コミュニティライブサイト：競技放映の他、ステージプログラムや展示・体験・飲食ブースなどを含めた自治体が行うイベント

イ 聖火リレー関連事業

聖火リレーの大田区走行時（7月21日）に、大森ふるさとの浜辺公園でミニセレブレーション（セレモニー）及び区独自のプログラムを実施します。聖火ランナーが大田区を走る感動を区民とともに共有し、大会を盛り上げます。大会組織委員会や東京都聖火リレー実行委員会と連携を図り、十分な感染予防を行い、区民が安心、安全に聖火リレーを楽しめるように運営します。約800名のボランティアに協力いただき、事前研修などを実施した後に、沿道警備のサポートを行います。

ウ 文化プログラム事業

大会直前期に、区独自の文化プログラムとして、読売日本交響楽団によるコンサートを実施し、障がいのある方が音楽を楽しむ機会を提供し、共生社会の実現に向けた、区民理解の促進を図ります。また、大会期間中に各文化施設で特別企画展等が行われ、その情報をコミュニティライブサイト会場や区内鉄道駅で来訪者にPRし、区の魅力的な文化や芸術に触れる機会を提供します。

【2年度実績】

ア コミュニティライブサイト及び地域連携イベント事業

1年延期となったコミュニティライブサイトと地域連携イベント等の計画について、安全かつ効果的な実施に向けて開催日数や内容などを大幅に見直しました。大会組織委員会等からの指示をもとに、感染症対策をはじめ、区民に安心して楽しんでもらえるための運営方法について検討しました。大会後のレガシーにつながるように、コミュニティライブサイトの展示や地域イベントなどについて、庁内の関係部署と連携して検討を進めました。

イ 聖火リレー関連事業

大会組織委員会、東京都聖火リレー実行委員会、警察、消防などと連携し、安心・安全な運営ができるように検討を進めました。警備サポートを担当するボランティアの確保のために、区内の各団体等に協力を要請し、事前研修や当日の運営体制などの準備を進めました。また、聖火リレー時の交通規制の周知など、関係者との調整を始めました。

ウ 成果

新型コロナの感染状況が日々変化する中、大会組織委員会等や東京都など、多くの関係者と調整をして準備を進めることができました。

(4) おおたウエルカムボランティア事業

競技観戦者やブラジル選手団を区民とともに歓迎しおもてなしするために、区独自に行うボランティア事業です。東京2020大会期間中に競技観戦者を案内する観光ボランティア、事前キャンプを支えるスポーツボランティア、語学力を活かし、観光・スポーツ分野を支える国際交流ボランティアが活動します。6月から活動説明会を行い、順次、各分野のボランティア活動をはじめます。

【3年度計画】

ア ボランティア活動

時期	分野	活動内容
7月～9月上旬	スポーツ 国際交流	・ブラジル事前キャンプやイベントの運営補助等
7月下旬～9月上旬 大会期間中	観光 国際交流	・区内主要駅での案内等

【2年度実績】

ア 高校生ボランティアの追加募集

- ・期間：令和2年12月1日（火）～令和3年4月20日（火）
- ・登録人数：107人 ※一次登録者：43人 合計：150人

イ メールマガジンの配信

活動に役立つ情報をまとめた「おおたウエルカムニュース」を配信（9回）

	配信日	配信内容
1	7月16日	ボランティアの心得
2	8月7日	活動中の熱中症予防

3	8月28日	ユニバーサルデザイン
4	9月18日	パラリンピックの概要、大田区ゆかりアスリートの紹介
5	10月5日	観光ボランティアインタビュー
6	10月27日	スポーツボランティアインタビュー
7	12月8日	高校生ボランティアインタビュー
8	2月24日	ブラジルの概要、ポルトガル語フレーズ紹介
9	3月30日	令和3年度のボランティア活動について

ウ ブラジル応援メッセージ動画の作成

- ・配信日：令和3年2月26日（金）
- ・出演者：大田区立大森第二中学校 男子バレーボール部員 16人
大田区立大森第八中学校 女子バレーボール部員 15人
大田区立御園中学校 ハンドボール部員 9人
おおたウエルカムボランティア 64人
大田区長
- ・送付先：ブラジルオリンピック委員会、駐日ブラジル大使館

エ 成果

「おおたウエルカムニュース」の配信では、ボランティアとしての心得やユニバーサルデザインの知識、ブラジルの文化、ポルトガル語での挨拶など、活動に役立つ情報を配信し、ボランティアとしての教養を高め、モチベーションを維持することができました。また、これまでに活動したボランティアから伺った経験談を他の方々に紹介し、活動をイメージしてもらうことができました。

ブラジル応援メッセージ動画では、ブラジル選手に激励の想いを伝えることができたほか、ボランティア同士が直接コミュニケーションを図ることができ、メールマガジンの配信同様、モチベーションの維持につながりました。

6 参考資料:各課の事業開始年度一覧

(1) 観光課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
おおた商い観光展	平成20年	(一社) 大田観光協会への補助事業
観光情報の提供	平成20年	平成25年度から(一社) 大田観光協会への支援へ名称変更
おおたの観光魅力創出事業	平成20年	平成25年度から(一社) 大田観光協会への支援へ名称変更
(一社) 大田観光協会への支援	平成20年	【大田観光協会に対する補助金交付に関する要綱】 平成25年度から名称変更(「おおたの魅力創出事業」、「観光情報の提供」を統合)
品川・大田広域観光まちづくりの支援	平成20年	品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱 平成28年度で終了
観光案内サインの整備	平成21年	平成21年度にて整備計画を策定。22年度からサインを設置
大田区観光大使	平成21年	平成27年度から「国際都市おおた大使」として国際都市・多文化共生推進課に移管
観光紹介用パンフレットの作成	平成21年	
観光・産業情報コーナーの運営	平成21年	財団事業「情報コーナーの運営」(平成8年～)から移行 平成26年度から産業振興課に移管
羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	平成22年	国際線ターミナル
観光まちづくり助成金	平成23年	観光振興に取り組む区民活動団体に対する助成、平成24年度で終了
訪日外国人旅行者受入環境整備事業	平成23年	
大田区まちかど観光案内所事業	平成23年	
六郷用水せせらぎウォーキング	平成23年	六郷用水400周年、六郷水門80周年 平成23年度限り
羽田空港国際化1周年事業「いらっしやいOTA」	平成23年	平成23年度限り
梅ちゃん先生観光PR事業	平成23年	平成24年度で終了
観光展示会出展事業	平成23年	平成25年度からインバウンド誘致事業へ統合
海外等へ向けての観光情報の提供	平成23年	
大田区観光推進協議会の運営	平成24年	【大田区観光推進連絡協議会に対する補助金交付要綱】
大田区観光PR特使	平成24年	【大田区観光PR特使設置要綱】
観光まちづくり推進支援事業	平成25年	事業者や団体による観光まちづくりに関する取り組みに対する助成、平成26年度で終了
大田区産業観光促進事業	平成25年	【大田区産業観光資源整備補助金交付要綱】 平成29年度から、大田の観光にぎわい創出事業補助金に統合
インバウンド誘致事業	平成25年	
MICE誘致事業	平成25年	
映画・ドラマを活かした観光PR事業	平成25年	
京急線品川駅構内大田区観光情報コーナーの運営	平成25年	平成29年度で終了
観光マーケティング調査	平成26年	平成29年度 第2回目実施
川崎市連携事業	平成26年	【大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定】 【大田区・川崎市観光まちづくり連携事業に係る協定書】
観光サポーター育成事業	平成26年	平成27年度で終了
公衆無線LAN(Wi-Fi環境)整備事業	平成27年	
大田区公式観光サイトの運営	平成27年	
大田区観光情報センターの運営	平成27年	

観光課(続き)

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
大田区観光PR動画制作	平成28年	平成29年度で終了
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田	平成29年	平成29年度、国際都市・多文化共生推進課から事務移管 【国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田実行委員会設置要綱】
大田の観光にぎわい創出事業補助金	平成29年	【大田の観光にぎわい創出事業補助金交付要綱】
大田区公式PRキャラクター「はねびょん」の活用	平成30年	平成30年度、総務課から事務移管
来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成	令和元年	令和元年度限り
池上駅大田区観光情報コーナー設置	令和2年	
おおたプライド事業「大田区学」	令和3年	
大田区探訪「はねびょんさんぽ」	令和3年	
東京2020大会を契機とした地域活性化事業	令和3年	令和3年度限り

(2) 国際都市・多文化共生推進課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	平成3年	【セーラム市、ピーボディ・エセックス博物館親善訪問団派遣事業実施要綱】
中国北京市朝陽区等との交流の推進	平成10年	【日中青少年相互交流事業実施要綱】
多文化共生推進センター運営事業	平成23年	【大田区多文化共生推進センター条例】 平成30年度から一般財団法人国際都市おおた協会が実施
多文化共生のネットワークづくり	平成23年	【大田区多文化共生推進協議会設置要綱】、【大田区立山王会館内国際交流施設等の設置及び管理運営要綱】ほか
国際都市事業	平成23年	【国際都市連携調整会議設置要綱】、【国際都市おおた大使設置要綱】
交流事業費（その他の海外都市との交流）	平成24年	
カナダ国プリンス・エドワード島州との交流の推進	平成27年	平成30年度から交流事業費（その他の海外都市との交流）に含む
一般財団法人国際都市おおた協会の運営	平成30年	【一般財団法人国際都市おおた協会定款】 平成29年12月設立

(3) 文化振興課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
平和都市宣言記念事業	昭和59年	【大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」実施要綱】 花火の打ち上げは昭和62年度から実施 平成9年度より花火の祭典とする
大田区文化振興協会の運営	昭和62年	昭和62年7月創立
文化施設管理運営	昭和62年	区民プラザ昭和62年10月31日開設
OTAふれあいフェスタ	平成2年	開始当初の名前は「OTA夢博'90」 平成4年度から現在の事業名になった
地域間交流事業	平成8年	長野県東御市（当時は東部町）と友好都市提携協定締結 秋田県美郷町とは平成17年度に締結 宮城県東松島市とは平成28年度に締結
大田区民ホール等管理運営	平成10年	
区民ギャラリー	平成20年	
大森 海苔のふるさと館管理運営	平成20年	
地域文化の振興	平成23年	平成29年度から大田区伝統工芸士認定制度開始
勝海舟記念館の整備・運営	令和元年	【大田区立勝海舟記念館条例】 令和元年9月7日開館

(4) スポーツ推進課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
区民スポーツ大会	昭和22年	
都民体育大会等代表者派遣	昭和22年	
(公財)大田区スポーツ協会	昭和23年	【公益財団法人大田区スポーツ協会定款】 平成25年に財団法人から公益財団法人へ変更 令和元年5月1日から(公財)大田区体育協会から(公財)大田区スポーツ協会へ名称変更
スポーツ推進委員	昭和32年	【大田区スポーツ推進委員に関する要綱】 平成23年に体育指導委員からスポーツ推進委員へ名称変更
成人スポーツ教室	昭和36年	
寿ハイキング	昭和49年	
小・中学生スポーツ教室	昭和52年	
スポーツ推進審議会	昭和58年	【大田区スポーツ推進審議会条例】
障がい者スポーツ教室	昭和59年	
区民スポーツまつり	昭和59年	
ラジオ体操指導者養成講習会	昭和61年	
大田スタジアム	平成7年	平成7年7月開設、平成30年度大規模改修工事に伴い条例廃止 新たな【大田スタジアム条例】を、令和元年7月1日から施行
大森スポーツセンター	平成9年	【大田区立大森スポーツセンター条例】
スポーツ指導者養成講習会	平成10年	
スポーツ健康都市宣言	平成24年	平成24年6月30日の大田区総合体育館開館に合わせて宣言を行った
OTAウォーキング	平成24年	「歩こう会」をリニューアルして、スポーツ健康都市記念事業として実施
大田区総合体育館	平成24年	【大田区総合体育館条例】
地域スポーツクラブ	平成26年	【大田区総合型地域スポーツクラブ等支援要綱】
おおたスポーツ健康フェスタ	平成26年	6月30日の宣言日にちなんだ記念事業として実施
大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業	平成27年	【大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業実施要綱】
ホッケー競技体験会	平成28年	平成27年9月に、東京2020オリンピック競技大会のホッケー競技が区内会場で開催となったことを受けて実施
大田区スポーツ全国大会等出場奨励事業	平成27年	【大田区スポーツ全国大会等出場奨励事業実施要綱】
新スポーツ健康ゾーン活性化事業	平成29年	
スポーツ推進広報事業	平成30年	
ブラジル選手団の事前キャンプ・合宿の受入れ	平成30年	平成29年6月に、東京2020オリンピックに出場するブラジル選手団の事前キャンプ受入れに関する覚書を締結したことを受けて実施
おおたウエルカムボランティア事業	平成30年	
東京2020レガシー事業	令和2年	



HOST CITY

大田区は東京 2020 オリンピック・パラリンピックを応援しています

Compass 2021

観光・国際都市部 事業概要

令和3年7月発行

編集：大田区観光・国際都市部観光課

〒144-8621

東京都大田区蒲田 5-13-14

電話：03-5744-1322

FAX：03-5744-1323